

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. シドニー日本文化センター
10. トロント日本文化センター
11. サンパウロ日本文化センター
12. マニラ事務所
13. ニューデリー事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブタペスト事務所
19. カイロ事務所

1. 京都支部

合計額 9,468,444円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	「光と色彩の融合：DURT 森本康代ステンドグラスの世界」展	ポーラ ミュージアム アネックス	兵庫県立美術館 アトリエ1	神戸市	05.5.10～ 05.5.14	フランス・コレーズ地方の11世紀建築の教会に日本のステンドグラス作家デュルト・森本康代の作品が納められることに先立ち、作者の出身地神戸での展示会を共催。芸術を軸とした国際交流の実現を目的に企画
2	「ドイツにおける岩倉使節団－欧米に向けた日本の開国」展	久米美術館 京都ドイツ文化センター	京都ドイツ文化センター	京都市	06.2.21～ 06.3.4	「ドイツにおける岩倉使節団展」(1999年～2000年ドイツで開催)の久米美術館主催の日本巡回展。京都開催分を京都ドイツ文化センターと京都支部が共催。京都新聞社後援。ペーター・パンツァー(ボン大学日本研究所教授)監修
	【公演】					
3	国際交流のタベ－能と狂言の会	国際交流基金関西国際センター/財団法人金剛能楽堂財団	金剛能楽堂	京都市	05.10.17～ 05.10.17	関西地方在住外国人、国際交流関係者および関西センターの研修生等を招待して、日本の伝統芸能を鑑賞する機会を提供
4	中国の舞姫「胡紅侶」公演	胡紅侶公演実行委員会/KBS京都	京都会館第二ホール	京都市	05.10.23～ 05.10.23	神戸在住の中国人舞踊家 胡紅侶(こころ)の京都での初めての公演。古典、現代、民族舞踊と幅広いジャンルの中国舞踊を解説を交えて紹介
5	ロトフィ・ブシュナーク日本公演 京都公演	舞台芸術課	京都市北文化会館	京都市	06.3.23～ 06.3.23	舞台芸術課主催事業の京都開催に際し、京都支部共催にて実施。チュニアの国民的歌手として国内外で活躍するロトフィ・ブシュナークを招へいし、国内各地で公演を開催。京都公演 3/23(木)
	【講演・シンポジウム】					
6	フェローセミナー：4/21 ZHURAVSKAYA	神戸大学表現文化研究会/神戸大学国際文化学部文化政策プロジェクト/神戸大学国際文化学部	神戸大学国際文化学部 国際交流室 (E408)	神戸市	05.4.21～ 05.4.21	平成16年度フェロー、タチアナ・ジュラフスカヤ(ロシア)が「日本の工芸とデザイン－伝統と革新－」というテーマで講演。「神戸大学表現文化研究会 第9回研究例会」としてジュラフスカヤの受入機関である神戸大学の表現文化研究会との共催にて実施

京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	フェローセミナー：5/18 GOH	—	アーバネックス 御池ビル東館 2F 会議室	京都市	05.5.18～ 05.5.18	京都大学東南アジア研究センターで、日本の経済発展と知的所有権について研究中のゴー・ベク・チェン（マレーシア）が「日本の大企業における知的財産権の情報開示」について発表
8	フェローセミナー：5/20 PETKOVA	大学コンソーシアム京都	大学コンソーシアム京都5F 第1共同研究室	京都市	05.5.20～ 05.5.20	立命館大学で日本演劇におけるジェンダー・セクシュアリティを研究中のガリア・T・ペトコヴァ（ブルガリア）が「歌舞伎におけるジェンダー構造」について発表
9	藝際公開講座～ 「花習塾」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	長久堂ホール	京都市	05.5.27～ 05.5.27	能に対する理解を促進するため一般向けの概説講座を開催。第1回から第3回までの講座内容を受けて、本講座では、能楽の創始者とも言われる世阿弥について、活動の全貌を通して能に関する歴史的背景を、2人のゲストを迎えて鼎談形式で実施
10	フェローセミナー：6/29 MUNOZ	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.6.29～ 05.6.29	京都大学法学部で研究中の刑法学者フランシスコ・ムニョス＝コンデ（スペイン）による、「ローマ規程（1998年7月にローマにおいて採択された国際刑事裁判所設立条約）後の国際刑法」に関するセミナーを開催
11	フェローセミナー：7/8 田村 恵子	神戸大学文学部 海港都市研究センター	神戸国際会館 8階4号会議室	神戸市	05.7.8～ 05.7.8	神戸大学で神戸の外国人に関しての調査・研究に従事している、田村恵子（オーストラリア国立大学/オーストラリア戦争記念館/神戸大学客員研究員）による「『外人』として生きる：戦前神戸の英国系定住者と日本」に関するセミナー
12	フェローセミナー：7/12 EDGINGTON	立命館大学国際関係学部研究・学会委員会	立命館大学衣笠キャンパス「恒心館」3F 726教室	京都市	05.7.12～ 05.7.12	立命館大学国際関係学部で研究中のデヴィッド・W・エジントン（プリティッシュ・コロンビア大学日本研究センター所長）が、「『外人』も住民です：多文化主義、日本の都市とフィールドワーク」をテーマに、日本の都市における外国人をめぐる諸問題を、多文化主義の立場からの考察に基づいた講演を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
13	フェローセミナー：7/16 GELLERT	日本カナダ学会 中部地区	岐阜聖徳学園大 学羽島キャンパ ス	岐阜県羽 島郡	05.7.16～ 05.7.16	岐阜聖徳学園大学で研究を行なった ジェームズ・ゲラート(短期フェロー /カナダ/レークヘッド大学英文学部 教授)による「シンデレラ的世界の 東西比較」をテーマとする英語のセ ミナー。日本カナダ学会中部地区、 愛・地球博開催記念講演会「民話の 世界とカナダ」の中のプログラムの 一環。ゲラートの講演のみ京都支部 との共催事業、「平成17年度第7回 フェローセミナー」として実施
14	フェローセ ミナー：8/3 PANG	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.8.3～ 05.8.3	平成16年度基金フェローとして西南 学院大学(福岡)で来日研究中の PANG, Deliang(中国/吉林大学東 北亜研究院世界経済研究所教授・所 長)による講演「1990年代日本の公 共投資と経済成長-景気の調整機能 を中心として-」
15	フェローセ ミナー：9/1 QIN Na	神戸大学発達科 学部/神戸大学 大学院総合人間 科学研究科	神戸大学発達科 学部HCセン ター	神戸市	05.9.1～ 05.9.1	平成16年度基金フェローで神戸大学 にて生涯教育の中日比較研究を行 なっている、QIN, Na(中国)によ る「上海と大阪 二大都市における 地域社会教育に関する比較研究」に 関するセミナー
16	フェローセ ミナー：9/8 IKEDA	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.8～ 05.9.8	平成16年度フェローで京都大学東南 アジア研究センターで研究中の池田 哲(カナダ・アルバータ大学準教授) による「岐路に立つ日本社会の歴史 社会学的考察-ストレスに満ちた不 平等社会か多様な価値を認める平等 社会か」をテーマとしたセミナーを 実施
17	フェローセ ミナー：9/20 SALOVA	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.20～ 05.9.20	平成16年度フェローディータ・サロ ヴァ(チェコ/受入機関 京都大学 人文化科学研究科)による「日本医 学とは何か?文化史の観点から」と 題するセミナーを実施
18	フェローセ ミナー：9/30 ANANTH	京都精華大学	京都精華大学交 流センター	京都市	05.9.30～ 05.9.30	平成16年度論文フェローのプリヤ・ アナンタ(インド/受入機関 京都 大学大学院文学研究科)が「第二言 語である日本語の「とき」節のテン ス・アスペクトの習得について」を テーマに研究発表を行なった

京都支部

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
19	フェローセミナー：10/7 UNGER	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F	京都市	05.10.7～ 05.10.7	平成16年度フェローJ・マーシャル・アンガー（アメリカ・オハイオ州立大学東亜語学文学科教授/受入機関 神戸大学文学部）が、「日本語と韓国語の系統的関係」をテーマに研究発表を行なった（英語/通訳無し）
20	フェローセミナー：11/15 KRISDATHANONT	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.11.15～ 05.11.15	平成17年度フェロー デュアンテム・クリサダーターノント（タイ・チュラロンコン大学文学部日本語学科専任講師/受入機関 大阪大学大学院文学研究科）が、「大江健三郎『われらの時代』における女性像－女性の問題－」について研究発表
21	フェローセミナー：11/18 KLONGOS	京都精華大学	京都精華大学交流センター	京都市	05.11.18～ 05.11.18	平成16年度論文フェロー ジョージ・クロノス（スタンフォード大学博士課程在学中/受入機関 大谷大学）が、「大峰山と奥駈け修行の宗教的風景」をテーマに研究発表
22	フェローセミナー：2/23 SULEYMEANOVA	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F会議室	京都市	06.2.23～ 06.2.23	平成17年度フェローで、立命館大学文学部で研究活動中のアイダ・スレイメノヴァ（ロシア/極東国立総合大学東洋語学科助教授）が「短歌の伝統－関西地方（京都、奈良、大阪、神戸）に関する研究資料」をテーマにセミナーを実施
23	フェローセミナー：3/30 RATH	－	アーバネックス 御池ビル東館 2F会議室	京都市	06.3.30～ 06.3.30	平成17年度短期フェローで、京都府立大学大学院農学研究科で研究活動中のエリック・C・ラス（米国/カンザス大学助教授）が「近世日本料理における食べ物と空想」をテーマに発表
24	国際学術交流 ワークショップ：南アフリカ共和国と日本の大学間学術交流および国際協力に関する持続可能なネットワーク構築の展望	龍谷大学	龍谷大学深草学舎	京都市	06.4.29～ 06.4.29	北川勝彦（日本アフリカ学会会長）をはじめ、日本国内有数のアフリカ研究者を招き、長期間に渡り協力関係を持続していくための具体策等について、日本の大学と南アフリカの大学との交流関係を考えていくシンポジウムを開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
25	【図書館運営】 国際交流情報センター（図書室を含む）	—	—	京都市	05.4.1～ 06.3.31	外国語による日本研究所ならびに国際交流基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,500冊、購読雑誌72タイトル、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115点、日本文化紹介ビデオ110点。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など
26	【その他】 日本料理アカデミー：フェロシップ・ワークショップ	日本料理アカデミー	辻調理師専門学校/京都市内(中央市場他)/京都市内(料亭研修)/京都市内(華道・茶道他)/辻調理師専門学校	京都/大阪	05.10.6～ 05.10.16	世界の若手料理人を京都に受け入れ、日本料理という文化を海外の人々に理解してもらうための研修事業。今回はフランス料理界で注目の若手料理人5名が、京都の老舗料亭および大阪の辻調理師専門学校で11日間研修し、最終日に公開ワークショップを実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	協力対象団体	期間	内容
27	【後援事業】 第2回日米作家交流展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	05.4.5～ 05.4.13	日本および米国NPO団体の共同企画事業展。芸術交流展活動を通して日米両国の親善促進に寄与する目的で開催。本展は第2回目。開催期間中、米国より出品作家11名が来日し、京都の出品作家と交流
28	ASEM第7回外相会合京都開催記念講演会「アジアと欧州のパートナーシップのために」	京都府国際課	05.5.3～ 05.5.3	村田良平（元駐米大使/外務事務次官）、川勝平太（国際日本文化研究センター教授）による、「ひと・もの・かね・情報」の国境を超えた移動にいかに対応していくか、等についての講演
29	「市民による風流踊・歌舞伎・時代劇の継承と創生」の一環としてのドラマ制作・公演	京都文化創生実行委員会	05.6.18～ 05.6.18	文化庁助成事業「市民による風流踊・歌舞伎・時代劇の継承と創生」の一環として制作上演される創作劇「芸か恋か 阿国と山三」を映画俳優と学生、一般市民が競演して京都芸術センターで上演。実際に舞台に立つ事で、市民に伝統文化を体験してもらうことが目的
30	第5回ヤンガーアーティスト展 — 在関西芸術系大学学生連合展 —	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	05.6.24～ 05.8.3	関西に在る芸術系大学の学生が集い、自主的に行動する作家グループ「ヤンガーアーティスト」の企画連合展。今回は現役ヤンガーアーティストによる「三步進んで二歩下がる」・「証明写真」をテーマにした展覧会と今年5回目を迎える節目の記念展をヤンガーアーティスト卒業生が行なった。参加メンバーは、大韓民国からの留学生を含む24名

京都支部

	事業名	協力対象団体	期間	内容
31	伝統への挑戦 馬国慶「拓」/田 口梅屋「印」	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.7.22～ 05.7.31	日中間の相互理解と友好親善を促進する目的で、<拓>と<印> という日中の伝統芸術における両国作家の展覧会を行なった。両 作家は1994年北京古代建築博物館で、1996年大阪国際交流セン ターで展覧会を開催。今回は第3回目
32	小学校英語教育 国際シンポジウ ム	小学校英語教育 国際シンポジウ ム開催実行委員 会	05.8.24～ 05.8.24	先進的に小学校英語教育に取り組んでいる韓国・中国等の事情に 詳しいシンポジストを迎え、それぞれの国での取組状況を紹介。 ディスカッション・講演を通して、わが国における小学校英語教 育はどう展開していくべきかについて参加者と考える場とした
33	政義昌文彫刻展	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.9.2～ 05.9.17	政義昌文（臨済宗南禅寺派徳林庵住職/彫刻家）の彫刻展。インド やオーストリア等、海外のシンポジウムに数多く参加。近年では 南禅寺の水路閣の傍らの石畳参道に彫刻を施した。今回は会場を 2つに設定し、ART FORUM JARFOには「地・水・火・風・空」 といった仏教の5大観をテーマにおいた抽象彫刻のオブジェ、 Gallery 3Aにはお地蔵様をモチーフとしたオブジェを展示。信仰 と藝術との調和を追及する展覧会となった
34	坂本和生展－漂 泊－	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.9.19～ 05.9.28	「人間」をテーマに活動を続ける徳島在住の作家、坂本和生（二 紀会所属）の現在活動報告展
35	2005京都国際文 化協会エッセー コンテスト「私 の見た日本」	財団法人京都国 際文化協会	05.9.25～ 05.9.25	海外から日本を訪れた人々を対象に、エッセーコンテストを1978 年から開催。応募者には、母国やその文化と対比して、日本文化 についての独自の考えをまとめる機会になり、また優秀作品を公 開する事により、現在の日本がどう見られているのかを多くの 人々に知ってもらう事が目的
36	Le vivant nurrit du desir －生きるものは 欲望でやしなわ れている－	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.11.9～ 05.11.20	パリ在住ハンガリー生まれのピストラの造る、曲面で構成された オブジェの展覧会。「欲望」という形無き物の体現化を試みる。 極めて女性的な色形をした彼女の作品が、見る人にどういった感 想を抱かせるのか、が主題
37	錢谷嘉康展	特定非営利活動 法人京都藝際交 流協会	05.11.21～ 05.12.4	スペイン・カルターニャ地方で制作を続ける錢谷嘉康の作品の展 覧会
38	第10回国際文化 フォーラム	財団法人京都府 国際センター	05.11.26～ 05.11.26	京都府におけるこれまでの国際的な文化交流の歴史を振り返りな がら、京都文化の国際性を検証し、歴史や伝統を踏まえ、芸術や 文化の蓄積を活かした国際交流のあり方や進め方、異文化の理解 などについて、第一線で活躍の知識人を講師に迎え、フォーラム を開催。今年は、ドナルド・キーン（米国コロンビア大学名誉教 授）の基調講演および、西島安則（財団法人京都府国際センター 理事長/元京都大学総長）との対談を実施
39	京都市国際交流 会館2005年度 「外国人のため の日本語弁論大 会」	京都市総務局国 際化推進室	05.12.4～ 05.12.4	世界文化自由都市宣言を行なった京都市が、その理想実現のため の具体的施策として、1987年以来毎年行なっている。今年で19回 目。今回は「日本での経験を生かすために」をテーマに相互理解 と国際親善の更なる促進を目的に開催

	事業名	協力対象団体	期間	内容
40	田島征彦－40年の歩み－展 PART-2 '70'80&現在	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.1.8～ 06.1.31	絵本『じごくのそうべえ』原画家として著名な田島征彦本来の仕事、型染の全仕事を3期にわけて、シリーズ展で検証することを目的に企画された展覧会の第2回展。70年代・80年代と現在の仕事までを概観展示
41	「きょうと北部21世紀セミナー」(タウンミーティング「外交の窓」)	財団法人京都府国際センター	06.2.18～ 06.2.18	京都府における国際理解促進セミナーとして、府北部地域において開催。田中均(前外務省審議官/日本国際交流センターシニアフェロー)による講演会、ならびに須藤真志(京都産業大学教授)との対談を開催することにより、地域の国際理解の増進を図った。21世紀を迎え、めまぐるしく変化する世界の中で、環日本海地域を中心とするアジアのこれからの動きと日本の課題について、京都府北部の府民と共に考えた
42	沈明姫漆展－胎骨の整体－	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.2.25～ 06.3.21	ロクロ引きが一般的とされる漆工芸の世界で、「巻胎技法」という遠い過去に絶えた技法を現代に復元させた唯一の作家、沈明姫の個展
43	ブリュッセル庭園の散歩	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.3.25～ 06.3.31	在ベルギーの女性、パトリシア・キナード(洋画家)、愛芽(えめ)(版画家)の2人展
44	第3回「書と非書の際(きわ)～未来へ～展	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	06.3.25～ 06.4.4	「書とは何なのか」、「書と文字はどう関わるのか」、「書と絵画の線はどう違うのか」等々、現代の書芸術を「藝際」の視角から検証する展覧会。3年間の連続シリーズ展として開催され、今回が最終回。

1. ローマ日本文化会館

合計額 118,475,765円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【展示】 日本現代写真展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.4.11～ 05.5.11	日本を代表する現写真家11名による写真展。キュレーターは、2005年ベネチアビエンナーレのコミッションも務めた笠原美智子。出品作家は、石内都、岡田裕子、オノデラユキ、澤田知子、杉浦邦恵、鷹野隆大、秦如美、菱刈俊作、横溝静、元田敬三、米田知子
2	世界遺産展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.5.23～ 05.6.28	1972年にユネスコで採択された「世界遺産条約」に登録された日本国内の世界遺産を、今回は新しく追加された琉球・紀伊山地の写真も含め59点展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	日本・ポーランド・イタリア建築展	ポーランド文化会館/マンガ日本美術技術センター	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.10.5～ 05.11.4	日本・ポーランドそしてイタリアにおいて、ここ数十年特に活躍が目立っている若い世代に属する建築家の作品を紹介する展覧会。ポーランドのマンガ日本美術技術センターにて2004年に行なわれた展覧会に、イタリア人建築家の作品を加え、異なる文化的背景、建築方式の伝統の違いを持つ3カ国の建築の展覧会を開催
4	仏像写真展	－	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	05.11.11～ 06.1.31	大和・奈良の仏像写真展。7世紀から13世紀までの大和を代表する写真を展示。写真は、著名な仏像写真家の小川光三
5	日本食の美展	キッコーマン(本社)	ローマ日本文化会館展示ホール	ローマ	06.2.16～ 06.3.31	日本食を自然の素材を大切にしておしゃれな追求した芸術であるとしてとらえ、この展覧会では、写真や料理道具、見本の展示を通じて、日本食における道徳と美学を紹介した
6	海外事業所企画 開発事業務(日伊建築ワークショップ2005)	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.3.30～ 06.4.10	「移動する建築ストゥーディオ」と題し、展覧会とシンポジウムを開催。藤井博巳、櫻井義夫、R・コンティネンツァ、A・ベネデッティ、芝浦工業大学、ラクイラ大学の学生の模型作品、パネルを展示するとともに、プロジェクトに参加した学生、聴衆を交えたディスカッションを行なった
【公演】						
7	学生狂言公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.4.5～ 05.4.6	ローマ大学東洋学部学生有志による「ローマKyogen一座」の新作狂言公演を行なった。『恋の骨折り』と『酔っ払いの仕返し』の二作品を上演
8	グライNDERマン公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.6～ 05.5.6	現代パフォーマンスアートを代表するグループ、グライNDERマンの欧州巡回公演の一環として開催
9	現代音楽デュオ公演	－	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.24～ 05.5.24	山本純子(ピアノ)、マニユエル・ズリア(フルート)、ユージェニオ・ヴァッタ(音楽監督)による現代音楽コンサート。日本やイタリアの作曲家の作品を演奏

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	パントマイム公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.12～ 05.10.13	佐々木博康（日本マイム研究所）によるマイム公演およびワークショップ。ルーマニアおよびギリシアを回るツアーの一環。公演では『写楽』、『津軽の旅人』等を演じた。ワークショップにはダンサー等を含む13名が参加し、マイムの指導を受けた
11	カルテットコンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.21～ 05.10.21	松永綾子、山口幸恵、懸田貴嗣、渡邊孝からなるRicreation d'Arcadiaによるバロック・古典派初期の室内楽作品の演奏会を開催
12	室内楽コンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.11.4～ 05.11.4	バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーをもつ14人の若いメンバーで構成される室内楽団Le Metamorfoosi Musicaliと文化庁派遣により昨年1年間イタリアで研修を行ない、同楽団と交流を深めた小島茂隆（NHK交響楽団ビオラ奏者）によるコンサート
13	ジャズコンサート公演	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.11.11～ 05.11.11	日本やアメリカをはじめ世界各国で活躍するジャズピアニスト・クリヤマコトと、コモブチキイチロウ（ベース）、エリック・フォード（ドラム）によるコンサート。パリ（フランス）やバッキンガム（イギリス）への欧州ツアーの一環
14	現代音楽コンサート公演	ローマ大学第三	ボローニャ音楽院ホール/ローマ日本文化会館講堂	ボローニャ/ ローマ	05.11.15～ 05.11.17	アンサンブル Musica d'Insiemeによる、欧州で活躍する若手日本人作曲家、藤倉大、望月京、杉山洋一の作品の演奏会を開催
15	尺八・琴コンサート公演	ラヴェンナ アリギエリ劇場/ローマ日本人学校	ローマ日本文化会館講堂/ラヴェンナ アリギエリ劇場/ローマ日本人学校	ローマ/ ラヴェンナ	05.12.1～ 05.12.8	米澤浩（尺八）と熊沢栄利子（琴）による、尺八と琴の演奏会。演奏だけではなく、1曲ごとに楽器の歴史や曲の紹介などの説明もあわせて行なうレクチャーデモンストレーションとした。同様のコンサートをラヴェンナに巡回させるとともに、ローマでは日本人学校の生徒向けにレクチャーデモンストレーションを行なった
16	モーツァルトに捧げるコンサート I 公演	オーストリア文化会館	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.2.24～ 06.2.24	モーツァルト生誕250周年を記念し、オーストラリア文化会館の共催で日本人とイタリア人によるデュオコンサートを開催。出演は、黒田亜樹（ピアノ）、アレッサンドロ・カルボナーレ（クラリネット）

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
17	モーツァルトに捧げるコンサートⅡ公演	オーストリア文化会館	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.3.2～ 06.3.2	モーツァルト生誕250周年を記念して、オーストリア文化会館との共催で企画された、タカマツ・ミホ(ソプラノ)とベルナデット・トリポディ(ピアノ)によるデュオコンサート。デビッド・マックリ(作曲家)が、モーツァルト生誕250周年を記念して、日本、オーストリアそしてイタリアの3カ国を巻き込んで企画したプロジェクトのイタリア部分を成した。W.A.モーツァルト、K.Ager、J.ブラームス、團伊玖磨、Yuji Ito、近藤譲、B. Strobl、中田喜直の曲が演奏された
【講演・シンポジウム】						
18	吉田喜重監督ラウンドテーブル	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.19～ 05.5.19	吉田喜重監督特集に際し、吉田喜重(監督)と岡田茉莉子(女優)を招き、土肥秀行(東京大学フィレンツェ教育研究センター)の司会により、講演会を開催した
19	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.5.27～ 05.6.28	第20回目のイタリア俳句賞授賞式にあわせ、俳句賞の歩みを振り返り、イタリアにおける俳句の受容に関するシンポジウムを開催。出席は、黒田杏子、中村和弘、岡田史乃、柴生田俊一、岩井久美恵、野尻命子、カルラ・ヴァッジオ、ジョルジョ・パトリッツィ、エドアルド・サンガイネティ
20	金原ひとみ講演会	ローマ国際文学フェスティバル	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.6.8～ 05.6.8	ローマ国際文学フェスティバルに協力し、芥川賞受賞作家金原ひとみよる講演会を開催。聞き役はジャン＝ルカ・コーチ(ナポリ東洋大学「オリエンターレ」日本文学研究者)。なお、フェスティバルではイタリアで既に翻訳出版されている『蛇にピアス』および未出版の『アッシュベイビー』を紹介した
21	日本の茶の湯	チェントロ裏千家	ローマ日本文化会館講堂・竹の間・大広間	ローマ	05.10.22～ 05.10.22	チェントロ裏千家との共催により、野尻令子らによる茶道のレクチャー・デモンストレーションを行ない、また館内3カ所に茶席を計4席設け、来客に抹茶を振舞った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
22	現代音楽シンポジウム	ローマ大学第Ⅲ	ローマ大学第Ⅲ アウラ・ヴォル ピ	ローマ	05.11.16～ 05.11.16	欧州で活躍する若手日本人作曲家、藤倉大、望月京、杉山洋一の作品の演奏会を開催したのにあわせ、ローマ大学第Ⅲにおいて、学生向けに、三氏によるシンポジウムを実施
23	仏像写真展講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.1.13～ 06.1.13	「あおによし 奈良の仏像写真展」の機会に、古代日本における仏像信仰に関する講演会を行なった。講演者は、イタリア国立東方学研究所前所長で、現在ナポリ東洋大学「オリエンターレ」の宗教・哲学学部において教鞭をとるシルヴィオ・ヴィータ
24	海外事業所企画 開発事業（現代 アジア理解セミ ナー）	ミラノ国立大学 現代アジア研究 センター	ミラノ国立大学	ミラノ	06.2.17～ 06.3.31	日本をはじめとする現代アジア情勢について、ロナルド・ドーアなどイタリア外からも、幅広い分野の専門家を招き、連続セミナーを、研究者・学生・市民向けに9回にわたって開催した
25	清水宏監督特集 講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.2.21～ 06.2.21	清水宏監督特集上映会にあわせ、トリノ大学で教鞭をとるダリオ・トマシによる講演会を実施。新しい手法を取り入れつつ良質の作品を撮った監督について、また今回上映する作品について講演した
26	鈴木光司講演会	—	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	06.3.23～ 06.3.23	鈴木光司による講演会。作家論・作品論等、自らの素顔を垣間見せながら幅広い内容の講演を行なった。なお、イタリアでは『リング』、『らせん』、『ループ』に続き、『灰暗い水の底から』が最近翻訳出版され、メディアの関心が高く、国営テレビ局やラジオ局、新聞社等の取材を受けた
	【映画】					
27	吉田喜重監督特集	東京大学フィレ ンツェ研究セン ター他	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	05.4.26～ 05.6.21	日本ヌーベルバーグの旗手のひとり、吉田喜重監督作品の特集上映を行なった。『秋津温泉』、『嵐を呼ぶ十八人』、『日本脱出』、『水で書かれた物語』、『鏡の女たち』、『情炎』、『エロス+虐殺』、『戒厳令』、『人間の約束』の9作品を上映
28	RAI-SAT日本 映画上映会	RAI-SAT	ローマ日本文化 会館講堂	ローマ	05.6.23～ 05.6.27	衛星テレビ局Rai Sat Cinemaの協力により、『AUDITION(オーディション)』（三池崇史監督）、『エンジェル・ダスト』（石井聰互監督）、『M/Other』（諏訪敦彦監督）を上映

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
29	日本のコメディ映画特集	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	05.10.11～ 05.12.13	ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵作品の中から喜劇映画を8本選び連続上映を行なった。上映作品は『蒲田行進曲』（深作欣二監督）、『シコふんじゃった』（周防正行監督）、『菊次郎の夏』（北野武監督）など計9作品
30	新作伊語字幕映画特集	-	ローマ日本文化会館講堂	ローマ	06.1.17～ 06.1.31	海外フィルムライブラリー劇映画提供事業にて提供を受けた劇映画『ロボコン』（古厩智之監督）、『阿修羅のごとく』（森田芳光監督）、『美しい夏キリシマ』（黒木和雄監督）を上映
31	清水宏監督特集	トリノ映画博物館	ローマ日本文化会館講堂/トリノ映画博物館	ローマ/ トリノ	06.2.7～ 06.3.28	清水宏の没後40年に際して同監督作品の回顧映画上映会をローマ日本文化会館およびトリノ映画博物館にて実施。『有りがたうさん』、『蜂の巣の子供たち』、『風のなかの子供』等を上映。平成18年度まで継続
【日本語教育】						
32	ロンバルディア州中等教育日本語教師セミナー	ロンバルディア州教育局	Istituto Cattaneo Milano	ミラノ	05.11.9～ 06.3.31	ロンバルディア州で行なわれている高校生のための日本語教育を支援するため、文化会館派遣日本語教育専門家による日本語教師のためのセミナーを2回開催した
【図書館運営】						
33	図書館運営	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	図書館における閲覧、貸し出し、各種照会対応サービスを行なった。年間入館者数5,218名、貸し出し冊数3,120冊、所蔵図書数:和書19,431冊、洋書12,620冊、視聴覚資料1,735部
【出版・広報】						
34	年報	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	作成した年報の送付作業を行なった
35	事業案内	-	-	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	会館事業を紹介する事業案内を年4回各回3,000部制作し、会館内やローマ市内の関係各所で配布するとともに、送付希望者に対して発送

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
36	海外事業所企画 開発事業（俳句 シンポジウム）	イタリア俳句友 の会/チェント ロ裏千家	ローマ日本文化 会館	ローマ	05.5.27～ 05.5.28	日-EU市民交流年記念事業の一環として、これまで20年あまりにわたって発展を遂げてきた「イタリア俳句友の会」の活動を振り返るとともに、俳句の魅力をさらに広く紹介する試みとして、過去の俳句賞公募俳句作品の入選作をまとめた「イタリア俳句の歩み」を発行
37	ホームページ	-	-	ローマ	06.1.4～ 06.3.31	ホームページのリニューアルを行った。年間アクセス件数321,500件
38	【教室事業】 日本語講座運営	-	ローマ日本文化 会館日本語講座	ローマ	05.4.1～ 06.3.31	2005年6月まで前年度開始の講座を実施し、2005年10月から新たな講座を開講した。4年制コースとして初級1・2、中級1・2の4学年4クラスを開講、1年制の会話コースとして1学年1クラスを開講。また、中上級コースとして、「通訳」、「新聞を読む」等のコースを開講。年間受講者数264名
39	【その他】 ローマの白夜	-	ローマ日本文化 会館展示場/講 堂	ローマ	05.9.17～ 05.9.22	ローマ市主催のLa Notte Biancaに参加し、「日本伝統文化の夜」と題し、生け花、墨絵、書道、友禅染の展示(22日まで)および、各分野の経験豊かな指導者によるワークショップとデモンストレーションを開催。同時に、日本文化に関するドキュメンタリービデオの上映と、日本庭園の開放およびガイドによるツアー、また深夜12時から日本映画2本の上映会を実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
40	【助成事業】 ガルダ美術館カ タログ作成	ガルダ美術館	05.4.1～ 05.12.31	イブレア所在のガルダ美術館が、所蔵する日本関係の古美術品のカタログを制作するにあたりその経費の一部を助成
41	ALICE NELLA CITTA' 助成金	ALICE NELLA CITTA'	05.5.25～ 05.5.30	ローマの子供映画フェスティバルALICE NELLA CITTA'が日本映画『スチーム・ボーイ』を上映するに際し、その経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
42	FUJI会/田嶋コンサート助成金	FUJI会	05.7.1～ 05.7.1	ブレーシャの日伊友好協会であるF U J I 会が、邦楽コンサートを実施するにあたって、その経費の一部を助成
43	ヴェネツィア大学日本文化紹介事業	ヴェネツィア大学東アジア研究学部	05.10.6～ 05.12.7	ヴェネツィア大学東アジア研究学部が日本映画上映をはじめとする日本紹介事業を実施するにあたりその経費の一部を助成
44	ポルデノーネ無声映画祭	ポルデノーネ無声映画祭	05.10.8～ 05.10.20	ポルデノーネ無声映画祭において日本映画特集を開催するにあたってその経費の一部を助成
45	シエナ外国人大学日本語学研究会	シエナ外国人大学日本語学研究会	06.3.9～ 06.3.9	シエナ外国人大学において、「日本研究の日」と題する日本紹介行事が実施されるにあたって、その経費の一部を助成
46	【その他】 AIDLG=イタリア日本語教育協会	イタリア日本語教育協会	06.3.17～ 06.3.18	イタリア日本語教育協会が研修会を開催するにあたり、館長および日本語教育専門家、日本語事業担当職員が出張し、研修会を視察するとともに関係者と意見交換を実施

2. ケルン日本文化会館

合計額 123,562,773円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	現代日本の絵本展	ベルリン日独センター	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.15～ 05.6.3	現代日本の子供向けの絵本の多くには、伝統文化に根づいた様々な独特の表現方法やテーマを見出すことができ、芸術的にも教育的も高い水準に達している。ベルリン日独センターの企画による本展は、島多代(国際児童図書評議会前理事)が選んだ、20世紀の日本を代表する絵本作家の作品展
2	対話展 奥井ゆみ子・Raimund Kaiser	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.6.17～ 05.7.29	二人の画家による対話展。日々目にする風景の中ではっとさせられる瞬間を描くという奥井ゆみ子と、『色彩』そのものをキャンバスで表現するRaimund Kaiserが、対照的な表現で魅力的な空間を創り出した

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	橋口譲二『1991-1995職』展	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.2～ 05.10.14	橋口譲二（写真家）は、1987年から日本の様々な場所で生きる人々のポートレートを意識的に撮ると同時に、一人一人の言葉を記録してきた。本展では、多様な職業に従事するベテランと新人の姿と、それぞれの仕事に対する思いを表現。9月2日のオープニングでは、橋口自身のレクチャーも実施
4	対話展 湯川雅紀・Volker Saul	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.10.26～ 05.12.22	国際的に活躍中の湯川雅紀（画家）と、Volker Saul（彫刻家/画家）の二人展
5	ケルン美術館の長い夜	StadtRevue出版/ケルン市	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.5～ 05.11.6	ケルン市内の40以上の美術館が参加する催し「ケルンの美術館の長い夜」（5日の19：00～翌03：00）に、ケルン日本文化会館も開催会場として参加し、湯川雅紀・Volker Saulの展覧会に加え、伝統および現代の邦楽演奏を、20：00～、21：30～、23：00～の3回行なった
6	日独学生交流ポスター展	ケルン・エコサイン造形アカデミー/ベルリン日独センター	ケルン日本文化会館/ベルリン日独センター	ケルン/ ベルリン	06.1.13～ 06.6.30	デザインを学ぶ日独の学生が相手の国に持つイメージを表現したポスターの展覧会。キュレータのHelmut Langer（名古屋芸術大学デザイン学部客員教授/ケルン・エコサイン造形アカデミー講師）の指導のもとで、両国の学生同士が会って、Eメールで意見交換をしながら作り上げたもので、日独の表現方法の違いや特徴が現れていることが興味深いプロジェクト。ベルリン日独センターとの共同事業
7	Global Players 日本とドイツの現代アーティスト展	ゲーテ・インスティテュート/日独アート交流プロジェクト展実行委員会/ルードヴィヒフォーラム現代美術館	ルードヴィヒ・フォーラム現代美術館	アーヘン	06.1.27～ 06.3.26	「日本におけるドイツ年2005/2006」の行事の一環として開催された、日本とドイツの現代アーティストによる芸術交流プロジェクトは、ドイツの作家の個展形式によって札幌、東京（銀座）の12画廊にて同時開催からスタートした。その後横浜のBankART1929等で開いた日独作家26組によるグループ展がアーヘンでも実施
8	大和の仏像写真展	ローマ日本文化会館	ケルン日本文化会館	ケルン	06.3.12～ 06.5.19	7世紀から13世紀までの大和を代表する仏像の写真展。写真は、奈良県出身の古代史家で、仏像写真の第一人者である小川光三によるもの。ローマ日本文化会館所蔵の新規巡回展

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	Kugelblitz展	ゲーテ・インスティテュート/ ドイツ外務省等	ドイツ外務省/ Neurotitan Gallery/ Comicsalon Erlangen/ケル ン日本文化会館	ベルリン /エアラ ンゲン/ ケルン	06.3.23～ 06.10.28	日独のマンガ、コミック、イラストレーションの分野で活躍するアーティスト集団モガモボ（ベルリン）とノウノウハウ（東京）によるコラボレーション・プロジェクト
	【公演】					
10	現代音楽コンサート	ケルン新音楽協会/ 西部ドイツ放送局	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.28～ 05.4.28	1991年に結成されて以来、現代音楽や実験音楽に精力的に取り組んでいるトゥルムヒェン・アンサンブル（Thuermchen Ensemble）の日本現代音楽家（山口恭子/岸野末利加/近藤謙/伊藤弘之/田中聰/川上法子）作曲作品の演奏
11	グラインダーマン・パフォーマンス	－	ケルン日本文化会館	ケルン	05.5.11～ 05.5.11	コンテンポラリー・アートやエンターテイメントのジャンルを超えて活躍中のパフォーマンス・グループ「グラインダーマン」の公演。
12	声明公演	musik+konzep t e.V./西部 ドイツ放送局/ ケルン市	クリストゥス教/ ザンクト・マ リア・イム・カ ピトル教会	ケルン	05.7.6～ 05.7.6	宗教儀礼としてだけではなく、独自の音楽としても注目されている、仏教声楽曲である「声明（しょうみょう）」のグループ、真言宗豊山派「迦陵頻伽（かりょうびんが）声明研究会」が、「ケルンのロマネスクの夏（Romanischer Sommer Koeln）」音楽祭参加し公演
13	邦楽コンサート	－	ケルン日本文化会館	ケルン	05.7.12～ 05.7.12	田嶋直士（尺八）、菊原光治（三弦）、菊央雄司（三弦）、菊知恵美子（箏）による『たぬき』（作者不詳）、『散華』（前田智子作曲）、『鶴の巣籠』（海童道道曲）、『八重衣』（石川勾当作曲）の演奏
14	民謡コンサート	SK財団/ ケルン市/ ケルン独日 協会/ 西部ドイツ 放送局	ケルン日本文化会館	ケルン	05.7.27～ 05.7.27	山本扶美枝（民謡歌手）が『からめ節』、『ちゃっきり節』、『信濃追分』、『津軽あいや節』、『北海盆唄』など、各地の庶民の間で引き継がれてきた『民の唄』を紹介。7月から8月にかけてケルン市内の屋外会場を中心に行なわれた「ケルンの夏（Sommer Koeln）」参加事業として実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	箏コンサート	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.9～ 05.9.9	二十絃箏、二十五絃箏と、つねに新しい楽器とその可能性を追求してきた、野坂恵子が、『津軽』（野坂恵子作曲）、『さむしろ -二十五絃のために-』（高橋悠治作曲）、『浮舟 -水たぎる宇治の川辺に-』（広瀬量平作曲）、『Fantasia mystica』（浦田健次郎作曲）、『琵琶行 -白居易の興に效つ-』（伊福部昭作曲）という現代邦楽曲を演奏
16	講談公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.20～ 05.9.20	歴史上の事件やエピソードをわかりやすく、おもしろく語る話芸である講談。人間国宝の講談師である一龍斎貞水が、講談について手ほどきした後、小泉八雲の『日本雑録』より『破られた約束』を公演
17	ジャズ・ピアノ×2コンサート	JAZZamRhein e.V./ケルン音楽大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.9.21～ 05.9.21	ベンジャミン作曲賞を受賞し近年は即興演奏の分野でアクティブに活動する三宅榛名と、ドイツ批評家レコード賞を5度受賞したベルリン在住の高瀬アキ。世界を舞台に活動する二人のジャズ・ピアニストによるダブル公演
18	コンテンポラリー・ダンス公演	キュンストララーハウス・ムゾントゥルム	ムゾントゥルム	フランクフルト	05.10.1～ 05.10.2	「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2003」の「次世代を担う振付家賞」、「オーディエンス賞」を受賞するなど、今、注目のコレオグラファー&ダンサーである黒田育世を中心とするコンテンポラリーダンスグループによる「SHOKU -full version-」のドイツ初演
19	Contagious Orgasm公演	Kulturbunker Muelheim e. V.	クルトウア・ブンカー	ケルン	05.10.4～ 05.10.4	電子音、サンプリングなどを織り交ぜた、実験音楽グループContagious Orgasmの公演
20	雅楽公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.10.13～ 05.10.13	古典はもとより、廃絶曲の復曲演奏、正倉院復元楽器による合奏、また、現代作品の演奏を手がけ、国立劇場をはじめとする演奏会に出演するほか、海外での評判も高い雅楽団体・伶楽舎が、『太食調音取』『朝小子』『抜頭』（管絃）、『納曾利』（舞楽）、『時の静寂』（佐藤總明作曲）、『凜刻』（猿谷俊郎作曲）を演奏

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
21	ケルン音楽の長い夜	ケルン市	ケルン日本文化会館	—	05.10.22～ 05.10.22	ケルン市内の20以上の会場のいくつかを渡り歩き、幅広いジャンルの音楽を楽しむ催し「ケルンの音楽の夜 (Koelner Musiknacht)」に参加し、ヴァイオリン、ピアノ、俳句朗読による現代音楽演奏を行なった
22	梅若研能会公演	ケルナー・フィルハーモニー/ 西部ドイツ放送局	ケルナー・フィルハーモニー	ケルン	05.10.28～ 05.10.28	国内外で高い評価を得ている観世流演能団体・梅若研能会が、12年ぶりにケルナー・フィルハーモニーで『井筒』、『瓜盗人』、『安達原』を公演
23	日本伝統音楽公演	StadtRevue出版/ケルン市	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.5～ 05.11.5	ケルン市内の40以上の美術館が参加する催し「ケルンの美術館の長い夜」(5日の19:00～翌03:00)に、ケルン日本文化会館も開催会場として参加し、湯川雅紀・Volker Saulの展覧会に加え、伝統および現代の邦楽演奏を、20:00～、21:30～、23:00～の3回行なった
24	ジャズ・ピアノ・コンサート	ケルナー・シュタットアンツァイガー紙/ケルン文学の家	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.9～ 05.11.9	著名な文学作品をひとつ選び、その作品や作家に関連する催しをケルン市およびその近郊の町で行なうフェスティバル「町のための本 (Ein Buch fuer die Stadt)」に村上春樹『国境の南、太陽の西』が選ばれた。このフェスティバル参加事業として、日本で人気を博するジャズ・ピアニストのクリヤ・マコトを迎え、作品に登場する音楽をモチーフにしたジャズ・ピアノ・コンサートと同作品の朗読を組み合わせ「文学+JAZZコンサート」を行なった
25	モノオペラ『鶴』公演	—	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.29～ 05.11.29	米澤浩(尺八)、熊沢栄利子(二十絃箏)、ルース・ガブリエル(ソプラノ)、ヨハネス・クトロヴァッツ(ピアノ)が、『モノオペラ～鶴～』(蓬莱泰三脚本/三木稔作曲/ラート昭子ドイツ語翻訳/秋岸寛久編曲)のほか、『双魚譜』(吉松隆作曲)、『絵馬』(長沢勝俊作曲)などの演奏を行なった
26	日本の歌曲コンサート	—	ケルン日本文化会館	ケルン	06.2.10～ 06.2.10	日独で活躍中の永田峰雄(テノール)と田中あかね(ピアノ)により、別宮貞雄(べっくさだお/1922年～)作曲の『歌曲集「白い雄鶏」』(詩:萩原朔太郎)、『ピアノのためのソナチネ』、『組曲:にしきめがね』、『歌曲集「智恵子抄」』(詩:高村光太郎)(世界初演)の公演を実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
27	日本の仏教彫刻 講演会・ワーク ショップ	ケルン市東洋美 術館	ケルン日本文化 会館/ケルン東 アジア美術館	ケルン	05.4.27～ 05.4.28	根立研介（京都大学教授）が、鎌倉時代前期を中心に主要仏教彫刻作品を紹介し、またその造形の特徴や、それを生み出した社会的背景について講演。講演会ならびにワークショップでは日本彫刻史研究の新しい研究動向についても紹介。ケルン日本文化会館においては講演会、ケルン東アジア美術館では専門家・研究者を対象としたワークショップを行なった
28	大江健三郎朗読 会	ケルン文学の家 /フィッシャー 出版社	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.9.14～ 05.9.14	2005年8月に大江健三郎の『取替え子（チェンジリング）』がドイツ語翻訳出版（『Tagame. Tokio-Berlin』S.Fischer出版社）されたことを機に「ケルン文学の家（Literaturhaus Koeln）」と共催で朗読会を開催
29	山崎朋子講演会	ボーfum大学/ 森鷗外記念館/ ミュンヘン大学	ケルン日本文化 会館/ボーfum 大学/森鷗外記 念館 /International Center for Science and Humanities	ケルン/ ボーfum /ベルリ ン/ミュ ンヘン	05.10.19～ 05.10.26	1972年に出版された『サンダカン八番娼館』のドイツ語版出版を機に、著者の山崎朋子を招へいし、ドイツ4カ所で講演会およびディスカッションを行なった
30	鈴木光司朗読会	ミュンヘン独日 協会/ミュンヘ ン大学日本セン ター	ケルン日本文化 会館/ゲーテ フォーラム (ミュンヘン)	ケルン/ ミュンヘ ン	06.3.20～ 06.3.22	ドイツで近年鈴木光司の著作である『リング』や『らせん』の翻訳が出版され、またこれらに基づく映画が公開されたのを機に、著者である同氏を招へいし『らせん』の朗読会を開催。ミュンヘン独日協会やミュンヘン大学日本センターの協力により、ゲーテ・インスティトゥート本部のゲーテ・フォーラム（ミュンヘン）においても実施
	【映画】					
31	是枝裕和監督特 集	RapidEyeMovies 社	ケルン日本文化 会館	ケルン	05.4.4～ 05.4.26	是枝裕和監督の長編劇映画4本、および商業映画館では上映されない短編ドキュメンタリー4作品を上映。また、カンヌ国際映画祭で受賞した『誰も知らない』の配給会社（RapidEyeMovies社）と共催で、そのドイツ全国公開に先立ち、2005年4月5日にケルン日本文化会館にてプレミア上映を行なった

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
32	鈴木清順監督特集	ニッポン・コネクション	ケルン日本文化会館	ケルン	05.5.2～ 05.7.28	『港の乾杯』、『野獣の青春』、『殺しの烙印』、『陽炎座』、『ピストルオペラ』等、鈴木清順監督の映画11作品の上映
33	内田吐夢監督特集	フランクフルト映画博物館	ケルン日本文化会館/フランクフルト映画博物館	ケルン/ フランクフルト	05.09.08～ 06.2.22	『土』、『血槍富士』、『大菩薩峠』、『恋や恋なすな恋』、『宮本武蔵』等、内田吐夢監督の映画16作品の上映
34	日系ブラジル人映像特集	ケルンメディア芸術大学	ケルン日本文化会館	ケルン	05.11.11～ 05.11.18	日本人（沖縄人）を先祖や親戚に持つ2名のブラジル人映像作家の作品の紹介。Roberto Manhaes Reisはインタビューを中心とするドキュメンタリー映画、日系3世のMarcia Vaitsmanは沖縄の神話をベースにした芸術的映像という異なるアプローチで、それぞれのアイデンティティの模索を表現。3日間に亘り作品上映および作家とのディスカッションと実施
35	黒澤明監督特集	－	ケルン日本文化会館	ケルン	06.2.6～ 06.2.20	西ドイツ放送局（WDR）が2006年2月6日から12日まで実施した『日本特集』の関連企画として、『羅生門』、『七人の侍』、『生きる』、『用心棒』等、黒澤明監督の映画6作品を上映
36	新着映画特集	－	ケルン日本文化会館	ケルン	06.3.2～ 06.4.27	ケルン日本文化会館フィルムライブラリーの新作作品『萌の朱雀』、『森の学校』、『阿修羅のごとく』、『わたしのグランパ』、『美しい夏キリシマ』、『にあんちゃん』、『ルイズその旅立ち』、『ベアテの贈り物』を上映
	【日本語教育】					
37	日本語教育アドバイザー 近隣諸国日本語教育機関支援	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育アドバイザーをベルギー、スイスの日本語教師会セミナーに派遣
38	日本語教育アドバイザー 各州日本語教育事情調査	－	－	－	06.4.1.～ 06.9.30	日本語アドバイザーと外部専門家の提携・協力により、ドイツの中等教育における日本語教育の現状を調査。各州政府に対するアンケート、日本語教育を行なう各種学校での聞き取りを中心に、州政府による政策的な制約、日本語教師が抱える問題、今後の展望および日本側関係機関への要望を調査

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【図書館運営】					
39	図書館運営	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.1～ 06.3.31	図書の貸し出し、参考調査(611件)、ドイツ語圏日本資料図書館連絡会を開催。収蔵資料数：書籍20,243冊、雑誌234タイトル、視聴覚資料7,195点。入館者数：3,668名。貸し出し図書冊数：2,824冊
	【出版・広報】					
40	会館催し物案内発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行(毎回8,000部)
41	ホームページ	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ホームページの運営。ドイツ語、日本語の2言語で、国際交流基金およびケルン日本文化会館の紹介や、会館事業、日本語講座、図書館等の案内、オンライン書籍注文、その他日本関連情報のリンクなどを掲載。 URL: www.jki.de
	【教室事業】					
42	日本語講座	-	ケルン日本文化会館	ケルン	05.4.4～ 06.3.16	半期制。それぞれ日本語紹介コース(2時間4回)、本コース(2時間26回または13回)を実施。準備コースは初心者のみ2クラス、本コースは初心者から上級者9レベル11クラスを開講

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
43	イケムラレイコ展	レックリングハウゼン市クンストハレ	04.9.18～ 05.4.25	レックリングハウゼン、カイザースラウテルンおよびウルムの3市にて、国際的に著名な芸術家・イケムラレイコの個展を実施。カタログ制作費への助成
44	企画開発型事業 ベルリン日独センター出版プロジェクト	ベルリン日独センター	05.4.1～ 05.9.30	ベルリン日独センターが企画出版した「Bruckebauer Pioniere des japanisch-deutschen Kulturaustausches—日独交流の架け橋を築いた人々」の出版経費を一部助成
45	増山士郎「10 Years Project」展	CAI Contemporary Art International Hamburg	05.4.11～ 05.5.22	ベルリンで活動している増山士郎(東京出身/アーティスト)の個展。カタログ制作費に対する助成

	事業名	助成対象団体	期間	内容
46	日本の刀装具 講演会・ワーク ショップ	ハイデルベルク 大学東洋美術史 研究所	05.5.8～ 05.5.14	フランクフルト工芸美術館所蔵の日本美術品の検証と調査のために訪れた原田一敏（東京国立博物館上席研究員）による講演会およびワークショップ。旅費・滞在費に対する助成
47	ケンペルの植物 図譜研究	ミュンヘン大学 歴史・自然学研 究所	05.6.1～ 05.10.31	ケンペル（Engelbert Kaempfer）の「日本植物図譜」に関する研究。1712年にドイツで出版された同書に、注釈や現代語訳、日本語表記を付す作業に掛かる謝金を助成
48	安藤由佳子 パ フォーマンス 「aus der Dampfzeit」	メンヒェングラ ドバッハ・アブ タイ美術館	05.6.5～ 05.6.5	ドイツ・ラインラント地方を中心に活躍中の安藤由佳子（芸術家）による音楽・美術のパフォーマンス。広報費に対する助成
49	文明開化の日本 展	リュウベック民 族学博物館	05.7.22～ 05.12.31	長かった鎖国の後、西洋文化を取り入れた江戸時代後期から明治時代にかけての日本の歴史をひも解く展覧会。美術品・刀装具・武具・写真等1,000点を展示。広報費に対する助成
50	日独大工職人交 流「削ろう会」	日独「削ろう会」 実行委員会	05.8.3～ 05.8.5	日本とドイツの大工職人の交流事業。各々の国の伝統的な大工道具の実演を行い、技術を伝授しあった。旅費、広報費に対する助成
51	オノ・ヨーコ展	現代美術館 ヴェーレン財団 （パッサウ市）	05.8.5～ 05.10.23	芸術家オノ・ヨーコの、ドイツ初の個展。50年代後半から現在までの、160作品を展示。オノ本人によるパフォーマンスも実施。旅費、広報費に対する助成
52	鳥井美知子 書 道展	oko画廊	05.9.24～ 05.10.20	「日展」に7回出展し、読売新聞社賞受賞の書道家・鳥井美知子の展覧会。「アジア・太平洋週間」にも参加。謝金、旅費、広報費に対する助成
53	飯沼英樹展	エルンスト・ バーラッハ協会	05.11.12～ 05.12.11	ドイツ表現主義の彫刻家にちなんだバルラハ賞の2005年度受賞者であり、若手彫刻家の飯沼秀樹の展覧会。謝金と旅費への助成
54	アーゼナル・黒 澤明監督特集	ベルリン映画友 の会・アーゼナ ル	06.1.24～ 06.1.31	黒澤明監督の作品『羅生門』、『乱』、『七人の侍』の上映。会場はベルリンのアーゼナル映画館。上映権料、プリント借料に対する助成
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
55	文化備品貸し出 し	－	05.4.1～ 06.3.31	ドイツ国内外の機関等に、ケルン日本文化会館所蔵の文化備品（茶道具、衣桁等）の貸し出しを行なった
56	所蔵展覧会貸し 出し	－	05.4.1～ 06.3.31	ケルン日本文化会館が所有する展覧会セット（日本人形展/「大和路」展/世界遺産展等6セット）の貸し出し。貸し出し先は、ミュンヘン、ハンブルク、キール（3件）、ドナウ・エッシンゲンおよびルクセンブルクとチュニジアの8件
57	フィルムライブ ラリー	－	05.4.1～ 06.3.31	ケルン日本文化会館が所蔵する劇映画（158作品）および文化映画（117作品）を、ドイツ語圏の大学や博物館等外部機関における非営利上映のために提供した。外部施設での上映回数は118回、延べ118本

3. パリ日本文化会館

合計額 473,858,442円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	伊万里展	ファエンツァ国際陶芸博物館	パリ日本文化会館展示ホール	パリ	04.11.26～ 05.4.2	「伊万里の誕生から発展」(18件22点)、「將軍の磁器とヨーロッパ王侯向けの磁器」(40件44点)、「ヨーロッパ向け伊万里の名品」(25件33点)、「伊万里を写したヨーロッパ陶磁器」(14件14点)と4部構成で、古伊万里から欧州で伊万里の影響を受けた陶器までを通観する展覧会。大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)を監修者として、が日本国内から58件66点、欧州から39件47点を集め、ファエンツァ、パリ日本文化会館、ベルギー王立歴史博物館と巡回させた(国際交流基金ファエンツァ国際陶芸博物館(在イタリア)の共催)
2	広重展	株式会社栄光教育文化研究所	パリ日本文化会館展示ホール	パリ	05.5.14～ 05.7.9	歌川広重のコレクションを有する東京の株式会社栄光教育文化研究所と共催でジャポニズムの中心的役割を担った広重が描いた「江戸名所百景」119点と、その対象となった今日の現地写真を併せて展示、歌川豊国による広重の肖像1点の合計120点の作品を一挙に展示した。会期初めに復刻版の版画刷り実演デモンストラーションを併せて実施
3	JETAA写真展	—	パリ日本文化会館玄関ホール	パリ	05.6.28～ 05.7.9	日本でのJETプログラム経験者が組織するNGOである、JETAA(JETプログラム同窓生協会)のメンバーから、滞在中に撮った日本を題材にした写真展を募り、優秀作品を展示し、「日-EU市民交流年」にちなんで、パリ日本文化会館を皮切りに欧州数カ国を巡回した。財団法人自治体国際化協会(CLAIR)パリ事務所が協力

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
4	三輪華子展	日欧文化交流協会/財団法人セゾン現代美術館/財団法人セゾン文化財団	パリ日本文化会館地下3階フォワイエ	パリ	05.9.29～ 05.10.8	パリ日本文化会館と日欧文化交流協会(AJEEC)との共催によるインスタレーション展。三輪華子は萩焼きの名門三輪窯の直系に生を受けた新進気鋭の現代陶芸家。萩の土を用いた陶のオブジェによるインスタレーションで、蓮の花をモチーフにしたもの。パリにおける外国文化週間参加企画
5	妖怪展	特別協力：S2(エスツー)コーポレーション	パリ日本文化会館	パリ	05.10.25～ 06.1.28	国際交流基金主催展/日本美術に描かれた妖怪や化け物を題材とした美術展。葛飾北斎や歌川国芳を中心とした浮世絵や絵巻物を中心に、アニメズムに通じる日本文化の重要な要素である超自然界の妖怪・化け物の類を紹介し、それが現代アートや妖怪を扱ったマンガ作品(水木しげる等)漫画・アニメーションにどうつながって行くかを目に見える形で提示し、「おかしくて可愛い」妖怪の姿を紹介
6	「日本におけるクロードル」写真展	クロードル没後50年記念企画委員会	パリ日本文化会館玄関ホール	パリ	05.11.2～ 05.12.23	ポール・クロードル没後50周年を記念し、関東大震災の前後に外交官として日本に駐在した作家クロードルの姿を収めた写真に解説を付して展示
7	棟方志功展準備(在外事業費)	大原美術館	-	パリ	06.1.1～ 06.3.31	平成18年度に実施を検討している「棟方志功展」の準備に係る経費(資料購入等)
	【公演】					
8	JERICHO	劇団「地点」	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.20～ 05.4.23	松田正隆脚本、三浦基演出、内田順子、ピエール・カルニオ出演の現代劇。妹を探しにポーランドからやって来た女が、ジェリコに向かう砂漠で道に迷い、負傷した男と出会う。やがて彼女は自身のことを語り始めるという筋立てで、男女の深層心理を描いた
9	狂言-風刺の感興	ARTA(俳優伝統研究協会)	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.29～ 05.4.30	茂山七五三、宗彦、逸平出演。狂言の風刺的側面に着目し、古典『瓜盗人』、フランスの笑劇を元に50年代に書かれた新作狂言『濯ぎ川』、19世紀末フランス風刺劇の古典である『ユビュ王』の一部を狂言版として上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	Grinder-man -"Binary Rider 2005"	-	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.5.20～ 05.5.21	様々なメディアを駆使するパフォーマンス集団グラインダーマンによる作品上演。銅鉄製アイテムを身に付け、テクノミュージック、匿名性を強調した衣装を基に、形而上のデジタル世界におけるバイナリーコード(0/1という数値)と、形而下の現実世界における対になるイメージ(男/女、白/黒、生/死、等)を、映像やダンス等の様々な要素を通じて、ユーモアも交えて描いた
11	能-『綾鼓』/『五輪書』	狩野琇鵬能楽研究所	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.6.20～ 05.6.21	喜多流狩野派の狩野琇鵬ほかによる能公演。1日目は狂言『悪坊』、能『綾鼓』。2日目は狂言『清水』、新作能『五輪書』。なお2日目は、フランスを挙げての音楽の祭典(Fete de la musique)参加企画
12	石の歌-ツトム・ヤマシタ・コンサート	ツトム・ヤマシタ芸術研究所	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.6.3～ 05.6.4	70年代に世界的パーカッショニストとなりアヴィニヨン演劇祭をはじめ欧米を中心に活躍したツトム・ヤマシタによる、サヌカイト(世界で讃岐地方でのみ採取される極めて共鳴性の高い火山岩)を使った楽器でのオリジナル仏教音楽の演奏
13	J-Dance / BATIK 『SHOKU』	-	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.10.6～ 05.10.8	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。出演は、トヨタ・コレグラフィック・アワード「次代を担う振付家賞」(2003年度)、朝日舞台芸術賞(2004年度)などの受賞者で、近年内外で最も注目されている振付家・ダンサーである黒田育世主宰のBATIK。作品は同カンパニーの代表作として評価の高い『Shoku』の最新改訂版
14	J-DANCE 05/ Baby-Q+岡本 真理子	財団法人横浜市 芸術文化振興財 団	パリ日本文化会 館大ホール	パリ	05.10.14～ 05.10.15	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。出演は、トヨタコレオグラフィック・アワード「次代を担う振付家賞」(平成16年度)および横浜ダンス・コレクション「未来へはばたく横浜賞」受賞者である東野祥子を中心とするダンス・パフォーマンス・グループBABY-Qと、横浜ダンス・コレクション・「若手振付家のための在日フランス大使館賞」受賞(平成17年度)の岡本真理子

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	能－梅若万三郎 『恋重荷』	梅若研能会	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.11.3～ 05.11.4	観世流梅若万三郎率いる梅若研能会による本格的能公演。狂言『雷』と、能『恋重荷』を上演。同時期に、同氏の出演した能に関するドキュメンタリー（独仏共同出資のTV会社 arte制作）『能－沈黙の謎』も上映
16	JAZZY COLORS	在パリ外国文化機関有志（17カ国）	パリ日本文化会館大ホール/スウェーデン文化センター	パリ	05.11.15～ 05.11.27	在パリ外国文化機関有志共催、チェコ、フィンランド、ハンガリー、スウェーデン、スイスの各文化センターを会場に、各国のミュージシャンが出演する、今年3回目の国際色豊かなジャズ週間企画のオープニング企画として、パリ日本文化会館において、各国の参加ミュージシャンを一同に集め、フランスを代表するドラマーであるダニエル・ユメール指揮による特別バンド公演を実施。日本からはクリヤ・マコト（ピアノ）が参加
17	牡丹灯籠	－	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.26～ 05.11.26	妖怪展関連企画。日本文化を咀嚼して独自の世界を築いて好評のフランスの劇団Lili Bömによる牡丹灯籠の一人芝居。日本の古典作品に対しての日本的な表象に加えて、フランス演劇の古典的様式を加味したオリジナル作品の上演
18	日本のピアノの 若き才能	YAMAHA	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.2.17～ 06.2.18	ヨーロッパで活躍している若手日本人演奏家によるクラシック・コンサート。ヤマハとの協力のもと、ピアノを中心に、ソロや四重奏など様々な形態で、将来有望な演奏家を紹介する企画。出演は、第1日目：萩原麻未（ピアノ・ソロ）、大崎結真（ピアノ・ソロ）、成嶋志保（ピアノ・アンサンブル）、第2日目：吉田友昭（ピアノ・ソロ）、泉ゆりの（ピアノ・ソロ）、島田彩乃（ピアノ・アンサンブル）
19	パリ寄席	社団法人落語芸術協会	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.10～ 06.3.11	落語芸術協会によるパリ寄席公演。日本の伝統芸能を総合的に紹介。出演は、桂歌丸、三笑亭茶楽、桂歌助、林家今丸（紙切り）。その他、下座（三味線）の演奏やパネル展示などを行った

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	藤間勘十郎 歌舞伎舞踊レクデモ	ARTA (俳優伝統研究協会)	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.22～ 06.3.23	藤間流宗家藤間勘十郎による歌舞伎舞踊のレクチャー・デモンストレーション。現在上演される歌舞伎の中の舞の部分のほとんどを振付ける藤間による、日本舞踊の起源でもある歌舞伎舞踊の実演と解説。パトリック・ドゥヴォス (東大助教授) による歌舞伎と歌舞伎舞踊に関するレクチャーを行ない、歌舞伎に対する総合的な理解を深めた。協力ARTA (俳優伝統研究協会)。会館会員向け企画として特別料金を設定
21	ミニコンサート	-	-	パリ	-	平成18年度事業のための準備
【講演・シンポジウム】						
22	林芙美子講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.05.12～ 05.05.12	『浮雲』のフランス語翻訳本の出版を記念し、INALCO (フランス国立東洋言語文化大学) 所属の日本文学研究者・翻訳者として知られるアンヌ＝バイヤール・坂井が、林芙美子 (作家) の『浮雲』および『晚菊』の抜粋の日仏両語による朗読を交え、作家像について語った講演会
23	広重展関連講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.5.21～ 05.6.4	広重『江戸名所百景』展を機に、パリ日本文化会館で日本文化入門アトリエ講師を務め、また複数の国立美術館で講師を務めるモワンス・前田恵美子を迎え、歌川広重の生きた江戸 (1797-1858) に生きる庶民の生活を、江戸百景の作品と絡めながら解説
24	堀内秀 (なだいなだ) 講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.5.26～ 05.5.26	精神科医であり、ペンネーム「なだいなだ」の名で知られる堀内秀が、日仏両国が共通して抱える「高齢化社会」を老人実体験者であり、仮想政党「老人党」発起人でもある立場から自身の考えを語った
25	コンテンポラリーダンス講演会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.10.8～ 05.10.8	J-danse05の公演期間に日刊紙LIBERATIONのジャーナリストでありコンテンポラリーダンスの批評家でもあるマリー＝クリスティヌ・ヴェルネ (Marie-Christine VERNAY) による、日本の現代ダンスについての講演会。初めにMCJPで過去に実施された数々のダンス映像を10分ほど上映した後、講演会に移り、質疑応答も行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
26	シンポジウム 「日本の妖怪」	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.10.26～ 05.10.26	シンポジウム「日本の妖怪」と称し、妖怪展の監修者辻惟雄（東京大学名誉教授）の基調講演に続き、小松和彦（国際日本文化研究センター教授）、フランソワ・ラショー（フランス国立極東学院・京都研究所所長）、ジルベール・ラスコー（ソルボンヌ大学名誉教授）の4人で「妖怪とは何か」につき日仏の各専門家が日本美術、西洋といった多様な視点から妖怪について語った。同日から開催された展示事業「妖怪展」の関連企画
27	「日本におけるクロードル」講演会	クロードル没後50年企画委員会	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.2～ 05.11.2	クロードル没後50周年を記念して11月2日からパリ日本文化会館で実施される「日本におけるクロードル」写真展にあわせ、同写真展の実行委員会推進者である中條忍（青山学院大学元教授）を招き、外交官としてのクロードル、詩人としてのクロードル、劇作家としてのクロードルについてのミニ講演会
28	ポールクロードルと日本文学	－	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.11.17～ 05.11.17	ポール・クロードル没後50周年を記念し、文人としてのクロードルの知的礎となった古代ギリシャ文学と日本美学を体現する能の比較を通して、2つの文化の体質に迫ろうとしたクロードルを意識し、講演者フィリップ・ブリュネ（ルーアン大学教授）が韻律抱と演劇の実態についてクロードル的考察を試みた
29	大江健三郎講演会	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.11.25～ 05.11.25	ノーベル賞作家である大江健三郎を招いての講演会。「新しい出発から60年を生きて」と題し、戦後から現在に至るまでの彼の人生について語った
30	日本学シンポジウム	フランス国立科学研究センター(CNRS) /法政大学	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.12.1～ 05.12.3	「日本学」が日本研究の総称として使われるようになって以来、その意味は時代と共に変化しており、本シンポジウムは今「日本学」が意味するものを把握し、かつそれを「日本学」とまとめることによって何が問題として出てくるかを発表・討論。日本から10名、欧米から9名の専門家が集った。成果は日英2カ国語で出版

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
31	講演会「妖怪展の作品について」	-	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.12.7～ 05.12.7	講演会「浮世絵と妖怪」と称し、10月26日より開幕している「Yokai～日本のお化け図鑑～」展の一部展示替えのため来仏した浅野秀剛（千葉市美術館学芸課長）が、同展に出品された浮世絵を中心に語った
32	アングレーム漫画フェスティバル	アングレーム漫画フェスティバル	パリ日本文化会館小ホール	パリ	06.1.31～ 06.1.31	2006年1月26日から29日まで Angoulemeにて開催される国際マンガフェスティバルに招待される日本人マンガ作家しりあがり寿を招き、ジャーナリストとのインタビュー形式の対談および聴衆との質疑応答を行なった
33	鈴木光司講演会 + 『リング』講演会	-	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.3.17～ 06.3.17	『リング』やその他数多くの小説の原作者である鈴木光司がパリ日本文化会館にて、同氏が描くファンタジーの世界感や、映画『リング』を上映し、原作との相違などを語った。質疑応答時間も設け、会場の観客との意見交換を行なった
	【映画】					
34	成瀬『浮雲』 + 講演会	EDITION DU ROCHER出版社	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.4.9～ 05.4.9	小説『浮雲』を出版するEDITION DU ROCHER出版社との共催事業。2005年4月にEDITIONS DU ROCHER社が『浮雲』を翻訳出版するに当たり、関連イベントとして林芙美子・成瀬巳喜男研究の専門家による講演会と成瀬監督による『浮雲』を上映
35	名脚本家シリーズ 伊丹万作と伊藤大輔	-	パリ日本文化会館大ホール	パリ	05.9.13～ 05.9.24	名脚本家シリーズ第1弾として、戦前から多くの作品を手掛け、その後の日本映画に多大な影響を与えた伊丹万作と伊藤大輔の脚本作品を上映。『無法末の一生』、『手をつなぐ子等』、『薄桜記』、『反逆者』、『座頭市地獄旅』他15本
36	外国文化週間上映会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.9.29～ 05.9.30	パリ外国文化センター・フォーラム (FICEP) 主催の外国文化週間参加企画。クリスティアン・メルリオ監督『Silenzio』とブリス・ベドロレティ監督『New life』を上映
37	ドキュメンタリー定期上映会	-	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.10.14～ 05.12.10	毎年恒例のドキュメンタリー特集。『NEW LIFE』、『住めば都』、『ベアテの贈りもの』、『夏の嵐・土方巽』を上映。荒井美三雄、藤原智子、カトリーヌ・カドゥの三監督を招へい

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
38	妖怪映画特集	－	パリ日本文化会館小ホール	パリ	05.12.14～ 05.12.17	妖怪展関連事業。『亡霊怪猫屋敷』、『有馬猫』、『怪猫謎の三味線』の3本を上映
39	五所平之助監督特集：美しさと悲しみと	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.1.26～ 06.2.11	3年前に始めた『知られざる監督シリーズ』第7弾。ユーモアと叙情性を兼ね備えた作風の五所平之助を特集。『朧夜の女』、『今ひとたびの』、『煙突の見える場所から』、『鶏はふたたび鳴く』、『黄色いからす』、『挽歌』、『狐銃』、『かあちゃんと11人の子ども』など計14作品を上映
40	座頭市特集	－	パリ日本文化会館大ホール	パリ	06.2.28～ 06.3.4	WILDSID配給会社との共催事業。上映作品名：『不知火検校』、『座頭市物語』、『座頭市血笑旅』、『座頭市血煙り街道』、『座頭市喧嘩太鼓』、『座頭市あばれ火祭り』、『座頭市と用心棒』（以上、勝新太郎主演）、『座頭市』（北野たけし監督・主演）計9本
【日本語教育】						
41	日本語教育アドバイザー	－	－	パリ	05.11.14～ 06.3.31	11月14日から国際交流基金から派遣されている北條淳子（シニア日本語教育アドバイザー）を中心に、日本語教育指導・研修会等のアドバイザー業務を行なった
【教室事業】						
42	書道入門教室	ひまわり/たのし協会	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	フランス在住の書道講師・大島妙子、武井真紀子（ともに2004年9月以降）による書道教室
43	生花教室	いけばなインターナショナル	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	小原・草月・池坊各流派によるイケバナ指導。定期的にデモンストレーション、玄関ホールにおける展示も行なった
44	茶道デモンストレーション	裏千家淡交会/裏千家	パリ日本文化会館茶室「好日庵」	パリ	05.4.1～ 06.3.31	裏千家が担当する茶道デモンストレーション
45	日仏文化入門アトリエ	－	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	フランス人を対象に日本文化への、そして日本人を対象にフランス文化への理解を深めることを目的とした講座
46	囲碁教室	フランス囲碁連盟/パリ囲碁クラブ	パリ日本文化会館教室	パリ	05.4.1～ 06.3.31	初心者から上級者までを対象とする囲碁教室。2005年9月より単発授業登録を取りやめ、10回授業コース制とした

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
47	着付教室	アレア・ジャクタ・エスト協会	パリ日本文化会館教室	パリ	05.6.22～ 05.10.7	2005年6月22日に帯結び教室を2回、その後3回コースの着付け教室を9月から10月にかけて実施。着物コーディネーターである綾秦節をパリ日本文化会館に迎え、着物の伝統、着付けの仕方、礼儀作法を指導
48	茶道入門教室	裏千家淡交会/ 裏千家	パリ日本文化会館茶室「好日庵」	パリ	05.10.1～ 06.3.31	定員10名の茶道教室（16回授業）

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
49	フランス日本語教育委員会	フランス日本語教育委員会（CEJF）	05.10.1～ 06.3.31	「フランス日本語教育委員会」より要請を受け、中国語教育等に押されて危機に瀕しているフランスの日本語教育の必要性をフランス教育省に訴え、かつより有効な教育制度を導入するための調査・分析活動に必要な経費として、今年度および来年度の2カ年にわたって同委員会の活動を援助できるよう、特別プロジェクトとして助成を行なった
	【会場提供】			
50	日仏医学会	日仏医学会	05.5.27～ 05.5.28	1997年11月にもパリ日本文化会館で非公開のシンポジウムを開催した日仏医学会が、日仏精神科医を集め、研究発表会を行なった。発表者は約20名、終始フランス語で行なわれた。これに先立ちパリ日本文化会館で講演会を行なった「なだいなだ」こと堀内秀も講演者として参加
51	ESSEC慶応交流20周年	ESSEC/慶応大学	05.6.8～ 05.6.8	ESSECと慶応大学の交流20周年を祝して記念式典をパリ日本文化会館で実施。前半のシンポジウムは、現在までの両大学の交流の軌跡、日仏交換留学生2名による発表、日仏協力の成功例として日仏企業3社（資生堂/ブイグ/バカラ）を招いたラウンド・テーブルの3部構成で小ホールにて行なわれ、後半はレセプションホールにてカクテルを、それに平行してパリ日本文化会館で開催中であつた広重展の鑑賞を実施
52	栗原はるみ日本料理プレゼンテーション	フジサンケイ・コミュニケーショonz・インターナショナル（パリ事務所）	05.6.14～ 05.6.14	2004年グルマン世界料理本大賞を受賞し、同著作が6月1日にフランスにおいて出版された栗原はるみをパリ日本文化会館に招き、フジサンケイグループとの協力の下、レセプションホールにて日本料理の紹介イベントを行なった
53	愛知・地球博セミナー	財団法人2005年日本国際博覧会協会	05.6.23～ 05.6.23	9月25日まで開催の「愛・地球博」の折り返し地点での報告と後半の広報活動を兼ねてBIE (Bureau International des Expositions) 関係者とフランスのプレス関係者を対象に財団法人2005年日本国際博覧会協会主催で「愛・地球博」レセプションを開催。小ホールで「愛・地球博」紹介のビデオを上映し、中村博覧会協会事務総長のご挨拶の後、レセプションホールでカクテルを催した

	事業名	助成対象団体	期間	内容
54	酒セミナー	八壺会（はっこかい）	05.6.25～ 05.6.25	恒例事業である日本酒セミナーであるが、本年は趣向を大きく変えレセプションホールにて着席型で実施。また、日仏プレスおよび業者用に特別試飲会を一般試飲会の前に設け、日本酒7種を専門家たちが味わった
55	JMAセミナー	日本能率協会	05.7.5～ 05.7.5	日本能率協会が毎年各地で開催しているグローバル・ビジネスリーダーコース。今年はパリ日本文化会館にて、パリ日本文化会館館長より会館の設立趣旨および活動内容を参加者に説明し、館内および広重展を見学。その後、仏メセナ協会ADMICALの会長補佐ソヴァネならびにルノー財団フーコーに「仏における企業と文化貢献」についての講義があった
56	ルノー財団セミナー	ルノー財団	05.11.23～ 05.11.23	ルノー財団がパートナーシップを組んでいる教育機関を中心に広報活動として文化の夕べを催した。内容は「妖怪展」に関する講演会のあと、妖怪展を見学し、その後カクテルを催した
57	Hachette 婦人画報100周年記念レセプション	Hachette Filipacchi Medias	05.12.15～ 05.12.15	婦人雑誌として最も歴史のある「婦人画報」の100周年を記念して創刊号をはじめとする「婦人画報」の表紙をパネルにして展示、雑誌を通して時代の移り変わりがわかるミニ展覧会を会場に設置し、カクテルを催した
58	JNTO主催「木の文化」シンポジウム	国土交通省	06.1.18～ 06.1.18	国土交通省主催、独立行政法人国際観光機構（JNTO）協力による、世界文化遺産となっている奈良、姫路、斑鳩、吉野木造建築をテーマにしたシンポジウム。西村幸夫（東京大学教授）による基調講演の後、各自治体代表者が「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に沿って各都市の日本の魅力をアピール、そして吉野の大峯山護持院喜蔵院住職の中井教善師が山伏姿で「山伏の姿と心」について特別講演を行なった

4. ソウル日本文化センター

合計額 143,626,327円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
1	【展示】 浮世絵展	—	ソウル文化センターイオンホール	ソウル	06.3.16～ 06.4.22	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵作品を紹介する第2回目の浮世絵展を2004年度に引き続き開催。喜多川歌麿をはじめとする絵師による美人画、および歌川広重や葛飾北斎の風景画の中から55点を展示。浮世絵の黄金期とされる時期の代表的な錦絵作品を数多く紹介

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
2	福田繁雄講演会	国民大学ゼロワンデザインセンター	国民大学ゼロワン・デザインセンター/弘益大学デザイン学科	ソウル	05.4.14～ 05.4.15	日本グラフィック・デザイン界の巨匠・福田繁雄を招へいし「視覚伝達とグラフィック・デザインの未来」をテーマに講演会を実施。福田は、他人の真似をせず独創的であることの重要性や、デザイナーとしてあり続けるために必要な感覚の訓練などについて講演したが、120席の会場に140人が入場し、入場者以外にも外に大勢の待機者がいる程の大成功を収めた
3	平野啓一郎講演会	文学ドンネ/高麗大学校	ソウル文化センターイヨンホール/高麗大学インチョン記念大会議室	ソウル	05.10.27～ 05.10.28	韓国の若者に人気のある日本人作家・平野啓一郎を招待し、「語り、伝えるということ」というテーマで講演会を行なった。自身の文学創作の原点、父の死の意味など生い立ちについての話から、本を読むこと、小説を書くことやその意味、歴史への洞察などについての作家の考えを真摯に語った。また、来韓中に韓国の同年代のキム・ヨンス（小説家）との対談も行ない、両国の若い作家同士が文化の深層をお互いに理解しあう機会になった
4	「モホイナジの新しい視覚」展シンポジウム	芸術の殿堂デザイン美術館	芸術の殿堂・書道博物館	ソウル	05.11.5～ 05.11.5	バウハウスの映像・金属工芸の担当教授として、基礎デザインに多大な影響を与え、バウハウスの叢書の企画と編集デザインおよび広告デザイン、舞台デザイン等幅広い活動をした世界的に著名なデザイナーのモホイナジを本格的に紹介する展覧会に併せて実施した国際シンポジウム。日本人参加者、井口壽乃を招いた
5	フェローOB講演会（日知・企画開発事業）	－	ソウル文化センターイヨンホール	ソウル	06.1.23～ 06.1.25	昨年度に引き続き、国際交流基金のフェローOBである6名の日本研究者による、日本の政治・社会・文化に関する公開講座を実施
	【日本語教育】					
6	青年日本語教師訪問授業	－	論山大建高校	忠清南道	05.4.1～ 05.6.30	青年日本語教師が、韓国側教育機関の要請により高校・中学校を訪問し、会話授業の補助や日本文化紹介を行なった。これまでソウル首都圏を中心に実施してきたが、今年度は地方都市への出講を実施

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
7	日本語講座	-	ソウル日本文化センター講義室	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	一般学習者向けコース 10クラス、週2コマ（総コマ数20） 2005年度前期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解・討論」「聴解と日本語理解」 2005年度後期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解討論」「作文技術」「聴解と日本語理解」 2006年度前期開講クラス：「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」/「読解討論」「作文技術」「聴解と日本語理解」
8	「韓国人日本語教師と日本語ネイティブ教師によるチーム・ティーチング授業事例集」	-	-	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	平成15年度に青年日本語教師が韓国人日本語教師とチーム・ティーチングを行なった際の授業の事例とチーム・ティーチング実施の際の留意点などをまとめた事例集を追加印刷、PDF化。事例集のホームページ版は6月24日に公開
9	日本語教材図書・ビデオライブラリー	-	-	ソウル	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師への情報提供サービスおよび韓国の初・中等教育レベルにおける日本語教育の状況把握、今後の事業計画策定のため、各種教材・ビデオ等を収集
10	日本語教育研究講座	-	ソウル文化センター講義室	ソウル	05.4.13～ 05.12.14	2005年度前期：週1回、全10回（総20時間）実施。2005年度後期：週1回、全15回（総30時間）実施。 実施コースは、「中学校日本語教師研修コース」、「高校日本語教師研修コース」、「教師のための日本語コース」の3コースを実施
11	日本語教育通信発送および調査	-	-	ソウル	05.5.17～ 06.3.13	「日本語教育通信」2004年度分(48号～51号)を日本語国際センター研修の参加者(韓国内：1,277名)に郵送し、今後も続けて紙媒体としての発送を希望するかどうかを確認した。
12	ニュースレター作成・発行	-	-	ソウル	05.7.1～ 06.3.31	韓国の日本語学習者を対象とし、インターネット上で配信するニュースレター『カチの声』を年3回発行。日本の文化・社会に関するコラム、エッセイ、および韓国人から見た日本、日本人から見た韓国に関するコラム、日本語学習に関する情報などを掲載。配信希望登録者数2,791名

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
13	夏季日本語教師集中研修	－	ソウル文化センター講義室/在釜山総領事館講義室	ソウル/釜山	05.8.1～ 06.8.24	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」を目標に実施
14	地方中等教育教師支援（釜山派遣専門家）	－	－	釜山	05.9.1～ 06.3.31	嶺南地域各地の教師会と連繋して実施する研修会への参加
15	日本語教育現状調査（釜山派遣専門家）	－	－	釜山	05.9.1～ 06.3.31	主として中等教育の日本語教育機関を訪問、視察などを行なったが、随時大学等の機関も対象とした
16	図書教材ライブラリー整備（釜山派遣専門家）	－	－	釜山	05.9.1～ 06.3.31	日本語教育および日本文化に係る書籍、定期刊行物を購入、配架することで、嶺南地域の日本語教師の教材作成などに役立てた
17	中等教育教師クラス（釜山派遣専門家）	－	社団法人釜山韓日文化交流協会	釜山	05.9.6～ 05.12.21	嶺南地域の日本語教師の能力向上を目的として週1回3クラス実施した日本語運用能力向上のための授業
18	日本語教育支援事業諮問委員会	－	ソウル日本文化センター	ソウル	05.12.15～ 05.12.15	ソウル日本文化センターが実施する日本語教育支援事業に関し、主として中等教育に関わる関係者からの意見を聴取し、事業の効果的な実施に資することを目的とした委員会を開催
19	冬季日本語教師集中研修	－	ソウル日本文化センター講義室/財団法人釜山韓日文化交流協会	ソウル/釜山	06.1.16～ 06.1.28	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として実施
20	中等教育日本語教師集中研修（釜山派遣専門家）	－	社団法人釜山韓日文化交流協会	釜山	06.1.23～ 06.1.23	嶺南地域の中等教育日本語教師の教授能力向上を図るために、冬季休暇中に実施する教授法の集中研修

	事業名	共催者	会場	敏	期間	内容
	【その他】					
21	「横浜トリエンナーレ2005」説明会	—	ソウル文化センターイヨンホール	ソウル	05.8.5～ 05.8.5	日本の代表的な現代美術の祭典「横浜トリエンナーレ2005」を韓国内の美術関係者およびマスコミに広報するため、横浜トリエンナーレの総合ディレクター川俣正等の関係者が来韓し、説明会を行なった。ソウル日本文化センターは、説明会の会場設営、美術関係者(出品作家/美術館等)およびマスコミ(新聞/雑誌/放送局等)への案内、通訳手配等を行なった

(2) 助成・協力

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
22	ソウル国際バッハ・フェスティバル2005	国際バッハ・フェスティバル事務局	05.5.19～ 05.5.30	国際バッハ・フェスティバル事務局は、世界で活躍する第一線の音楽家達をソウルに招へいし、バッハの音楽だけを紹介する連続演奏会である国際バッハ・フェスティバルを開催した。そのフェスティバルのいわばトリとして、日本を代表するバッハ音楽の演奏家集団であり、世界的にも高い評価を得ているバッハ・コレギウム・ジャパンが5月30日の最終日にコンサートを行なった
23	光州と広島をの民主・人権・平和	湖南大学校人文社会科学研究所	05.5.25～ 05.5.25	民主化運動の発祥の地として国際的に知られている光州の今後の役割を考察するために、日本の学者による広島の事例に関する発表、および日韓の学者による討論を行なった
24	セミナー「日韓翻訳の昨日と今日」	日韓社会文化フォーラム	05.5.28～ 05.5.28	日本、韓国、米国の学者、および韓国の日本関連書籍出版社の代表者、専門翻訳者等が集まって、近代以降の文化社会的観点から見た日韓翻訳出版の歴史性、および現在の韓国における日韓翻訳出版市場の現況と展望について議論した
25	日韓の文化行事・交流イベント等を広報するインターネットマガジンの制作(日本研究・知的交流企画開発事業)	東アジア文化交流協会	05.7.1～ 05.10.31	ソウルで行なわれる日韓文化交流イベント等を、韓国の若者に広報するインターネット・マガジンの制作費の一部を助成
26	ワークショップ「韓国における日本研究の現状と課題」(日本研究・知的交流企画開発事業)	世宗研究所	05.7.22～ 05.7.22	国際交流基金が世宗研究所に委託している「日本研究調査」の調査報告書の作成に反映するために、政治、経済、歴史、文学、語学等の各分野について調査委員が各分野の日本学の現況について発表し、外部の専門家と討論を行なった

	事業名	協力対象団体	期間	内容
27	第20回日韓学生会議	日韓学生会議	05.8.11～ 05.8.12	「我々はスペシャリスト」というテーマで、日韓それぞれ21名の大学生がソウルに集まって、日韓関係について討論し、両国における大学生の今後の役割を模索した。2日間のシンポジウム以外にも、2週間の日程でソウルと大田市で文化体験、交流会、関係機関訪問、ホームステイ等を実施
28	セミナー「APEC釜山総会と新しい日韓関係の模索」	韓国政治学会	05.8.12～ 05.8.12	日韓両国の学者、マスメディア関係者、政府実務者等が釜山に集まって、2005年11月に開催されたAPEC釜山会議が日韓関係に与える影響を考察し、多国間協力の可能性について議論した
29	日本語教育支援（韓国日本語教育研究会全国大会）	韓国日本語教育研究会	05.8.16～ 05.8.17	IT資料をはじめとした多様な資料の活用による、現職教員の新しい授業の取り組みを発表する場を提供すると共に、日本語教育関連の講演からなる自主研修を実施
30	日本語教育支援（第2回日韓アジア教育国際会議）	ソウル日本語教育研究会	05.8.18～ 05.8.19	「外国語教育としての日本語教育教材『日本事情』を考える」などの4つをテーマに、日本・韓国・中国・台湾・香港の各地域から実務者、研究者、学生が集まり学術会議と対話事業を実施
31	高陽国際子供映画祭	社団法人高陽国際子供映画祭	05.8.18～ 05.8.25	子供を対象とする国際子供映画祭が韓国で初めて開催された。「子供に羽をつけよう」というスローガンのもとに、子供が制作した映画と子供をテーマとした映画等を中心にプログラミングされた同映画祭に、「短編映画国際競争部門」の国際審査委員として日本の京都キンダーフィルムフェストに出品した監督（全員子供）5名が選定された
32	セミナー「日韓マスメディアフォーラム－緊急報告9/11総選挙と日本の展望」	日韓社会文化フォーラム	05.9.27～ 05.9.27	毎日新聞の編集局長を招へいして、9月11日に行なわれた日本の総選挙が日本社会の今後をどのように変えるのかについて分析した結果を発表。韓国のマスコミ関係者、学者たちと日韓関係に及ぼす影響について討論
33	セミナー「光州・全南地域と日本地方政府間の交流・協力の活性化方案」（日本研究・知的交流企画開発事業）	湖南大学校人文社会科学研究所	05.9.30～ 05.9.30	日本の学者を招いて、日本の地方自治と地域振興政策について講演を聞き、光州・全南地域と日本との経済交流の活性化のための方法について韓国の学者、実務担当者等が討論
34	日韓外交正常化40周年記念叢書発刊（日本研究・知的交流企画開発事業）	現代日本学会	05.10.1～ 06.3.12	2005年6月に現代日本学会主催で行なわれた日韓外交正常化40周年記念国際会議で発表された論文および討論を叢書として刊行することになり、その日本語版刊行のための内容翻訳費用の一部を助成した

	事業名	協力対象団体	期間	内容
35	国際デザイン文化カンファレンス (IDCC)	ソウル大学韓国デザイン産業研究センター	05.10.20～ 05.10.20	IDCCは、デザインの価値に対して文化という観点から多角的にアプローチし、新たなビジョンを提示する国際会議である。第3回目となる今回は、テクノロジーの発達と情報化時代の到来により、グラフィック、プロダクト、環境、メディアが融合し、発展・変化するなかで、様々な反応を見せる人間と対象間の相互作用について議論した。韓国、日本、アメリカ、イタリアから5名の専門家が発表者として参加(日本：Tamon HOSOYA/国際メディア研究財団研究員)
36	2005日韓ARTリレー	シアターゼロ	05.11.8～ 05.11.13	日韓ダンスフェスティバル等、日韓の舞台芸術交流に力を入れているシアター・ゼロ(代表：シム・チョルジョン/元国際交流基金フェロー)が日本のDie Pratzte 劇場と共同企画・主催した実験的な舞台公演。韓国のパントマイムの第一人者であるユ・ジンギュをはじめ、日本のゴキブリコンビナート等、ダンス、パントマイム、パフォーマンスの14チームの公演を一堂に紹介
37	RESFEST2005	RESFEST Korea	05.11.10～ 05.11.19	RESFESTはニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ソウル、東京など全世界40都市をツアーするグローバルな映画祭。韓国は2000年から参加し、毎年開催している。今回は、前回から作品『The Japanese Tradition』で好評を得ているTeevee Graphicsの特別展を組み込み、全部で15作品を紹介。また、メンバーを招へいし、TV広告からミュージック・ビデオ、アニメーション等、多様で幅広い活動を広げる作品世界をTeevee Graphics自らが紹介
38	2005日本現代戯曲翻訳および朗読公演	日韓演劇交流協議会	05.11.17～ 05.11.20	日韓両国の戯曲を研究(翻訳)し紹介する等、演劇分野における文化交流事業を推進してきた日韓演劇交流協議会が2003年の日本の現代戯曲の中で最も注目された作品、井上ひさし作『太鼓叩いて笛吹いて』等5作品を韓国語に翻訳出版。韓国の市民に対してその5作品の内容を披露する朗読公演を行なった
39	2005年韓国児童権利学会秋季学術大会	韓国児童権利学会	05.11.18～ 05.11.18	韓国の児童権利保障のために活動している唯一の学会である韓国児童権利学会が毎年開催しているシンポジウムであり、今年度は、UN児童権利委員会が勧告していた児童権利の争点を中心に議論を行なった。日本から児童権利保護についての研究者を招へいした
40	セミナー「東アジアの民話」	国民大学校語文学研究所	05.11.25～ 05.11.25	韓国、日本、中国、およびモンゴルの学者がソウルに集まって、それぞれの国の民話に関する研究成果を発表し、東アジア各国の民話を比較する討論
41	セミナー「地方選挙と政治発展に関する日韓比較国際学術会議」	社団法人ネナラ研究所	06.2.3～ 06.2.3	日本と韓国の学者、NPO関係者、知事等が参加して、両国の地方選挙の事例を発表・分析する一方、特に日本のマニフェスト選挙事例の韓国における理論的・実践的な適用の可能性について議論
42	延世大学リーダーシップフォーラム東北アジアネットワーク2006	延世大学校リーダーシップセンター	06.2.6～ 06.2.11	次世代のリーダーとして活躍が期待される日本、韓国、中国などの北東アジア5カ国の大学生109名がソウルに集まって、北東アジアにおける緊張関係の克服と和解への道を探るためのワークショップ・講演会・フィールドワーク等を実施

	事業名	協力対象団体	期間	内容
43	北朝鮮の改革・開放のための国際事業に関する知的交流と合同研究（日本研究・知的交流企画開発事業）	研究所2020統一韓国	06.3.30～ 06.3.30	2005年12月17日に東京で行なわれた日本と韓国の専門家による国際会議に続いて、ワシントンでは日本、韓国、米国の3カ国の専門家が集まって、北朝鮮の改革・開放を誘導するための方策について討論した
44	韓国日本近代文学会国際学術シンポジウム	韓国日本近代文学会	06.4.1～ 06.4.1	「日本近現代文学における家族」というテーマで、日本の研究者2人による基調講演、および韓国の研究者6人による研究発表、総合討論を行なった
	【会場提供】			
45	韓国日語教育学会第7回国際学術発表会	韓国日語教育学会	05.6.11～ 05.6.11	教材のあり方を中心に日本語教授法を考える諸発表を中心に、教授法に関する諸分野にかかわる学術発表を実施
46	出会いとコミュニケーション日韓交流展	出会いとコミュニケーション	05.7.9～ 05.7.19	日韓友情年を記念して、美術を通じた両国間の交流の深化を目的とした、日韓の若手美術作家（日本12名/韓国11名）による共同展示会。美術と社会の間関係についての新しい視点を模索するという意味でも意義深い展示会であった（駐韓大使館公報文化院でも同時開催）
47	日韓青少年交流会	明るい青少年支援センター	05.8.17～ 05.8.17	「2005日韓共同未来プロジェクトーデジカメで見る韓国の通過儀礼」という日韓青少年交流プログラムの一環として、両国の参加学生たちが集まり、共同作業の打ち合わせおよび交流会を行なった
48	第3回日韓市民社会フォーラム	アジア市民社会運動研究院	05.8.20～ 05.8.21	「相違を小さく、類似を大きく」をメインテーマとして北東アジアの平和のための日韓市民社会の課題について日本、韓国、中国のNGO関係者および学者たちがソウルに集まって議論を行なった
49	日韓青少年写真展示会	明るい青少年支援センター	05.8.25～ 05.8.27	「2005日韓共同未来プロジェクト：デジカメで見る韓国の通過儀礼」というタイトルで韓国で行なった日韓青少年たちの共同制作による写真作品、および日本の青少年の日本での受賞作品を展示
50	日韓マスメディアフォーラム「日本アニメーションの韓国内への流入と影響」	日韓社会文化フォーラム	05.8.30～ 05.8.30	韓国の漫画産業の現場で活躍している専門家が日本漫画の韓国内での位置について発表し、マスメディア関係者、学者等の参加者たちと討論を行なった
51	韓国日語教育学会第8回教員研修会	韓国日語教育学会	05.11.26～ 05.11.26	聴解、文法、作文、読解、教授法、日本事情、漢字、会話の各部門における教材研究についての発表と、授業の事例発表から構成され、今後の各分野における教材のあり方を考える研修会

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
52	日韓世界遺産写真展	カヤ世界文化祝祭2005	05.10.1～ 05.10.16	ソウル日本文化センターの展示コレクションである「日韓世界遺産写真展」（三好和義54点、李相秀50点の計104点の作品により構成）を金海市が主催する「カヤ世界文化祝祭2005」に提供し、世界の文化遺産コーナーで展示
	【その他】			
53	済州島日本語教科研究会（地方教師支援）	済州島日本語教科研究会	05.6.22～ 05.6.22	授業に合った自主教材作りの方法を目的に、午前は国際交流基金日本語国際センターで開発した「みんなの教材サイト」を紹介し、午後は同サイト上の写真やイラスト、アイデア等を取り入れたタスクシートや活動例をグループで作成し成果を共有
54	2005年度夏季大学院セミナー（日本語教師養成）	韓南大学日語日文学科	05.7.2～ 05.7.2	韓南大学日語日文学科一般大学院、教育大学院修士課程在籍の学生の修士論文中間発表会への出席。「外国語教育としての日本語教育について」というテーマで講義を行なった
55	忠清南道日本語教科研究会（地方教師支援）	忠清南道日本語教科研究会	05.7.21～ 05.7.22	1日目は、「日本語におけることばと文化の学習を考える」をテーマに、使用教科書を再検討する活動を行なった。さらに食文化を例にことばと文化を扱う教室活動と情報を紹介。2日目は、ソウル裏千家出張所の協力を得て、免許保持者2名が、茶道の紹介とデモンストレーションを実施
56	韓国日本語教育研究会全国大会（地方教師支援）	韓国日本語教育研究会	05.8.16～ 05.8.17	韓国日本語教育研究会主催による年1回の全国大会で、各地域からの中等学校教諭による授業研究発表と4人の講師による講演により構成（12名）。ソウル日本文化センター所長の挨拶および日本語教育派遣専門家の講演ならびに授業研究発表の審査で協力

5. 北京日本文化センター

合計額 28,464,037円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	第2回北京大山子芸術祭2005	DIAF2005実行委員会	大山子芸術区	北京市	05.4.30～ 05.5.29	1年に1度、北京大山子芸術祭で行なわれた日本、中国および世界各国の現代美術家による総合芸術祭
2	Modern style in East Asia 2005	東京画廊	大山子芸術区内 東京画廊	北京市	05.11.13～ 05.12.4	現在の北京における芸術発信地、大山子において、世界に誇る東アジアの建築家、山本理顕および張永和の建築作品を、模型や写真などで展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
3	中央戯劇学院 共同制作『蛛網』	中央戯劇学院/ 日本大学芸術学 部	中央戯劇学院実 験劇院	北京市	05.4.7～ 05.4.10	中央戯劇学院の開催した現代舞踊公 演『蛛網』への協力。振付、演出に は日本大学芸術学部が協力
4	第2回有里知花 コンサート	イデア株式会社	広州市広東外語 外貿大学雲山會 堂	広州市	05.11.6～ 05.11.7	大学生を中心とした若者に、J-pop などの日本文化を「感動を介して」 伝えることを目的とした有里知花の コンサート
5	GYPSY QUEEN 重慶 公演	ONE ASIA	四川外国語学院	中国重慶 市	05.12.28～ 05.12.30	GYPSY QUEENの演奏で同校の 日本語学部学生を中心とする観客た ちとの交流を深めた
	【講演・シンポジウム】					
6	日本文化講演会 「ファンキー末 吉が語る日中音 楽界の違い」	－	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	05.5.21～ 05.5.21	北京市在住の日本人ミュージシャ ン、ファンキー末吉を講師に迎え、 日中の音楽の共通点、相違点等に關 する講演を開催
7	中日同時通訳集 中講義および特 別公開講座	北京語言大学外 国語学院	北京語言大学外 国語学院	北京市	05.6.23～ 06.3.31	日本より塚本慶一（神田外語大学教 授）を招へいし、北京語言大学外国 語学院が開設する中日同時通訳修士 課程における集中講義、および社会 人を対象とした特別公開講座を実施
8	日本文化講演会 「村上春樹の文 学」	－	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	05.6.25～ 05.6.25	中国で非常に人気のある村上春樹の 作品について、2002年度国際交流基 金フェローであり、当国で翻訳を行 なっている林少華が講演
9	毛丹青氏による 日本文化講演会	－	北京大学正大国 際交流中心	北京市	05.9.10～ 05.9.10	文学・演劇・音楽等様々な分野の日 中文化交流の最前線で縦横多彩に活 動している毛丹青を迎え、『人民中 国』誌編集長の王衆一との対談形式 による講演会を開催
10	アニメ芸術国際 フォーラム2005 (日知/フェロー フォローアッ プ)	中国人民大学人 文奧運研究中心	中国人民大学	北京市	05.10.27～ 05.10.29	2004年度国際交流基金フェローとし て日本のアニメ文化および産業につ いて研究を行なった于素秋が中心と なって行なわれたシンポジウム
11	日中プラモデル 文化交流会	日本大使館	北京日本文化セ ンター多目的 ホール	北京市	06.3.19～ 06.3.19	株式会社バンダイの担当者を講師に 迎え、ガンダムプラモデルをテーマ にした文化交流として講演会・展示 会を開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【日本語教育】					
12	日本語サロン	－	北京日本文化センター多目的ホール	北京市	05.4.1～ 06.3.31	中国人の日本語学習者と日本人ボランティアが、毎回、異なるテーマについて、日本語で会話を楽しんだ。月一回開催
13	日本語教育アドバイザー	－	－	北京市	05.4.1～ 06.3.31	中国の日本語教育に関するカリキュラム編成、教材作成、教師研修会の企画・実施・評価、日本語教育機関訪問等、広くコンサルティング業務を行なった
14	ジュニア専門家	－	－	遼寧省瀋陽市/吉林省長春市/北京市	05.4.1～ 06.3.31	派遣先は遼寧省基礎教育教研培训中心（鳴海ジュニア専門家）および吉林省教育学院（長山ジュニア専門家/2005年7月まで）。また、2005年8月より、北京日本文化センターにも派遣（吉田ジュニア専門家）。現地教師に対する日本語能力・教授法の指導・助言、教材作成等の協力を行なった
15	JAMIC日本語教室	日本音楽情報センター（JAMIC）	日本音楽情報センター（JAMIC）	北京市	05.4.1～ 06.3.31	日本音楽情報センター（JAMIC）にて、日本の音楽を題材とする日本語教室を、基本的に毎週土曜日、日曜日の各2時間程度開催
16	初級中学・高級中学進学検討会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省瀋陽市	05.4.8～ 05.4.9	日本語を入試で選択する場合の補習を行なう教師を対象にし、ジュニア専門家が作成した模擬テストの解説にとどまらず、作文指導や類義語の解説なども行なった
17	大連地区巡回指導（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	大連市内各中学校/高等学校	遼寧省大連市	05.4.25～ 05.4.29	遼寧省大連地区（大連/金州/旅順）の複数の中学校、高等学校に対する日本語教育巡回指導
18	吉林省西部中高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	吉林省教育学院	吉林省教育学院	吉林省長春市	05.5.21～ 05.5.22	教師による模擬授業の担当者を公募。この新しい試みにより、模擬授業希望者は事前に教案を提出することになり、実際には授業を担当しない教師に対しても、コメントを返す形で指導ができるようにした
19	東北三省日本語教研員会議（アドバイザー）	東北三省（遼寧省/吉林省/黒龍江省）教研員/国際協力機構中国事務所	北京日本文化センター会議室他	北京市	05.5.26～ 05.5.26	東北三省の教研員、ジュニア専門家およびJICA中国事務所ボランティア調整員に参加を求め、東北三省の中等教育機関における日本語教育の課題や国際交流基金の今後の支援体制等について意見交換を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	吉林省東部中高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	吉林省教育学院	通化市朝鮮族中学	長春（通化地区/白山地区）	05.6.11～ 05.6.12	通化地区および白山地区の中高校教師を対象として開催。中学校教師対象の研修会では、応用ドリルの使い方、授業計画等について、翌12日に開催した高校教師対象の研修会では教室活動、テキストの会話の使い方等々について検討
21	2005年全国中学校日本語教師研修会	中国教育部課程教材研究所日本語課程教材研究センター	北京市月壇中学	北京市	05.7.18～ 05.7.22	2003年から使用が開始された新教科書に対応した、中学校日本語教師対象の全国規模の研修会。新教科書作成の理念とねらいを理解した上で、効果的な指導が行なえることを目的に、既に完成した中1、中2、中3用教科書を使用する教師を主な対象とした。内容は、参加者による模擬授業、講師による講義など
22	阜新市県初級中学校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/阜新市教師進修学校	阜新市教師進修学校	遼寧省阜新市	05.10.5～ 05.10.7	主として日本語非専攻の教師を対象として、教授法についての講義を行ない、教師の日本語教授レベルの向上を図るとともに、教師自身の日本語能力向上も図った
23	湖南省高等教育学会第二回日本語コンクール・日本語教育セミナー（アドバイザー）	湖南農業大学外国語学院/在中国大使館/国際協力機構中国事務所/湖南省日本人会	湖南農業大学	湖南省長沙市	05.11.11～ 05.11.13	教師や学生の知識を深め、学習者の積極性を引き出すことを目的に行なわれるセミナー・コンクール。作文コンクール、スピーチコンテストの他、華道や茶道の実演等も行なわれた。北京日本文化センターからはアドバイザーが講演
24	北京市内大学1年生オリエンテーション	在中国大使館広報文化センター	北京日本文化センター図書室/多目的ホール	北京市	05.11.16～ 06.3.31	在中国大使館広報文化センターとの共催により、北京市内の各大学日本語科1年生を対象としたオリエンテーションを実施。内容は、各事業案内、AVルーム、閲覧室（大使館）および図書館（北京日本文化センター）の見学等
25	遼寧省初級中学・高級中学日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省瀋陽市	05.12.10～ 05.12.13	教案作成と模擬授業を通し、教師たちに授業の流れや準備について考えるきっかけを与えると同時に互いの授業を参考にして自身の授業を見直し改善する機会とした
26	第2回阜新県小学校日本語コンテスト（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/阜新市教師進修学校	王府鎮政府	王府鎮	05.12.20～ 05.12.20	阜新地区の小学校日本語教育を推進し、日本語を学習する子供たちを励まし、ひいては省内の日本語教育に対する関心を喚起するため、小学生を対象に日本語コンテストを開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
27	第5回大連市中学・高校日本語教師研修会（ジュニア専門家）	遼寧省基礎教育教研培训中心/大連市教育学院/大連市第30中学/国際協力機構	大連市第30中学	大連市	05.12.28～ 05.12.30	中等機関の集中する大連において、中学・高校教師を対象に、日本語力および教授法を向上させ、日本事情への理解を深めること、また、市全域の中等教育機関に所属する教師同士のネットワークの構築等を目的とした研修会を行なった
28	2006年春季中等日本語教師南方セミナー（ジュニア専門家）	中国教育部課程教材研究所	済南外国語学校	済南市	06.3.3～ 06.3.6	中等教育機関教師の日本語レベルおよび教育能力のより一層の向上を図るため中国教育部課程教材研究所との共催により、セミナーを開催
29	中国中等学校日本語教師研修懇親会	—	東北師範大学会館	吉林省長春市	06.3.31～ 06.3.31	1999年より始まった日本語国際センターの中国中等学校日本語教師研修に参加した教師間の親睦を深め、より強固なネットワーク作りを進めることを目的に、吉林省長春市にて懇親会を開催
【図書館運営】						
30	図書館運営	—	北京日本文化センター図書館	北京市	05.4.1～ 06.3.31	日本語図書約7,500冊、中国語図書約1,700冊、日本語教材約2,600点、日本語教材用ビデオ約250本、一般視聴用ビデオ約140本を所蔵。会員数約7,700名。来館者数は月平均約500名。通常開館時間は、事務所休日を除く月曜日から金曜日までの10時から17時までと、第二、第四土曜日13時から17時まで
【出版・広報】						
31	ホームページ	—	—	北京市	05.4.1～ 06.3.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベントの告知、実施報告などを、豊富な画像と共に掲載。URLは http://www.jpfbj.cn
32	ニューズレター	—	—	北京市	05.4.1～ 06.3.31	各号3,000部を印刷。事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。2005年6月、11月、2006年2月に発行

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
33	日本研究フェローOBおよび北京日本学研究中心卒業生ネットワーク整備（日本研究・知的交流/フェローフォローアップ）	—	—	中国各都市	05.4.1～ 06.3.31	日本研究フェローOBおよび北京日本学研究中心（大平学校含む）卒業生の現在の連絡先、研究または活動状況を明らかにし、国際交流基金にとっての中国全土に広がるネットワークを構築するべく、懇親会等を実施
34	日本研究・知的交流ニーズ調査および評価	—	—	青島	05.4.1～ 06.3.31	日中韓の学者・裁判官に情報交換や交流のための場を提供し、相互理解を促進、最終的には東アジア地域での紛争解決システムの構築に貢献することを目的としたシンポジウム「東アジアにおける法運用の実態と判例」について開催地へ出張し評価を行なった（2005年度知的交流助成事業）。2006年2月上海夏旦大学のニーズ調査
35	留学生ネットワーク（留華ネット）	中国各地邦人留学生	—	北京市他	05.8.22～ 06.3.31	中国国内の大学に在籍している邦人留学生間のネットワーク。メンバーは、各地の最新状況を踏まえた日中交流の進め方等について北京日本文化センターと意見交換を行なったほか、留学先において日本文化祭などの交流活動を行なった

(2) 助成・協力事業

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
36	「日本語教育および日本学研究論叢 第2集」出版（日本研究・知的交流フェローフォローアップ）	北京師範大学外国語学院日本語学部	05.6.1～ 06.1.31	日本語専攻学科の発展に関する研究論文、および日本語教育に関する研究論文、30編を収録した論文集、「日本語教育および日本学研究論叢 第2集」を出版。中国と日本の関係大学や研究機関に無料配布し、さらに市販することによって、中国の日本語教育研究の促進を目指した
37	第6回北京市大学一年生日本語弁論大会	北京大学外国語学院日本語文化系	05.6.10～ 05.6.10	北京市内にある大学の日本語学科で学ぶ本科一年生を対象として、日本語によるスピーチおよび演芸の機会を与えるとともに、各大学の日本語学科間の相互交流を深め、日本語基礎教育および学習の共同発展を図った

	事業名	協力対象団体	期間	内容
38	小学生用初級日本語教材開発プロジェクト（吉首大学）	湖南省吉首大学外国語学院日本語教材編写組	05.7.1～ 05.8.31	子供達に幼い頃から日本に親しむ機会を提供するため、日本語学習・活動を通して、日本語のみならず日本文化を理解し、豊かな国際性を育むことを目的として、教材の開発および出版を行なった
39	社会政策国際フォーラム（日本研究・知的交流小規模助成）	中国社会科学院社会政策研究センター	05.7.30～ 05.8.2	日中の学者だけではなく、イギリスやアメリカ、カナダ、ノルウェーなどの国々の研究者が社会政策の歴史や発展現状、NPO、ソーシャル・ワークといった中国でまだ新しい研究分野について発表。全国様々な社会政策研究者およびNPO関係者が研修会に参加し、上記の分野に関して、経験や意見を出して、専門家と意見を交換し、活発な討論となった
40	中華社会文化発展基金会（日本研究・知的交流小規模助成）	中華社会文化発展基金会/中国大連理工大学/中国旅順博物館	05.8.31～ 05.9.1	従来の日中双方の研究者による近代中国東北地域歴史文化遺産についての関連研究成果に対する意見交換を行ない、提言を発表することを目的として、大連理工大学にて開催された「第1回唐鴻臚井碑研究中日学術セミナー」に対する助成。会議の主要な内容は、「唐鴻臚井碑」についての研究、それが有する歴史的意義およびその研究による日中友好の促進についてなど
41	中国人民大学国際関係学院主催「東アジア協力フォーラム2005」シンポジウム（日本研究・知的交流小規模助成）	中国人民大学国際関係学院東アジア研究センター	05.9.23～ 05.9.24	「日中関係と東アジアの未来」をテーマとした国際シンポジウム。具体的には、日中関係の現状と今後の見通し、東アジアの経済協力・地域安全協力および中国の役割等を課題として、日本、中国、米国、韓国、モンゴル等の著名な専門家、学者が検討、発表を行なった
42	内蒙古全区中学生日本語弁論大会	内蒙古教育学会外語教学研究会	05.9.27～ 05.9.27	第4回内蒙古全区中学校日本語教師研修会の開催に合わせ、内蒙古全区の中学生による日本語弁論大会を初めて行なった
43	第1回内蒙古自治区大学生による日本語スピーチコンテスト	内蒙古自治区大学日本語教学研究会	05.10.29～ 05.10.29	内蒙古自治区の大学での日本語教育の成果を検証し、大学教育における日本語教育（大学院生に対する日本語教育、および英語専攻学生に対する第二外国語としての日本語教育も含む）の質をより高めていくことを目的として、日本語スピーチコンテストを行なった
44	中日環境教育交流研討会（日本研究・知的交流小規模助成）	南京緑色之友文化交流中心	05.11.11～ 05.11.11	日中が直面する環境問題、両国の環境保護教育について採るべき政策、施策などを話し合う討論会。特に、日本の豊富な経験を鏡とし、中国が今後如何に環境問題に取り組んでいくべきかを考えた。同時に日中両国の環境保護分野での交流、対話促進をも目指した
45	西安市日本語教師会第4回共同勉強会	西安市日本語教師会	05.12.11～ 05.12.11	西安市日本語教師会の第4回共同勉強会として、西安市内の日本語教育関係者の教育・研究活動の質的向上を目指し、外部から講師を招いて講座を開いた。また同時に、教員同士の交流も図った

	事業名	協力対象団体	期間	内容
46	教材編集『新世紀文化日本語教程』（日本研究・知的交流フェローフォローアップ）	清華大学外国語学部日本語学科	05.12.14～ 06.3.31	大学において、第二外国語としての日本語の授業時間数はばらつきがあるが、主に使われているのは、時間数が120時間に設定された教科書で、60時間や240時間の大学では、適切な教科書を用いることが難しい。そこで大学生・社会人を対象とした60～80時間で使用できる教材を作成
47	演劇公演『サラダ殺人事件』	サラダ殺人事件劇組	06.1.12～ 06.1.15	香港で演劇活動を続けている日本人が演出を担当することにより、日本人が持つ特徴を細かに表現。両国間の市民のコミュニケーションの参考となるような公演を行なった
48	日本語教材『日本の説話』出版（北京連合大学）	北京連合大学	06.1.17～ 06.3.31	中国語母語の日本語学習者（日本語能力試験2級程度）を対象に、日本文化・日本文学への理解を促進する教材として、『日本の説話』（上下二冊本）を出版
49	「日中文化の相違による日系企業の経営課題セミナー」（日本研究・知的交流小規模助成）	北京鋼鉄研究総院	06.2.19～ 06.2.20	日中文化の相違点について比較研究を行なうことで、それらがもたらす日系企業の経営への影響などを探ることを目的に講義、質疑応答、討論会などを行なった。欧米系の企業経営スタイルが主流の中国の現状を踏まえ、本セミナーでは日系企業に焦点を当て、より多くの人（特に若者）に日系企業の強みに関心を持ってもらうことも狙いとした
50	上海戯劇学院日中学生ミュージカル公演	上海戯劇学院	06.3.7～ 06.3.10	上海戯劇学院の日本人留学生と中国人学生によるオリジナルミュージカルの共同制作公演
51	少数民族語言文化中日共同研究（日本研究・知的交流小規模助成）	中央民族大学少数民族語言文学学院東幹学研究所	06.3.15～ 06.3.22	日中両国の學術文化交流の拡大や日中両国の友好強化を目的に、日本から学者を北京に招へい、學術講演や會議への出席を依頼し、日本の東幹言語研究について、また日本の大学における中国語教学についての講義を行なった
52	流山児★事務所北京公演	解放軍歌劇院	06.3.15～ 06.3.31	日本の劇団「流山児★事務所」による、3作品連続公演
53	北京大学「全国大学生東亜安全論壇」（日本研究・知的交流小規模助成）	北京大学国際関係学院	06.3.18～ 06.3.19	「東アジアフォーラム」を今後長期的に実施していくための一年目として、中国人学生（北大/北京の他の大学/他地域の大学）と外国人留学生の対話を通じて、青少年の声を社会に表現していくことを目的に、北京大学生が自発的に會議を企画、実施したフォーラム。第1回の今回は、安全問題を中心に、代表者のスピーチ、ディスカッション、質疑応答の形式で進めた。また、北京大学の教授にもサポートを依頼
54	清華大学美術学院教師と日本九之音色作品展	北京・2006清華大学美術学院教師+日本九之音色作品展日本側実行委員会	06.3.27～ 06.4.3	日本の工芸作家9名と中国の作家による共同展覧会。ガラス、竹、陶磁器、絵画など様々な作品から構成。また、日本から来た作家の講演会も実施

海外事務所

	事業名	協力対象団体	期間	内容
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
55	中国国際動漫祭(アニメ・漫画祭)(杭州)企画出展	博銳創智網絡科技(北京)有限公司	05.6.1～ 05.6.5	中国国家広播電影電視総局、浙江省政府主催による、国際アニメ、漫画博覧会。ブースを出して国際交流基金事業を紹介
	【その他】			
56	財団法人AFS日本協会による面接	財団法人AFS日本協会	06.3.24～ 06.3.26	日中21世紀交流事業に係る案件として、財団法人AFS日本協会が主催する高校生面接試験(長春/南京)に同行。選抜方法の確認、面接試験実施状況の把握等を行なった

6. ジャカルタ日本文化センター

合計額 62,516,393円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	日本の世界遺産展	—	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.4.12～ 05.4.20	ジャカルタ日本文化センターが所蔵している写真パネル『日本の世界遺産』(三好和義撮影の写真パネル)59点の展覧会を開催
2	ネオ・ピオン(ジャカルタ国立大学)	ジャカルタ国立大学	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.7.14～ 05.7.27	若手の芸術家を支援するプログラム「ネオ・ピオン」シリーズ。ジャカルタ国立大学で美術を学ぶ学生および同大学の卒業生計10名による展覧会を実施
3	陶芸家スヤトナ氏回顧展覧会	スヤトナ氏展覧会実行委員会	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.11.25～ 05.12.3	国際交流基金フェロー故スヤトナを偲ぶ日本の友人たちが発起人となり展覧会を行なった
4	第10回日イ児童画展	ジャカルタ・ジャパン・クラブ/ジャカルタ日本人学校	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.12.7～ 05.12.14	「私の友達」というテーマで開催。昨年を上回る1,300点近くの応募があり、日本・インドネシア人児童の作品、合計約280点をホールに展示
5	ネオ・ピオン(ディアン・ムリアント)	—	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ジャカルタ	06.2.3～ 06.2.17	若手の芸術家を支援するプログラム「ネオ・ピオン」シリーズ。ディアン・ムリアント(ジャカルタ芸術大学学生)の展覧会を開催。鉄を使った彫刻を作成し、自身のセルフポートレートや社会を風刺したものなどを展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
6	七夕紹介事業	-	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.8.10～ 05.8.10	旧暦の七夕にあわせ、インドネシア人の子供を主な対象として、七夕にちなんだ笹の飾りつけ、折り紙教室、歌・演劇による七夕伝説の紹介などを実施。会場は100名以上の子供で満員となった
7	ジャカルタ芸術評議会 若手ダンス公演	ジャカルタ芸術評議会	タマン・イスマイル・マルズキン	ジャカルタ	05.11.24～ 05.11.26	若手が中心となって出演するジャカルタ芸術評議会が主催するダンス公演に対し、広報費の協力を行なった
8	劇団バンドンスタディクラブ近代能楽集上演	劇団バンドンスタディクラブ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	06.3.28～ 06.3.28	インドネシア国内で活発に活動している劇団バンドンスタディクラブが、三島由紀夫の『近代能楽集』から『卒塔婆小町』を上演。インドネシア語での作品名は『第百夜/最後の夜』
	【講演・シンポジウム】					
9	アチェ復興関係セミナー	ユニセフ・ジャカルタ/ラフマニア財団/ピース・ネットワーク	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.6～ 05.6.15	2004年の津波被害後のアチェの復興について、特に子どもに焦点を当てて、支援に関わる国際機関や国際NGOを巻き込んでセミナーを開催
10	イスラム知識人講演会（アル・アズハル大学）	アル・アズハル大学	アル・アズハル大学	ジャカルタ	05.5.18～ 05.5.18	レクチャーシリーズの一つとして、ズハール(アル・アズハル大学長)の講演会を実施
11	イスラム知識人講演会（イスラム大学）	国立イスラム大学	国立イスラム大学講堂	ジャカルタ	05.6.13～ 05.6.13	イスラム知識人セミナーシリーズの一環として、アジア・リーダーシップ・フェローとして来日したジャムハリ（国立イスラム大学教授）の講演会を実施
12	女性とジェンダー研究センター会議	インドネシア大学女性とジェンダーセンター	インドネシア大学	ジャカルタ	05.6.29～ 05.7.30	会議タイトル"Law, Power and Cluture: Transnational, National and Local Processes in the Context of Legal Pluralism"と称してインドネシア大学にて4日間に渡って会議を開催
13	ジャーナル『MANABU』発行報告会	MANABU事務局	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.10.1～ 05.10.1	ジャーナル『MANABU』の創刊を記念して報告会を行なった。染谷（国際基督教大学教授）を招へいして基調講演を実施

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	「日本と地域研究」シンポジウム	－	インドネシア科学院地域リソースセンター (LIPI)	ジャカルタ	05.11.14～ 05.11.14	「日本と地域研究」と題し、日本に焦点を絞ったシンポジウムを開催
15	ナショナル大学日本研究セミナー	ナショナル大学	ナショナル大学	ジャカルタ	05.11.23～ 05.11.23	「鏡としての文学」と題してセミナーを開催。文学は現代日本社会・生活を反映していると考えられるため、文学を通して日本社会を理解しようとするプロジェクト
16	ダンスネットワークに関するワークショップ	クローラ財団	ホテル・ノボテル	ソロ	05.11.26～ 05.12.7	ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク (JCDN) 代表の佐藤範一のワークショップを開催
17	人類学セミナーシリーズ	インドネシア人類学フォーラム	エラスムス・フイス	ジャカルタ	05.12.9～ 05.12.9	「テロリズムと社会における脅威」と題するレクチャーに対し、共催で事業を実施
18	日本研究ワンデーセミナー	－	ホテル・サリ・パン・パシフィック	ジャカルタ	06.1.21～ 06.1.21	午前に全国の日本研究センター代表者を集め、情報交換を行なった。午後は猪口孝（中央大学教授）を招へいして講演を行ない、引き続き当地日本研究者2名による研究発表を実施
	【映画】					
19	クリスティン・ハキム主演「さすらい」上映会	ジャカルタ新聞	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.6.29～ 05.6.29	ジャカルタ在留邦人向け事業として、1982年に国際交流基金が日本に紹介したインドネシア映画『さすらい』の上映会を開催。上映前には『さすらい』に主演したクリスティン・ハキム（女優）とアディ・プラナジャヤ（シネマテーク代表）のトークショーも行なった
20	シネマキャラバン	シッカ県地方政府	マウメレ市内 LK3Iホール	マウメレ	06.3.22～ 06.3.23	フローレス島のマウメレにてシネマ・キャラバンを実施。あわせて折り紙のレクチャーデモンストレーションも行なった
	【日本語教育】					
21	高校日本語教師通信教育プログラム	インドネシア国家教育省通信教育センター	－	西ジャワ州/バリ州	05.4.1～ 05.12.31	西ジャワ州およびバリ州からそれぞれ43名と37名の普通高校の日本語教師が参加。事前テスト、中間テスト、事後テスト、2回のチュートリアルなどを実施し、最終的にそれぞれ34名と29名が合格

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
22	普通高校・宗教 高校日本語教師 研修	インドネシア国 家教育省語学教 員研修所	バリ州教員研修 所/北スラウェ シ州教員研修所 /インドネシア 国家教育省語学 教員研修所	バリ/マ ナド/ ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	普通高校・宗教高校の日本語教師を 対象にした研修会を3回実施
23	一般日本語講座 運営	—	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	一般日本語講座として、中級、上級 および教師向け日本語講座を実施
24	日本語能力試験	—	—	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	インドネシア各地における試験が円 滑に実施されるように、各種アドバ イスをしたほか、2月28日には、7会 場の実施委員会の責任者を招へい し、各地の問題点や今後の試験のあ り方を話し合った
25	インドネシア日 本語教育学会支 援	—	—	—	05.4.1～ 06.3.31	年間を通じて各種助言を行なったほ か、学会会議を実施。同会議では会 則について意見交換をしたほか、反 省や今年度事業の目標などを話し あった
26	普通高校新カリ キュラム準拠教 材開発プロジェ クト(在外事業)	—	—	ジャカル タ	05.4.1～ 06.3.31	2004年カリキュラムに準拠した日本 語教材の作成プロジェクトのなか で、副教材としてのカセット等を作 成
27	日本語弁論大会 実施(高校生向 け)	インドネシア国 家教育省初等中 等教育局	日本文化セン ターホール	ジャカル タ	05.4.9～ 05.4.9	インドネシア各地から上位入賞者13 名を集めて、高校生向け日本語弁論 大会を開催。およそ200名の観覧者 が見守る中で実施され、審査の結果、 第1位～第5位および審査員特別賞を 決定
28	『教科書を作ろ う』増刷	—	—	ジャカル タ	05.4.12～ 05.5.12	『教科書を作ろう』を増刷
29	日本語弁論大会 (一般向け・ジャ ボタベック)	—	ジャカルタ日本 文化センター	ジャカル タ	05.5.21～ 05.5.21	7月に日本語弁論大会全国大会の ジャボタベック地区予選を行なっ た。16人の大学生・一般人が予選に 参加
30	専門高校教科書 出版説明会	インドネシア国 家専門中等教育 局教育省	スミットマスビ ル20階ホール	ジャカル タ	05.6.17～ 05.6.17	専門高校用日本語教科書『インドネ シアへようこそ』の出版説明会を開 催。専門高校の日本語教師を中心に 50名ほどの参加があったが、現役の 教師と高校生による模擬授業も行な われた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
31	日本語弁論大会 (一般向け)	元日本留学生協会	ホテル・サリ・ パン・パシ フィック	ジャカル タ	05.7.2～ 05.7.2	大学生と社会人を対象にして、7地区から上位入賞者14名を招へいして、日本語弁論大会全国大会を開催。およそ150名の観覧者が見守る中で実施され、第1位から第5位および審査員特別賞を決定
32	専門高校日本語 教師研修会	インドネシア国 家教育省専門高 校教員研修所	専門高校教員研 修所	ジャカル タ	05.7.4～ 05.7.30	全国の専門高校観光・ホテル業学科の日本語教師24名を対象とした4週間の日本語研修を実施。専門高校用日本語教科書『インドネシアへようこそ』を教材として用いた
33	インドネシア日 本語教育学会支 援(ジャボタ ベック)	インドネシア教 育学会ジャボタ ベック支部/ナ ショナル大学	ナショナル大学	ジャカル タ	05.8.6～ 05.8.6	全国の約40の高等教育機関から194名の日本語教師が集まって意見交換を行なった。「中級レベルにおける技能別教授法についての知識を深める」をテーマに、各地の日本語教師が発表
34	インドネシア日 本語教育学会支 援(東ジャワ)	インドネシア日 本語教育学会東 ジャワ支部	ウィディヤ・マ ンガラ大学	スラバヤ	05.11.16～ 05.12.20	日本語教育・日本言語学に携わるインドネシア人の知識・見識を高めるために、関連の発表やワークショップを行なった。ジャカルタ日本文化センターから日本語教育専門家が出講
35	高等教育機関主 催日本語事業支 援	ハサスディン大 学	ハサスディン大 学	マカッサ ル	05.11.25～ 05.11.27	ハサスディン大学にS1(4年生コース)の日本語学科が設立されたことを記念したセミナーに、ジャカルタ日本文化センター日本語教育専門家が出講
36	大学教師向け研 修会	インドネシア日 本語教育学会ス ラウェシ支部 (マナド会場の み)	ジャカルタ日本 文化センター/ マナド工科短期 大学	ジャカル タ/マナ ド	05.12.3～ 06.2.11	大学の日本語教師を対象にした日本語教授法研修会をジャカルタとマナドで実施。ジャカルタでは81名の大学教員が参加した。マナドでは、38名が参加
37	インドネシア日 本語教育学会支 援(スマトラ)	インドネシア日 本語教育学会ス マトラ支部	北スマトラ大学	メダン	06.1.28～ 06.1.28	北スマトラ大学で開催されたセミナー・ワークショップにジャカルタ日本文化センター日本語教育専門家が出講。北スマトラだけでなく西スマトラ、リアウからも参加者があった
38	インドネシア日 本語教育学会支 援(東南アジア サミット)	インドネシア日 本語教育学会	日本語教育専門 家宅	バンドン	06.2.13～ 06.3.31	来年度に実施する「東南アジア日本語サミット」のための準備会議

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
39	高校生日本語普及事業	—	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	06.2.23～ 06.3.14	高校生の日本語学習奨励を目的としたイベント。日本留学経験者、日本語学科を有する大学関係者、日系企業関係者を招き、講演会を実施。他に日本文化体験プログラムを設けた
40	日本語弁論大会(高校生向け・東ジャワ)	東ジャワ州高校日本語教師会	パレ第2普通高校	スラバヤ	06.3.5～ 06.3.5	平成18年度高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、地区予選大会を開催。朗読大会、書道大会や文字クイズなど、総合的な日本文化祭として開催
41	日本語弁論大会(高校生向け・西ジャワ)	西ジャワ州高校日本語教師会	西ジャワ州教育委員会	バンドン	06.3.6～ 06.3.6	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、西ジャワ州地区予選大会を開催。日本語クイズや書道大会、浴衣デモなど、総合的な日本文化祭として開催
42	大学生日本語普及事業	在インドネシア大使館	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	06.3.7～ 06.3.7	大学生の日本語学習奨励を目的としたイベント。日本留学・奨学金に関する説明を行なった他、日系企業の社会人を招き、日系企業での仕事や日本人との付き合い方などについての講演を実施
43	日本語弁論大会(高校生向け・中部ジャワ)	中部ジャワ州高校日本語教師会	マゲラン第4普通高校	ジョグジャカルタ	06.3.18～ 06.3.18	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、中部ジャワ州・ジョグジャカルタ地区予選大会を開催。日本語クイズなど、総合的な日本文化祭として開催
44	日本語弁論大会(高校生向け・バリ)	バリ州高校日本語教師会	バリ州教育委員会	デンパサール	06.3.18～ 06.3.18	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、バリ州地区予選大会を開催。バリ州各地から14名の学生が参加
45	日本語弁論大会(高校生向け・ジャボダベック)	ジャボダベック高校日本語教師会	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	06.3.22～ 06.3.22	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、ジャボダベック地区予選大会を開催。書道大会など、総合的な日本文化祭として開催
46	日本語弁論大会(高校生向け・北スマトラ)	北スマトラ州高校日本語教師会	ダルマ・ワンサ教育財団	メダン	06.3.25～ 06.3.25	高校生日本語弁論大会全国大会への参加者を定めるために、北スマトラ地区予選大会を開催
	【図書館運営】					
47	図書館運営(図書、新聞、雑誌購入費)	—	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	年間来訪者20,907名、蔵書数29,683冊(日本語17,223冊、英語・インドネシア語12,460冊)、会員数は1,670名であり、その他ビデオ、CDなどAV資料もそろえた図書館を運営

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
48	『EGAO』発行	-	-	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育関係者への情報支援のために、国際交流基金助成プログラムや教授法のアイデアなどを掲載した『Egao』を四半期ごとに1,500部発行し、関係者に配布
49	ウェブサイト運営	-	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	ウェブサイトを通じてセンターの事業紹介、過去の講演記録などを掲載し、年間に延べ346,298名の訪問者数があった
50	広報一般	-	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	広報媒体を通じたクイズの当選者や事業協力者等に対し、国際交流基金グッズを作成し配布
51	『インドネシア語プログラムガイドライン』発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	プログラムガイドラインの、インドネシアに関連するプログラムをインドネシア語に翻訳し申請希望者に配布
52	『NUANSA』発行	-	-	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	文化事業を中心に広報するニュースレター『NUANSA』を2か月ごとに7,500部発行するもので、ジャカルタ日本文化センター広報の中心的な役割を果たす媒体を作成
53	『Image of Japan』発行	-	-	-	05.5.10～ 06.1.12	当地のオピニオンリーダーがどのように日本を見ているかに関し、7人に執筆を依頼して書籍として発行
	【教室事業】					
54	囲碁教室	-	ジャカルタ日本文化センター多目的教室	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	毎週金曜日16時より初心者も含めたジャカルタ在住の囲碁愛好家が集まる囲碁サロンを開催。若年層を中心に毎回20名程度の囲碁愛好家が参加
55	スクールピジット	-	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.4.1～ 06.3.31	広く一般に日本文化紹介を行なうための事業で、主に高校生から大学生の社会見学ルートの一つとしてセンター訪問をする際、日本映画の上映のほか、折り紙教室、図書館見学、日本文化に関する質疑応答等全体で2時間程度の催しを実施。延べ1,205名がセンターを訪問
56	生け花教室	生け花インターナショナル	ジャカルタ日本文化センター多目的室	ジャカルタ	05.7.8～ 05.10.28	本年度は草月流に講師を依頼し生け花教室を開講。場所の都合もあり受講生は例年と同じく25名で、教室の最後には受講生の成果を展示

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
57	東ティモール文化事業調査	—	—	デイリ	05.10.1～ 06.3.31	ジャカルタ日本文化センターの広域管轄国となった東ティモールへの文化事情調査をするため、2回にわけて調査を行なった
58	インドネシア大学評価（在外事業費対応分）	—	—	ジャカルタ	05.10.20～ 05.10.25	国際交流基金プログラム（日本研究拠点機関助成）によって支援を受けているインドネシア大学大学院日本地域研究科による、過去5年の自己評価および今後3年の中期計画の提出を受け（インドネシア語）、それを英語に翻訳
59	4カ国対抗囲碁大会	ジャカルタ囲碁将棋クラブ/日本棋院	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ	05.12.18～ 05.12.18	インドネシア、日本、中国および韓国がそれぞれ各代表チームを編成し、4カ国総当りの囲碁大会を開催。ジャカルタを来訪した日本棋院の佃亜紀子4段に審査員を依頼。自由対戦が可能なスペースも設けたため会場には約100名程度の来場者があった
60	日本研究・知的交流案件発掘調査	—	—	デイリ/ バリ/ ジョグ ジャカルタ	06.3.11～ 06.3.16	デイリ、バリおよびジョグジャカルタを訪問し、機関情報、彼らの研究方針・業務方針を確認

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
61	インドネシア文学者協会	インドネシア文学者協会 (HISKI)	05.4.18～ 05.4.21	「文学の講義方法および研究方法の再考」と題し、文学者、教師など200名あまりを集めた会議を開催
62	生け花展覧会開催経費助成	生け花インターナショナル	05.5.26～ 05.5.27	生け花インターナショナル設立21周年を記念して、生け花展覧会を開催。オープニングセレモニーには在インドネシア大使館の黒木公使夫人出席のもと100名以上が詰めかけた
63	日本語弁論大会（一般向け/西ジャワ）	パジャジャラン大学文学部日本語日本文学科	05.5.27～ 05.5.28	第31回日本文化祭を開催し、弁論大会（スピーチコンテスト）のほかに、漢字、かな、作文、習字、クイズ、聴解、朗読等のコンテストを行なった。スピーチコンテストの上位入賞者2名は、7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会に出席
64	日本語弁論大会（一般向け/スラウェシ）	スラウェシ州日本語弁論大会実行委員会	05.5.28～ 05.5.28	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会のスラウェシ地区予選を行なった。マカッサルにあるハサヌディン大学で実施したが、マナドからも3名が参加

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
65	日本語弁論大会 (一般向け/バリ)	バリ州日本語弁論大会実行委員会	05.5.29～ 05.5.29	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会のバリ地区予選を行なった。15人の大学生・一般人が予選に参加
66	日本語弁論大会 (一般向け/東ジャワ)	東ジャワ地区日本語弁論大会実行委員会	05.5.29～ 05.5.29	7月に行なわれる日本語弁論大会全国大会の東ジャワ地区予選を行なった。14人の大学生・一般人が予選に参加
67	インドネシア大学日本研究センター ジャパン・エキスポ	インドネシア大学日本研究センター	05.6.9～ 05.6.11	インドネシア大学日本研究センターにおいて、以下の事業を実施。 1. 政治・法律・社会・経済分野のセミナーおよび討論会を実施 2. 本・雑誌・教育・食事など日本に関する物品の紹介 3. 日イ産業界の連携を図るためのビジネスランチの開催
68	ネオ・ピオン バンドン工科大学	バンドン工科大学	05.6.17～ 05.6.27	若手芸術家を支援する「ネオ・ピオン」シリーズ。バンドン工科大学で美術を学ぶ学生9名の作品を展示
69	ジャーナル『MANABU』	ジャーナル MANABU事務局	05.6.22～ 06.3.31	当地には日本研究の成果を世界に発信することを目的とした雑誌が存在しなかった。この目的を達成するために『MANABU』を創刊。原則として英語で記述され、全国から原稿を集めて掲載することに特色がある
70	インドネシア文学者協会協力	インドネシア文学者協会	05.8.8～ 05.8.21	インドネシア文学者協会主催の第16回国際会議に助成
【公演】				
71	琉球舞踊紹介	ジャカルタ芸術評議会	05.11.17～ 05.11.18	ジャカルタ芸術評議会が主催する「Art Suku II」に琉球舞踊グループ「伊是名の会」のワークショップと公演への協力を行なった
【講演・シンポジウム】				
72	ガジャマダ大学日本研究センター支援	ガジャマダ大学日本研究センター	05.7.20～ 05.7.23	ジョグジャカルタと京都市が姉妹都市協定20周年を迎えたことを記念して行なわれたシンポジウム
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
73	各種文化備品貸し出し	—	05.4.1～ 06.3.31	地方で日本文化紹介事業が行なわれる際、ジャカルタ日本文化センターが所有する写真パネル、16ミリフィルム等の文化備品を行なった
【その他】				
74	インドネシア芸術見本市セミナー講師招へい	インドネシア・パフォーミング・アーツ・マーケット事務局	05.6.6～ 05.6.9	バリ島で開催されたインドネシア芸術見本市 (IPAM) に、かつて東京芸術見本市の事務局長として活躍し、現在は跡見大学で教鞭をとっている曾田修司を招へいし、現在のIPAMの現状についての意見を聞くとともに、IPAMにおいて日本の舞台芸術の現状について紹介する講演を実施

	事業名	助成対象団体	期間	内容
75	インター・ナショナル・キュレーターワークショップ	ゲート・ハウス・ジャカルタ/アジア・ヨーロッパ財団	06.3.6～ 06.3.11	当地のゲート・インスティテュートおよびアジア・ヨーロッパ財団が主催する国際キュレーター・ワークショップに、日本からインディペンデント・キュレーターの犬友恵里の参加を支援する
	【日本語教育】			
76	高校日本語教師会支援（西ジャワ）	西ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	西ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
77	高校日本語教師会支援（ジャボタベック）	ジャボタベック高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	ジャボタベック高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部を助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
78	高校日本語教師会支援（西スマトラ）	西スマトラ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	西スマトラ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。メダンの日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった
79	高校日本語教師会支援（中部ジャワ）	中部ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	中部ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
80	高校日本語教師会支援（東ジャワ）	東ジャワ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	東ジャワ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
81	高校日本語教師会支援（バリ）	バリ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	バリ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当のジュニア専門家が勉強会のアドバイスを行なった
82	高校日本語教師会支援（北スラウェシ）	北スラウェシ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	北スラウェシ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の青年日本語教師が勉強会のアドバイスを行なった
83	高校日本語教師会支援（南カリマンタン）	南カリマンタン州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	南カリマンタン州高校日本語教師会が実施する勉強会にジャカルタ地区担当のジュニア専門家が出張し、アドバイスを行なった
84	高校日本語教師会支援（北スマトラ）	北スマトラ州高校日本語教師会	05.4.1～ 06.3.31	北スマトラ州高校日本語教師会が実施する勉強会等実施経費の一部助成。同地区担当の日本語教育専門家が勉強会のアドバイスを行なった
85	インドネシア日本語教育学会支援（西ジャワ）	インドネシア日本語教育学会西ジャワ支部	05.5.1～ 06.1.31	日本語教育に関する論文や研究発表を掲載するジャーナルを年2回発行（6月および12月）
86	インドネシア日本語教育学会支援（中部ジャワ）	インドネシア日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部	05.7.16～ 05.7.16	中部ジャワ・ジョグジャカルタの日本語教師に対し、日本語初級の教授法（会話初級）と中級の教授法（会話中級と文法中級）を勉強する機会を与えるための研修会を開催

7. バンコク日本文化センター

合計額 58,726,815円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【.展示】					
1	Have We Met, Bangkok展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.4.20～ 05.6.18	展示内容は、①ポーンタウイサクによる作品(作品タイトルは「恐竜」と、②ウィットによるビデオインスタレーション(作品タイトルは「Still Animations」(静的な動画)。ウィットは東京での展示作品に新作数点を付け加えた
2	日本の世界遺産：三好和義写真展	チェンマイ国立博物館/在チェンマイ総領事館	チェンマイ国立博物館/バンコク日本文化センターArt Space	バンコク/チェンマイ	05.7.6～ 05.9.15	国際交流基金が購送したパネル写真を活用し、「日本の世界遺産：三好和義写真展」をチェンマイとバンコクで巡回開催。本展は日本の著名な写真家・三好和義が日本各地の世界遺産を撮影した、芸術性ゆたかな約60点にのぼる写真を展示
3	第8回アジア漫画展	-	バンコク日本文化センターArt Space/ウボンラーチャタニー職業学校ホール	バンコク/ウボンラーチャタニー	05.7.15～ 05.9.16	「アジア漫画展」の第8回の展示事業。「生きがい」をテーマにアジア各国の第一線で活躍する13カ国13人の漫画家が、個性豊かなその持ち味で自国の文化や習慣、状況などを背景に表現した作品103点を紹介
4	笹井史恵展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.9.21～ 05.10.31	「笹井史恵展 Rak - Naarak」と題する笹井史恵(ささい・ふみえ)によるアート展。同氏は漆を素材としたオブジェを制作し、「岡本太郎記念現代芸術大賞展」(2001)や「嵯峨アートコンペティション」(2001)などで入賞してきた若手アーティスト
5	コスト展	-	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	05.11.30～ 05.12.21	故今井俊満より絵画を勉強し、現在はバンコク在住の画家ジェラルド・コストの個展
6	東の間美術館ソイサーイ(奈良美智展)	タイ文化省/現代文化芸術推進室/シルパコン大学	シルパコン大学美術館	バンコク	06.2.10～ 06.2.17	日本を代表する現代アーティストの一人、奈良美智(なら・よしとも) + grafをフィーチャーし、タイや日本、欧州の多数のアーティストの作品をくわえたユニークな現代アート展。バンコク市内の複数サイトで同時開催

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
7	ウォラサン・スパープ作品展	—	バンコク日本文化センターArt Space	バンコク	06.3.9～ 06.3.31	ウォラサン・スパープはかつてJICA青年招へいで日本を訪問し強い印象をうけ多くのインスピレーションを得たが、このときの日本体験からヒントをえて日本の水風景を題材に本展のためにあらたに作品を制作。それらの新作とタイの水辺の暮らしをモチーフにした既存作品を展示し、若きタイアーティストの水にまつわる芸術世界を紹介
8	「ポスターに見る日本」展（準備）	—	バンコク日本文化センターArt Space/チェンマイ大学美術館	バンコク/チェンマイ	06.4.20～ 06.5.28	国際交流基金が所蔵する巡回セット「Discover Japan Through Contemporary Posters ～現代ポスターにみる日本」を使った展示を実施。日本を代表する著名なグラフィックデザイナーがデザインしたポスター計75点を一挙に展示。2005年度は、2006年4月から5月に実施する本展の準備
【公演】						
9	沖縄舞踊公演	沖縄文化民間交流協会/タイ国家文化委員会	タイ文化センター小ホール	バンコク	05.6.6～ 05.6.10	沖縄文化の華、伝統舞踊。その国際性と芸術性で日本のみならず世界各地でも上演され賞賛されてきた。今回は宮廷舞踊や雑踊り、民俗舞踊で構成される本格的な沖縄舞踊と音楽演奏を内容とした
10	箏 KOTO Breathing New Life into Tradition－現在を奏でる－	タイ国家文化委員会(ONCC)/チェンマイ大学アートミュージアム	タイ文化センター(小ホール)/チェンマイ大学アートミュージアム・シアター	バンコク/チェンマイ	05.12.8～ 05.12.9	タイ、米国、日本にそれぞれ在住し、プロ奏者として活躍している邦楽演奏家(元澤井箏合奏団のメンバーが主流)と、米国の仲間たち(および日本からは尺八奏者を招へい)による、コンテンポラリー、現代的な音楽コンサート
【講演・シンポジウム】						
11	タマサート大学日本研究国際会議	タマサート大学政治学部国際関係専攻修士課程	タマサート大学	バンコク	05.9.29～ 05.9.30	アセアン諸国とのFTA締結、フィリピン・タイ・マレーシア、さらにはアセアンとのFTA交渉の動きを振り返り、将来の東アジア共同体の可能性について議論。日本からは白石隆(政策研究大学院大学教授)が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
12	フェローセミナー	-	Sheraton Grande Sukhumvit Hotel	バンコク	06.2.24～ 06.2.24	平成16年度日本研究フェローとして「現在の日本人のしつけと学校教育」について日本で研究したWarintorn Wuwongse（タマサート大学教養学部準教授）、および日本とタイなどの発展途上国の教育に詳しい黒田一雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究課助教授）による、日本とタイの教育と人材育成についてのセミナー
13	チュラロンコン大学日本研究セミナー	チュラロンコン大学アジア研究所	チュラロンコン大学	バンコク	06.3.21～ 06.3.21	日本研究セミナー「経済のグローバル化と文明の課題“Globalizing Economy and Civilizational Agenda”」をチュラロンコン大学アジア研究所と共催
【映画】						
14	J Fシアター	-	バンコク日本文化センター多目的Hall	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	毎月テーマを定め、ウィークエンドの毎週金曜日に、2005年5月からは第1および第3火曜日を加え、18：30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
15	日本映画祭2005	映画雑誌パルプ/メジャー映画館	EGV METRO/Major Cineplex CWP/バンコク日本文化センターホール多目的Hall	バンコク	05.11.4～ 05.12.9	数年前に日本で公開された作品を中心に、娯楽ものからアート系・インディーズ系まで、また気鋭の若手監督からベテラン監督まで、ヴァラエティー豊かな構成の計17本、タイ未公開作品を一挙上映参加者数、参加者層は一般社会人、学生など
【日本語教育】						
16	派遣専門家・ジュニア専門家定期報告会	-	バンコク日本文化センター	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	地方に派遣している派遣専門家、ジュニア派遣専門家が一同に会し、活動報告や情報交換、意見交換を行なった。2005年度は2回実施
17	日本語教育通信教育講座	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	地方在住のタイ人日本語教師を対象とした日本語通信講座。年間20回の予定で教材を送付し、添削指導を行なった
18	日本語教師集中研修会	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	タイ人日本語教員の日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行なった。日本語能力試験3級および2級合格者を対象とした

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
19	日本語教育広報誌『タウン』発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	年3回各号1,800部（版型A4 毎号24ページ）を発行。バンコク日本文化センター日本語事業をタイ語・日本語で紹介
20	教材・教具助成	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	タイ各地の日本語教育機関に対し、2,000パーツを限度に教材寄贈を行った。寄贈教材は、テープレコーダーやタイ国内で出版された日本語教材など。バンコク日本文化センターが作成し、市販している中等教育向け『あきこと友だち』、バンコク日本文化センターが開発した副教材「ひらがなカード」、「動詞カード」なども選択できる
21	日本語講座運営（一般講座）	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人対象とした日本語講座。2005年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計16コース17クラスを設定
22	日本語テレビ番組制作支援	タイ国教育省学校外教育局	-	-	05.4.1～ 06.3.31	遠隔地に住む人でもテレビ放送を通じて日本語の学習ができるよう、2003年度に制作した日本語学習番組をテレビ地上波（11ch）で全国に放送。また、視聴者がテレビを見ながら自分で学習するためのテキストの配布を行った。1課は25分番組とし、20課分を制作したものを放送
23	紀要発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	年1回、700部（版型A4 2004年度版255ページ）を発行。日本語教育に関する論文、実践報告などをタイ語・日本語で掲載し、日本語教育機関に対して配布
24	広域活動強化事業（日本語教師研修）	-	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.4.18～ 05.4.29	日本語運用能力および教授能力の向上を目指し、評価の方法、文章表現、表現力の向上、初級指導法などのテーマに沿った集中講義を行った。日本語能力試験3級および2級合格者を対象。バンコク日本文化センターが持つ広域機能の一環として、タイ人現職日本語教師の集中講座にベトナム、ラオス、カンボジアの周辺国からの参加者を加え、広域強化事業として実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
25	邦人日本語教師教授法等研修会	泰日経済技術振興協会 (TPA/ソーソーター)	泰日経済技術振興協会	バンコク	05.5.24～ 05.5.30	日本語教授歴1年未満の経験の浅い日本人日本語教師を対象に、タイにおける教育や日本語教育の基礎に関する講義を行なった
26	北部タイ中等日本語教師研修会	—	ユパラート ウィッタヤライ 高校	チェンマイ	05.6.3～ 06.2.24	北部タイに在住するタイ人中等教育機関日本語教師を対象とする日本語教育研修会。国際交流基金派遣のジュニア専門家が指導。前期は6月3日から9月23日まで、後期は11月4日から2月24日まで実施
27	日本語教育セミナー (第1回)	—	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.7.30～ 05.7.30	「カセサート大学における通訳授業の一例」というテーマで同大学のブッサバー・バンチョマンニー助教授による日本語・タイ語の通訳に関する講義・質疑応答を行なった
28	日本語教育セミナー (第2回)	—	バンコク日本文化センター日本語教室	バンコク	05.12.24～ 05.12.24	「現代における慣用句の研究—タイの学生のための慣用句辞典の作成—」というテーマでニダー・ラップスイサワット (キングモンクット工科大学講師) による講義を行ない、質疑応答と意見交換を行なった
29	日本語教育セミナー (臨時)	—	バンコク日本文化センター	バンコク	06.3.13～ 06.3.13	トムソン木下千尋 (豪州・ニューサウスウェールズ大学教授) のサバティカルによる来タイの機会を捉えて臨時のセミナーを実施し、同氏の専門である「学習者オートノミー」についてタイの日本語教師に紹介
30	日本語教育セミナー (第3回)	—	バンコク日本文化センター	バンコク	06.3.17～ 06.3.17	日本の日本語教育界で注目を浴びていながらタイでは紹介される機会がない「協働学習」のコンセプトをタイの日本語教師に紹介し、タイ国内の日本語教育界全体の進展に寄与した。講師は館岡洋子 (東海大学留学生教育センター教授)
31	広域活動強化事業 (日本語弁論大会)	在ラオス大使館 / ラオス国立大学	ラオス国立文化会館	ビエンチャン	06.3.19～ 06.3.19	在ラオス大使館やラオス国立大学などからなる日本語スピーチ大会実行委員会が主催する全国レベルの日本語弁論大会。バンコク日本文化センターからは審査委員派遣の協力を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【図書館運営】					
32	図書館運営	—	バンコク日本文化センター図書館	バンコク	05.4.1～ 06.3.31	図書館を運営し、タイにおける日本研究学者や日本語教師をはじめ、広範な利用者の用に供した 2004年度末（2005年3月）蔵書規模：日本語図書（日本語教材含む）12,998冊、英語図書5,628冊、タイ語図書2,005冊、ビデオ1,310本、カセット614セット、CD書籍・音楽CD312枚
	【出版・広報】					
33	季刊広報誌『Japan Letter』発行	—	—	—	05.4.1～ 06.3.31	文化交流に関するエッセイやバンコク日本文化センター事業の活動報告を英語・タイ語2カ国語で伝える広報誌を、季刊（年間4回）により、毎号1,000部発行し、文化関係者に配布
	【その他】					
34	近隣諸国調査出張	—	—	クアラルンプール/シンガポール/マニラ/ピエンチャン	05.4.1～ 06.3.31	バンコク日本文化センター広域活動強化事業対象国であるベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーのニーズを調査。また、近隣諸国の情報収集し、今後のタイにおける事業立案の参考にした

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
35	文化事業小規模助成/箱嶋泰美展	シルパコン大学 絵画・彫刻・グラフィックアート学部	05.4.22～ 05.5.7	英文名称はDiscovery-That's the way, I like it!と称し、シルパコン大学絵画・彫刻・グラフィックアート学部にてアーティスト・イン・レジデンスプログラムで滞在している箱嶋泰美による個展。同氏は、留学を含め2003年より2年間バンコクに滞在していたが、アーティスト・イン・レジデンスプログラムで日本人芸術家を受け入れるのは稀な例。その2年間に制作した種々の技法（油彩、エッチング等）による40点の作品を展示
36	JADEC BKK ZONE1セミナー助成	—	05.5.20～ 05.5.20	バンコク近辺の日本語教師を対象に、初級日本語の中で難しい文法項目に関するレクチャーおよび今後の大学入試制度の動向に関する報告を行なった
37	ラチャパットの日本語教育を考える会助成	ラチャパットの日本語教育を考える会	05.7.9～ 05.7.9	ラジャパット大学で日本語教育に携わる日本人教師を中心とした日本語教師会が定例総会と実践報告会を行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
38	Phranakhon Si Ayuttaya Rajabhat University助成	Phranakhon Si Ayuttaya Rajabhat University	05.7.27～ 05.7.27	大学創立100周年を記念した日本語コンテストを実施
39	日本研究・知的交流小規模助成(IFLA)	国際図書館連盟アジア・大洋州事務所	05.9.19～ 05.9.22	国際図書館連盟アジア・大洋州事務所とユネスコが主体となり、東南アジア各国から司書や学校を支援するNGOスタッフなどの専門家を集め、現代世界に溢れる情報の取捨選択と正しい使い方を学校の図書館教育を通じて各国に広める方策を考える国際会議
40	文化事業小規模助成/Yayoi Kusama in Thailand	100 Tonson Gallery	05.10.18～ 05.12.31	世界的な現代アーティスト草間弥生のプリント作品などを中心に、バンコク市内2会場において展示を行なった。目玉は草間デザインによる水玉模様の車。トンソンギャラリーが日本でのオークションで競り落とした逸品
41	Shodo Contest and Kanji Quiz 助成	Navamindarajudis Payap School	05.12.4～ 05.12.4	チェンマイの高校が主催する書道コンテストと漢字クイズで、タイ北部の計15の高校が参加。毎年国王誕生日(父の日)に実施されているもので、書道コンテストは今回で3回目、漢字クイズは今回で2回目
42	日本研究・知的交流小規模助成(チュラロンコン大学政治学部大学院)	チュラロンコン大学政治学部大学院	05.12.29～ 05.12.29	鈴木直喜(清泉女学院大学助教授)を講師の一人に招き、NGOが関わる市民参加型の政策立案についてのセミナーを行なった
43	日本研究・知的交流小規模助成(ワライラック大学)	ワライラック大学	06.1.14～ 06.1.16	東南アジアとヨーロッパのイスラム研究とその社会への影響、イスラム社会の教育システムや教育機関の状況などを比較分析した
44	北タイ中学・高校日本語コンテスト助成	北部タイ中等教育日本語教師会	06.2.10～ 06.2.10	学習者の日本語能力の向上、日本語への接触機会の増大、日本語教育関係者のネットワーク作りを目的として、日本語弁論大会・硬筆・朗読・クイズなどのコンテストを行なった
45	北部タイ大学日本語弁論大会助成	タイ国元留学生協会北部支部	06.2.11～ 06.2.11	タイ北部で日本語を学ぶ大学生の日本語能力の向上、日本語使用の実践の場の提供、関係機関のネットワーク作りなどを目的に、タイ北部では初めてとなる一般大学生向け日本語弁論大会を実施
46	日本研究・知的交流小規模助成(チェンライ・ラーチャパット大学)	チェンライ・ラーチャパット大学	06.2.16～ 06.2.18	研究者、NGOスタッフ、政府関係者等による、メコン川流域の社会・経済・文化の問題についての国際会議
47	文化事業小規模助成/Designer's Saturday	art4d	06.3.11～ 06.3.11	タイを代表する建築デザインアート専門誌『Art4D』が主催し、当地ブリティッシュ・カウンシルが英国からの被招へい者(Sam Hecht)の渡航経費等負担し、バンコク日本文化センターが同様に日本からの被招へい者(原研哉)の渡航経費を対象に助成。両氏はともに著名なプロダクトデザイナー。とくに原研哉は長野冬季オリンピックの広報資料デザインや無印良品の芸術アドバイザーをつとめるなど国内外で現在もっとも活躍いちじるしい第一線のデザイナーである

	事業名	助成対象団体	期間	内容
48	タイ日本研究ネットワーク(仮称)設立準備会議	タマサート大学東アジア研究所	06.3.15～ 06.3.15	タマサート大学東アジア研究所が主催し、国際交流基金の日本研究リサーチ・会議等助成事業で支援した、タイにおける日本研究振興についてのワークショップのフォローアップ会議

8. クアラルンプール日本文化センター

合計額 58,566,993円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	BATIK	-	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	クアラルンプール	05.5.25～ 05.5.26	黒田育代(トヨタコレオグラフィアーワード受賞振付家)率いるカンパニーBATIKによる現代舞踏公演。公演2日目に、同氏によるトークも実施。力強さと繊細さを併せ持った本作品は、観客からの評判も高かった
2	Malaysian Dance Festival(室伏鴻レジデンス)	My Dance Alliance/文化芸術遺産省	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	クアラルンプール	05.6.7～ 05.7.2	Malaysian Dance Festivalへの参加事業。マレーシアのダンサー5名と日本の舞踏家室伏鴻との約1カ月のレジデンスを経ての共同制作作品公演。実施期間中ワークショップを開催
3	英語落語	-	Kuala Lumpur Performing Arts Centre/Pentas2	クアラルンプール	05.9.9～ 05.9.10	クアラルンプールでは3回目の公演。今回は従来の2回公演から3回公演に増やして実施。出演者は桂かい枝、桂あさ吉、大島希巳枝(プロデューサー)のほか、小川芳江(マジック)、林家和女(三味線)の5名
4	ドラマ・リーディング・プロジェクト	Mr. Sek San(会場提供)	67 Tempinas Satu	クアラルンプール	05.12.9～ 05.12.10	国際交流基金が助成し、紀伊国屋書店より出版された"Half a Century of Japanese Theatre"を活用し、日本の現代戯曲を紹介するためのプロジェクトの第一回目。今回は、若手の演出家Lim How Ngeanによる、坂手洋二の『くじらの墓標』を上演

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
5	定期映画上映会	在マレーシア大使館/マレーシア観光センター	マレーシア観光センター	クアラルンプール	05.4.1～ 06.3.31	毎月第1、第3土曜日の16:30より、マレーシア観光センターミニ講堂（定員126名）にて、英語字幕つき日本映画上映会を実施。入場無料。フィルムは主に東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mmフィルムを使用
6	日本映画祭	Golden Screen Cinemas	Golden Screen Cinemas/ Mid Valley/Golden Screen Cinemas/ Gurney Plaza	クアラルンプール/ペナン	05.6.15～ 05.7.10	クアラルンプール日本文化センター、在ペナン総領事館、ゴールデン・スクリーン・シネマによる共催事業。2003年から毎年継続しており、今回は『東京物語』、『茶の味』など家族をテーマとした作品を6本上映
	【日本語教育】					
7	小規模日本語教材寄贈	-	-	クアラルンプール/マラッカ州/ペラ州/スランゴール州/ペルリス州/ケダ州/クアンタ州/ジョホール州/サバ州	05.4.1～ 06.3.31	新規に日本語講座を立ち上げた教育機関に対し、必要最小限の教材確保を支援する目的で小規模の教材寄贈を実施。2005年度は重点項目である中等教育支援のため、中等教育関連機関に寄贈を行なった
8	シンガポール(広域担当)	-	-	シンガポール	05.4.1～ 06.3.31	2005年度をもってシンガポールへの専門家派遣が打ち切られることに伴い、在シンガポール大使館、日本語教師の会、シンガポール教育省、国立シンガポール大学等、関係機関を訪問してニーズ調査を行なった
9	プロジェクトコンサルティング	マレーシア科学大学/マレーシア・サバ大学	マレーシア科学大学/マレーシア・サバ大学	ペナン/コタキナバル	05.4.1～ 06.3.31	マレーシア科学大学が進めている教科書作成プロジェクトに対する協力と、マレーシア・サバ大学が2005年度から開始した口頭能力評価法作成プロジェクトへの協力。電話、メール等による対応の他、大学において検討会議やワークショップが実施される場合には出張を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
10	学校訪問	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育機関の視察、日本語教師からの相談受付、各機関の責任者への日本語教育アピールを目的に、機関が実施する日本紹介関係各種イベントや小規模図書寄贈の機会を捉え、積極的に日本語教育機関を訪問。特に2005年度は重点項目としている中等教育機関への訪問を重点的に行なった
11	個別研究支援 (プラットフォーム事業)	-	-	クアラル ンプール	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師ネットワークの中心的な存在となりうる人材を集散的・重点的に養成するため、平成15年度から開始された3年計画事業の3年目。平成15年度および16年度に実施した上級通信講座の修了者のうち、研究課題がしぼれた者を対象に、個別の研究テーマに沿って、研究支援を実施
12	第2回高校生日本語弁論大会	マレーシア教育省/クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館	クアラルンプール日本人会講堂	クアラル ンプール	05.4.23～ 05.4.24	昨年に引き続き、第2回高校生日本語弁論大会を実施。原稿審査を経て出場者10名が日本招へい旅行を目指してスピーチを行なった。大会前日には関西国際センターの訪日研修参加者選考の一部として筆記試験と面接試験を実施。最優秀賞受賞者はエデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム (E.G.G)主催の第10回JSAスピーチコンテストに招へい、特別賞は、関西国際センター主催の「日本語学習者訪日研修(高校生)」に参加
13	第1回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン	-	クアラルンプール日本文化センター	クアラル ンプール	05.6.11～ 05.6.12	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。マレーシア半島東海岸・南部地域およびクアラルンプール・クランバレー地域の大学、予備教育機関、RS、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人日本語教師、および、日本人日本語教師計45名(2日間の延べ数)が参加
14	第1回北部地域日本語教育キャラバン	-	ペナン日本語協会	ペナン	05.6.25～ 05.6.26	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。マレーシア半島北部地域の大学、RS、インターナショナルスクール、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人日本語教師、および、日本人日本語教師計30名(2日間の延べ数)が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
15	第1回東マレーシア日本語教育キャラバン	-	マレーシア・サバ大学	コタキナバル	05.7.16～ 05.7.17	地方在住の日本語教師の教授能力向上を目指した出張セミナー。参加者は、大学、RS、民間の日本語教育機関で日本語教育に携わるマレーシア人、および、日本人日本語教師で、計26名（2日間の延べ数）
16	日本語弁論大会一般の部	クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館/JAGAM	クアラルンプール日本人会講堂/ペナン福祉協会コンプレックス/エクセルシオールホテル	クアラルンプール/ペナン/イポー	05.8.6～ 05.8.28	オープンカテゴリーの弁論大会。クアラルンプール日本文化センターはクアラルンプール首都圏・南部地区の地方大会および全国大会を共催。地方大会は他にペナン、イポー、コタキナバルの各都市でも実施され、クアラルンプール日本文化センターはこれら地方大会にも共催者として資金面で協力。また、イポーについては審査員として専門家を派遣
17	中等教育教科書改訂ワークショップ	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.8.29～ 05.8.30	2006年より中等教育向けの新テキストの作成に入るようになったことに先立ち、具体的な方法を検討するためのワークショップをマレーシア教育省と共催で開催。参加者はクアラルンプール日本文化センター専門家および担当者のほか、テキスト作成委員会のメンバーである中等学校教員計12名、シラバス作成委員長、および教育省カリキュラム開発センターの担当者
18	第2回日本語教育研究発表会・浦和研修報告会	IPBA	IPBA	クアラルンプール	05.9.24～ 05.9.24	日本語教育関係者に広く研究発表の機会を提供すること、研究や実践の成果を広く共有することおよび研修の参加者に研修成果を現場に還元する責任を自覚してもらうとともに、研修OB間のネットワークを強化することを目的に開催。当日は、54名以上の教師が出席
19	日本語弁論大会予備教育の部	クアラルンプール日本人会/マレーシア日本人商工会議所/在マレーシア大使館/ALEPS	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール	05.10.1～ 05.10.1	日本留学予備教育課程在学中の学生による弁論大会。マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース（AAJ）、マレーシア工科大学日本高専予備教育センター（PPKTJ）、日本マレーシア大学連合プログラム（JAD）、アジアユースフェローシップ（AYF）、帝京マレーシア日本語学院予備教育コース（IBT）の在学生在が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
20	第2回東マレーシア日本語教育キャラバン	—	ホリデイ・イン・クチン	クチン	05.11.12～ 05.11.13	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催した。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。東マレーシアキャラバンは参加者15名（2日間の延べ数）
21	第2回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン	—	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.11.26～ 05.11.27	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。東海岸・南部地域キャラバンの参加者19名（2日間の延べ数）
22	第2回北部地域日本語教育キャラバン	—	ペナン日本語協会	ペナン	05.12.17～ 05.12.18	後期の日本語教育キャラバンは、ノンネイティブ教師の日本語のブラッシュアップを主目的とし、国内3都市において開催。ただし、全体を通して日本語の口頭能力のブラッシュアップを中心とはしながらも、教授法や教材利用、教室活動などの面でも参考となるような内容を目指した。参加者の日本語能力にかなりの差があることが予想されたため、2日目は各セッションをレベル別で2クラスに分けて行なった。北部地域キャラバンは参加者18名（2日間の延べ数）
23	日本語教育セミナー	独立行政法人国立国語研究所/ マラヤ大学予備教育部	マラヤ大学予備教育部AAJ講堂	クアラルンプール	06.3.4～ 06.3.5	マレーシア全土の日本語教師を対象とするセミナー。今年度は「学習者のまわりにある日本語、そして、日本語学習を考える」をテーマに実施。基調講演、マレーシアおよびシンガポールからスピーカー4名による関連発表4件、参加者によるグループワーク、まとめの講演という構成とした。マレーシア人日本語教師および日本人日本語教師、計67名に加え、フィリピンからも2名参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
24	浦和短期研修事前オリエンテーション（春期）	マレーシア教育省	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	06.3.21～ 06.3.21	日本語国際センター研修参加予定者に対し、研修内容・環境についてブリーフィングを行ない、課題設定・事前準備について指導・助言することにより、訪日研修の効果を増大させ、帰国後の所属機関および周辺への還元につなげることを目的に実施。2005年度は2006年度の海外日本語教師短期研修（春期）への参加者3名を対象に実施
【図書館運営】						
25	日本語教育図書教材サテライトリソースセンター	ペナン日本語協会/ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会/ペラ馬日友好協会	ペナン/イポー	05.4.1～ 06.3.31	クアラルンプール日本文化センター図書館の分館として、ペナンとイポーに「サテライト・リソースセンター」を設置し、最新教材等へのアクセスを付近の日本語教師に提供
26	図書館運営	－	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.1～ 06.3.31	通常の図書館運営、広報誌『図書館だより』発行（隔月発行）のほか、利用者を増やすべく図書館の利用環境充実を目指し拡張工事を行なった。これに伴い、インターネット利用ブースが設置されたほか、AV資料閲覧ブースが改善され、手狭であった書庫・執務スペースの拡張が実現
【出版・広報】						
27	広報誌TEMAN BARU発行	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	ニュースレター『Teman Baru』（毎偶数月発行）の発行
28	ニューズレター（ブンガラヤ）	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語事業のニューズレター、『ブンガラヤ』を年4回発行。日本語関連事業の紹介の他、新刊教材の紹介、学校紹介、教案のヒントなどを掲載
【教室事業】						
29	春のお茶会	裏千家茶道同好会(高野 宗喜)	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.9～ 05.4.9	クアラルンプール日本文化センターの和室にて、30分のお茶会を4席実施。一席の定員を12名とし、合計48名が参加。全体の指揮を、裏千家茶道同好会の高野宗喜に依頼し、お水屋等の手伝いはそのメンバーが担当。限りなく実際のお茶会の形を実現しつつ、各席の後にはQ&Aセッションを設け、初めて茶道を体験する参加者にも楽しめるよう心がけた

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
30	日本語教師養成講座	-	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.4.27～ 06.2.15	日本語能力試験1級程度の日本語力を有する日本語学習者および永続的にマレーシアに在住する日本人に対し、初級日本語講座で教えることができる程度の教授能力を獲得させることを目標とした。平成16年度から始まった2年コースの2年目
31	日本語講座	-	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	05.5.9～ 06.3.31	一般向けの日本語講座。民間学校では実施されていない中上級～上級レベルの4クラスを開講
32	雛祭り 茶道デモンストレーション+折り紙ワークショップ	裏千家茶道同好会(高野 宗喜)	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール	06.2.26～ 06.2.26	雛飾りをセンターロビーに展示すると共に、雛祭りにちなんだ形で茶道デモンストレーションを和室にて行ない、その後参加者が試飲折り紙ワークショップも開催。茶道デモンストレーションと折り紙ワークショップをセットに1セッションとし、全5セッション開催。各セッション定員は32名で総参加者数は129名

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
33	小規模助成事業 (Kelab Seni Filem)	Kelab Seni Filem Malaysia	05.4.2～ 05.4.3	クアラルンプールの映画愛好者団体、Kelab Seni Filem Malaysia による、高橋洋一郎監督特集の実施。高橋監督を招へいし、同監督の作品『8月の魚』、『ビタミンF』、『日曜は終わらない』の3本を上映。各上映終了後には、客席との質疑応答が行なわれたほか、マレーシアの若手監督との懇談会をクアラルンプール日本文化センター主催にて実施
34	シンガポール日本語教育セミナー (助成)	シンガポール国立大学	05.8.3	シンガポール国立大学語学教育研究センター主催シンガポール日本語教師の会
35	小規模助成事業 (日本研究・知的交流事業費/UKM)	マレーシア国民大学	05.11.23～ 05.11.28	マレーシア国民大学主催のカンファレンス"Worlds in Discourse"への助成。助成対象は、講演を依頼された志鷹英行(広島女子大学教授)の招へい経費
36	マラ工科大学 (UiTM) 国際会議 (助成)	マラ工科大学	05.12.12～ 05.12.14	マラ工科大学と松山東雲女子大学の大学間協定による日本語教育研究と他言語教育研究を含めた形で開催された会議
37	マレーシア・サバ大学浴衣プロジェクト(助成)	マレーシア・サバ大学 (UMS)	05.12.12～ 06.3.31	マレーシア・サバ大学で日本語を学習している学生が日本語教員の指導の下、浴衣を手作りし、成果物の展示を行なった。展示に併せて制作過程の紹介(制作過程の撮影したもの)、ワークショップを行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
38	小規模助成（日本文化祭ワークショップinクラントン）	コタバル日本語学習者協会	05.12.29～ 05.12.29	マレー半島北東部クラントン州コタバルで実施された日本文化紹介に関するイベント。内容・日程は以下のとおり。12月29日（木）午前生け花デモンストレーションとワークショップ。午後：折り紙ワークショップ
39	小規模助成事業（日本研究・知的交流事業費/PHT）	Penang Heritage Trust	06.1.16～ 06.1.20	ペナンで活発に文化遺産保護活動を行なっているNGO、Penang Heritage Trustによる文化遺産保護を教育の場で活用するための、教育者向けワークショップ。ユネスコからも助成を受けた
40	小規模助成（Gardner & Wife）	Gardner & Wife Sdn. Bhd.	06.3.3～ 06.3.19	日本のコメディ仕立てのパントマイムデュオ「がーまるちょば」のクアラルンプール公演。彼らは、既に海外で実績のある団体であり、今回は2週間という当地の平均からするとロングランの公演
41	小規模助成（Multimedia University）	Multimedia University	06.3.18～ 06.3.18	GACC（Game Anime Comic Circle）と題した、アニメーション、コミック、コンピュータゲームに関する学生主催の一般向けイベント。マルチメディア大学の一般公開日に併せて実施された。コスプレ、コンピュータゲームの勝ち抜き戦などのイベントの他、国内の漫画雑誌出版社や同人誌のブースも設けた
	【その他】			
42	中等教育教科書改訂会議	マレーシア教育省	05.4.1～ 06.3.31	マレーシア教育省が進めている中等教育用新教科書作成作業に対する協力。クアラルンプール日本文化センターの日本語教育専門家が全ての作業会議に出席し、助言を行なった。負担経費はセンター専門家の旅費や文房具代等
43	Malaysian Video Award	Malaysian Video Award	05.11.30～ 05.11.30	Malaysian Video Award（MVA）でのびあフィルムフェスティバルグランプリ作品『ある朝、スープは』（監督：高橋泉）、『さよなら、さよなら』（監督：廣末哲万）上映、高橋監督を招へい
44	中等教育シラバス翻訳	マレーシア教育省	06.2.1～ 06.3.31	教育省では、外国語科目のシラバスについて、その教育言語に翻訳したものをウェブサイトに掲載することになっており、今回のシラバス翻訳は、その原稿作成のためのもの。2005年度はすでに完成済みの1年生分のみを実施

9. シドニー日本文化センター

合計額 133,245,548円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	弓道グラフィー	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.4.21～ 05.5.22	フランス系オーストラリア人フランク・ラ・ペティによる「弓道」をモチーフとした写真とテキスタイルを融合させた作品の展示会
2	筒書き友禅	東レストラン /Tetsuya's	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.6.16～ 05.6.29	筒書き友禅の第一人者小林秀明による暖簾を中心とした筒書き友禅の展示およびデモンストレーション
3	竜安寺サウンド展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.8.10～ 05.8.26	サウンド・アーティストのマイケル・ファウラーによるデジタル音楽、映像による竜安寺石庭の新解釈
4	油絵展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.10.5～ 05.10.19	パース在住の画家小畔義雄、節子夫妻によるスーパー・リアリズム絵画展を実施
5	Sprit of the Kami	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.12.9～ 05.12.19	日本在住写真家、装飾アーティストの山口カーラによる日本の神々にまつわる写真、服飾、ビーズ・アートの展示およびワークショップ。各ワークショップには常に30名前後の子供たちが集まった
6	絵本展	—	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	06.2.27～ 06.3.17	スウェーデンの世界的児童文学賞アストリッド・リンドグレン記念賞を受賞した荒井良二、独特の作風で知られる鈴木コージという日本を代表する絵本作家、イラストレーターによるライブ・ペインティング、ワークショップ、作品の展示会
	【公演】					
7	TSUNAMIチャリティコンサート	シドニー在住のアーティスト	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	05.4.15～ 05.4.15	シドニー在住の複数のアーティストの自主的な企画による「インド洋沖地震による津波被害」復興支援のためのチャリティ・コンサート

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
8	ワラタ・コンサート&CDローンチ	-	シドニー日本文化センターギャラリー	シドニー	06.2.8～ 06.2.8	シドニー在住の琴奏者小田村さつきのCD「Koto Dreaming」リリース記念として、小田村が参加し、愛知万博にも出演した音楽集団Waratah（琴：小田村さつき、ソプラノ・サクソクス：サンディ・エバンス、パーカッション：トニー・ルイス）のコンサートを実施
【講演・シンポジウム】						
9	内野儀招へい(NIDA/アジアリンク)	国立演劇学校/アジアリンク	講堂/アジアリンク	シドニー/メルボルン	05.7.1～ 05.7.1	メルボルンのアジアリンクの主催した日本文化フォーラムに対し、パネリストとして内野儀（東京大学助教授）をゲストスピーカーとして招へい。シドニーの国立演劇学校(NIDA)でも講演を実施。参加者90名
10	JSAA会議	JSAA (Japanese Studies Association of Australia)	アデレード大学	アデレード	05.7.4～ 05.7.7	2年に一度開催されるオーストラリア日本研究学会の総会。基調講演は日本から毛利衛、鳥飼久美子（立教大学）、Helen Hardacre（ハーヴァード大学）の3人がアジアの事務所の協力を得て、インドからRajaram Pandaが、シンガポールからは寺田貴（シンガポール大学）、また、日本からの参加者も数多く参加。参加者総数約500名
11	盆栽ワークショップ	オーストラリア盆栽協会	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.8.18～ 05.8.18	第18回オーストラリア盆栽協会連盟の主催する盆栽コンベンションのため来豪した木村正彦（国際交流基金助成）による盆栽のレクチャー・デモンストレーション。約100名が参加
【映画】						
12	Film Library	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	大洋州フィルムライブラリー所蔵フィルムを豪州国内、ニュージーランド、大洋州島嶼国の在外公館等に貸し出し、映画会を実施
13	日豪学生映画フォーラム	日本映画学校/オーストラリア国立映画・テレビ・ラジオ学校/アデレード大学/シドニー工科大学	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.10.14～ 05.10.14	日本映画学校、オーストラリア国立映画・テレビ・ラジオ学校、アデレード大学、シドニー工科大学の卒業作品9本を上映。優秀作品には各賞が授与され、日豪の映画を志す学生たちの交流が行なわれた。80名参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	巡回映画祭	在シドニー総領事館 /MADMAN, Fast Cube Link/The Lab 等	デンディ・オペ ラ・キー	シドニー	05.11.28～ 05.12.2	第9回巡回日本映画祭。パース、キャンベラ、メルボルン、シドニーでも実施。シドニーでは全8作品、10回上映をし、毎回ほぼ満席の2,500名が来場。旧山古志村を題材とした『掘るまいか!』には、監督、プロデューサーら映画関係者のほか、元同村村長で現衆議院議員の長島忠美も来豪
	【日本語教育】					
15	日本語教育研修会支援	各州教育省/私立学校協会/各州日本語教師会	-	-	05.4.1～ 05.3.31	各州で行なわれる日本語教育研修会に、シドニー日本文化センター日本語事業部の講師が出講。本年度は、タスマニア州1回、西オーストラリア州1回、南オーストラリア州2回、クィーンズランド州1回、ビクトリア州1回の計6回の出張を実施
16	ニュースレター Web掲載費 (Dear Sensei)	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センターのニュースレター『OMUSUBI』に掲載されている、日本語教師向けのリソース「Sensei's Page」を、シドニー日本文化センターのウェブサイトに掲載
17	オンライン日本語講座	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるように、オンラインによる日本語講座（ベーシック・コース）を開発。2005年10月からと2006年2月からの2回開講し、延べ約50名の教師が参加
18	高等教育支援 (共同研究)	NSW大学	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューサウスウェールズ大学と連携して、オーストラリアにおける日本語教育事情並びに日本語教授法に関する研究を数年に渡り行なう予定。平成17年度はその準備にあたった
19	日本語教育補助 教材制作	NSW州立美術館	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	NSW州立美術館と共同で、日本美術に関する Activity Resource を作成
20	ニュージーランド 支援事業	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	オークランドの派遣専門家の打ち切り（2006年1月末）に伴い、その後の継続的な支援を目的に、シドニー日本文化センター作成の教材提供などを行なった。また、シドニー日本文化センター主催の短期集中研修会にニュージーランドの日本語教師が参加

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
21	一日研修会（4月2日）	-	シドニー日本文化センター	シドニー	05.4.2～ 05.4.2	「OHISAMA」という小学生向けの教材を執筆したMary Taguchiを講師に招き、1日セミナーを開催。シドニー近郊の日本語教師22名が参加
22	日本語教育研修会支援（TASセミナー出講・4月）	TAS州教育省/ タスマニア日本語教師会	イースト・コースト・リゾート	オーフォード	05.4.15～ 05.4.16	タスマニア州教育省とタスマニア日本語教師会主催の、初中等教師を対象とした研修会に、シドニー日本文化センター派遣講師が出講。日本語運用力と教授法の向上および相互情報交換、交流を目指し、生徒の学年別に2クラスに分かれ、2日間にわたり開催
23	日本語教育研修会支援（兵庫文化交流センター・WA出講）	兵庫文化交流センター/ 西オーストラリア州教育訓練省	兵庫文化交流センター	パース	05.5.26～ 05.5.27	西オーストラリア州内の初等・中等教育機関で日本語を教えている教師を対象に、日本語力・教授法の向上を目的に研修会が開催され、シドニー日本文化センター派遣講師が出講。2日間で合計50名以上の参加者が集まった
24	日本語教育研修会支援（SAJLTA出講）	南オーストラリア日本語教師会	Blackfriars' Priority School	アデレード	05.6.3～ 05.6.4	アデレードにおいて開催された日本語研修会のため、シドニー日本文化センターから主任講師が出講。対象は、南オーストラリア日本語教師会に所属する小・中・高等学校の日本語教師。日本語・日本文化の教授法、および教師間のネットワーキングが目的
25	VIC州支援事業	-	-	-	05.7.1～ 06.3.31	ビクトリア州教育訓練省の日本語教育アドバイザー打ち切りに伴い、同地域の教師研修への出講、コンサルタント等をシドニー日本文化センター講師が行なった
26	日本語教育短期研修会（7月）	各州教育省/ 私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	05.7.4～ 05.7.7	全豪から22名、ニュージーランドから3名の日本語教師が参加した、シドニー日本文化センター主催の4日間の日本語教育研修会。参加者の日本語運用力の向上、教授法の紹介の他、書道、料理などの文化体験や日本人へのインタビューなどを通じて、日本語理解の促進を図った
27	情報交流（AFMLTA）	全豪現代語教師会	-	メルボルン	05.7.8～ 05.7.9	メルボルンで行なわれて隔年開催の同大会に、オーストラリアの現代語教育関係者が集まった。シドニー日本文化センターからは講師2名が参加し、言語教育に関わる情報収集を行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
28	NSW州日本語弁論大会	在シドニー総領事館/NSW州教育省/Asics/Canon/紀伊国屋書店/JALPAK/Sony	シドニー日本文化センター	シドニー	05.9.3～ 05.9.3	ニューサウスウェールズ州の高校生、大学生、社会人の約50名が4部門にわかれて競い合う州大会。各部門の優勝者が全豪決勝大会へ進出。36回目を迎えた
29	日本語講座	－	シドニー日本文化センター	シドニー	05.9.6～ 06.3.28	日本語運用力 中～上級者（日本語能力試験2級程度以上）を対象に、日本の新聞記事を読んだり、ニュースのビデオをみて、その話題について話したり、議論することを通じて、日本の社会および文化への理解を深めてもらうことを目的とした、一般向けの日本語講座を開講（週1回、1.5時間）
30	日本語教育研修会支援（Mount Gambierセミナー出講）	南オーストラリア州教育省	Southgate MotelおよびGrant High School	マウント・キャンピア	05.9.16～ 05.9.18	南オーストラリアの地方都市マウント・キャンピアで開催された日本語研修会に、シドニー日本文化センター主任講師が出講し、セッションを行なった。研修会の対象は、南オーストラリアのマウント・キャンピア地区の小・中・高等学校の日本語教師
31	情報交流（日本語教育学会）	－	金沢大学	金沢	05.10.6～ 05.10.14	シドニー日本文化センターの主任講師がオーストラリアにおける日本語教育の最新の動向について日本語教育学会 秋季大会で研究発表を行なった。発表題目は「異文化理解に重点を置いた日本語教育に果たすALPLPの役割」
32	全豪日本語弁論大会	在オーストラリア大使館/JAL/JR東海/Asics/Canon/紀伊国屋書店/Sony他	シドニー日本文化センター	シドニー	05.10.22～ 05.10.22	各州大会を勝ち抜いた20名の代表による全国決勝弁論大会。36回目の今回も、高校シニア、オープン・ピギナー、オープン、バックグラウンド・スピーカーの4部門にわかれて、参加者が競合した
33	評価委員会開催	各州教育省/私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	05.11.18～ 05.11.18	各州教育省、私立学校協会、日本語教師会などの代表者を招き、各州の日本語教育現状について情報を得、同時に日本文化センター日本語事業部の事情に関する意見・評価をもらう外部評価委員会。年1回開催

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
34	日本語発表会	在シドニー総領事館/ニューサウスウェールズ州教育省	シドニー日本文化センター	シドニー	05.11.21～ 05.11.26	ニューサウスウェールズ州の幼児、小・中学生が日ごろの日本語学習の成果を劇や歌など、それぞれに創意工夫し発表する会。ビデオでの参加も可能。また、併せて、絵画や工作などで表現するアート展覧会も行った
35	日本語教育短期研修会(1月)	各州教育省/私立学校協会	シドニー日本文化センター	シドニー	06.1.16～ 06.1.20	シドニー日本文化センター主催の日本語教師研修会。全豪から20名、ニュージーランドから3名が参加。日本語運用能力と教授技能の向上、教師間のネットワーク構築を目的とした。対象は、中等後期課程で日本語を教えている教師
	【出版・広報】					
36	ジャーナル「New Voices」	-	-	-	05.9.1～ 06.3.31	オーストラリア国内外の人文・社会科学分野の若手研究者を対象とし、日豪関係の接点において発生するさまざまな事象の分析をテーマとした論文を募集・選考し、論文集を出版する事業の準備・事前調査
	【教室事業】					
37	教室事業	-	シドニー日本文化センター多目的ルーム	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センターメンバー向けの書道教室および茶道教室の実施。参加者約30名
	【その他】					
38	ボランティア	-	-	シドニー	05.4.1～ 06.3.31	シドニー日本文化センター事業等に協力したボランティアに対する謝金
39	Wonderbus Japan	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	昨年度事業「ワンダーバス・ジャパン2005」の記録資料作成および次年度事業「ワンダーバス・ジャパン2006」の広報等実施準備経費

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
40	"Performance Paradigm"出版助成	Dr. Peter Eckersall (University of Melbourne)	05.1.1～ 06.6.30	メルボルン大学とニューサウスウェールズ大学が、共同で出版している演劇専門誌『Performing Paradigm』の第2号が予定している日本演劇特集『Japan after 1960s: the ends of the avant-garde: The best essays and interviews from Performing Paradigm』に対する助成

	事業名	助成対象団体	期間	内容
41	AnJel (Australia Network for Japanese Law) 会議助成	オーストラリア 日本法ネット ワーク	05.4.1～ 06.3.31	AnJel (シドニー大学法学部、ニューサウスウェールズ大学法学部、オーストラリア国立大学法学部の3大学が母体となって、日本法の研究をしている団体) 主催の日本法に関するセミナーに対する助成を実施。本年度は日本の保護貿易と日本の国内法を取り上げ、日本法を研究しているオーストラリアの学者だけでなく、日本、香港、アメリカから日本の法律を研究している学者を招へい
42	ローカル助成	—	05.4.1～ 06.3.31	クイーンズランド豪日協会(雅楽公演)、タスマニア豪日協会(豪日協会連盟総会における和太鼓演奏)、キャンベラ・マルチ・カルチュラリズム・フェスティバル、森本順子展等に対する助成
43	日本語教育セミナー助成	タスマニア州教育省/タスマニア日本語教師会	05.4.15～ 05.4.16	タスマニア州教育省とタスマニア日本語教師会が共催で開催した、日本語セミナー(ぐんぐんセミナー)に対し、講師の交通費、宿泊費および会場費を助成。タスマニア州全体から日本語運用力や教授法の向上を目的として、40名弱が参加
44	日豪フォーラム『日本の国際協力』	マッコリー大学	05.7.1～ 06.3.31	マッコリー大学とシドニー日本文化センターの協力による日豪の国際協力に関するフォーラムの開催準備
45	メルボルンフィルムフェスティバル	—	05.7.20～ 05.8.7	毎年開催されているメルボルンフィルムフェスティバルに対する助成。『Uchitda tomu: A Visionary Discovered』および『Brain Monkey Sushi 05: Raw Japanese Cinema』という日本映画特集で計13本の上映が行なわれたほか、20本の日本映画を上映。合計33本の日本映画の上映は、メルボルン映画祭では過去最高。メルボルン映画祭全体で観客動員数は約17万人。日本映画の上映に関しては、延べ14,000人の入場者を集めた。『血と骨』(崔洋一監督)の上映会にあたっては、文化庁研修員として在豪中であった、同映画のライン・プロデューサー、氏家英樹の講演が催された
46	日本語教育セミナー助成(SA)	南オーストラリア州教育省日本語Professional Learning Service	05.11.4～ 05.11.5	南オーストラリア州の地方都市Clareで行なわれた日本語教師対象の研修会に講師の出張旅費と滞在費の一部を助成
	【会場提供】			
47	山鹿灯籠師	山鹿灯籠保存会	06.2.3～ 06.2.3	山鹿灯籠保存会による灯籠踊り、唐傘および団扇製作の展示デモンストレーション。夏祭りに参加するため来豪した山鹿灯籠保存会が、シドニー日本文化センターで夏祭りのイベントとして実施
48	備前焼展	シドニー日本人会	06.3.20～ 06.3.27	シドニー日本人会主催による備前焼の第一人者藤原和による講演会および作品の展示会

10. トロント日本文化センター

合計額 67,155,065円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	写真パネル展 「日本人の暮らし」	—	トロント日本文化センター	トロント	05.4.1～ 05.5.7	松本徳彦（写真家）による現代日本の日常生活を捉えた写真パネル40点を展示。〈ビデオ上映会〉4月14、21、28日に夜6時から1時間、イベントホールにて無料ビデオ上映会を開催
2	渋沢史料館 「ニッポン開化自慢」	渋沢史料館	トロント日本文化センター	トロント	05.6.13～ 05.7.29	渋沢史料館との共催で、錦絵の複製パネル・写真パネル等の歴史資料（総数120点余）によって、日本の近代化を紹介する展示会を実施
3	日本映画ポスター展	—	トロント日本文化センター	トロント	05.8.17～ 05.9.28	トロント国際映画祭（9月8日～17日）に合わせて、怪獣、ホラー、SF、ミステリー、怪奇映画などのポスター約50点を展示した日本映画ポスター展「Monstrous Vision: Horror and Destruction in Japanese films」を実施
4	横尾忠則ポスター展	—	トロント日本文化センター	トロント	05.10.24～ 05.12.15	横尾忠則（グラフィック・デザイナー／画家）自選の1993年から現在に至る最新作の寄贈を受け、ポスター約100枚を展示
5	新国立劇場ポスター展	—	トロント日本文化センター	トロント	06.1.4～ 06.3.4	現代芸術上演施設である新国立劇場の活動を紹介する、舞台芸術展。新国立劇場の1997年の開場から現在に至る最新作の寄贈を受け、ポスター約100枚のほか、台本やパンフレットなども展示
6	スーザン・ロウピア展	—	トロント日本文化センター	トロント	06.3.13～ 06.5.12	Susan Low-Bear（アーティスト）による造形アートの展示会を開催。手すき和紙を使った版画や路上で収集したオブジェクトなどを展示。オープニングレセプションとアーティスト・トークも合わせて実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
7	渋沢史料館 「ニッポン開化 自慢」展： Gennifer Weisenfeld 教 授講演会	渋沢史料館	トロント日本文 化センター	トロント	05.6.15～ 05.6.15	Gennifer Weisenfeld（デューク大学 准教授）を迎えて、「文明開化を描 く：近代国民国家の黎明期における 日本画」というテーマで講演会を実 施。6月13日から開かれている「ニッ ポン開化自慢」展の一環
8	渋沢セミナー 前夜レセプション &レクチャー	渋沢財団	トロント日本文 化センター	トロント	05.6.17～ 05.6.17	6月18、19日にトロント大学マンク センターで開かれた2005渋沢北米セ ミナー（本部助成事業）に合わせ、 17日に渋沢財団と共催で講演会とレ セプションパーティーを実施
9	トロント国際映 画祭関連事業 （四方田犬彦講 演会）	ヨーク大学/マ ギル大学	ヨーク大学/ト ロント日本文 化センター/マギ ル大学	トロント /モント リオール	05.9.7～ 05.9.12	四方田犬彦（明治学院大学教授/比 較文化学者）による講演会をトロ ントとモントリオールの計3会場で 実施。 9月8日、12日：「『かわいい』の美学」 9月9日、10日：「みずからなった盲目」
10	日本研究レク チャーⅠ： Alan Middleton （ヨーク大学教 授）	トロント日加協 会	トロント日本文 化センター	トロント	05.10.14～ 05.10.14	Alan Middleton（ヨーク大学教授） による、日本のTV広告とそこから 読み取る日本文化についての講演会 「The Wonderful World of Japanese Advertising」をトロント 日加協会との共催で実施
11	日本研究レク チャーⅡ： James King（マ クマスター大学 教授）	－	トロント日本文 化センター	トロント	06.3.3～ 06.3.3	James King（マクマスター大学英 語・英文化学部教授）を迎え、「Japan in the Western Imagination」とい うテーマで、日本文化に関する講演 会と著書の朗読会を実施
	【映画】					
12	ドキュメンタ リーフィルム上 映会	－	トロント日本文 化センター	トロント	05.7.14～ 05.7.29	日本に関係する様々なテーマを扱 ったドキュメンタリー、計11作品のビ デオ上映会を12日間にわたり実施。 各作品は2回ずつ上映
	【日本語教育】					
13	日本語教師情報 交換会1	－	トロント日本文 化センター	トロント	05.8.24～ 05.8.24	カナダ日本語教育振興会年次大会参 加のためにブリティッシュ・コロ ンビア州ビクトリアに出張中の和泉元 千春（国際交流基金関西国際セン ター専門員）を招へいし行なった日 本語スピーチ指導の研修会

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
14	日本語教師情報交換会2	-	トロント日本文化センター	トロント	05.11.26～ 05.11.26	東部カナダの中等教育レベルの日本語教師を集め、教師間のネットワークづくり、日本語教育の現状と問題点の把握や国際交流基金に対する要望等の聴取を主な目的として実施
15	日本語教師ワークショップ	-	トロント日本文化センター	トロント	06.3.31～ 06.3.31	王立オンタリオ博物館・高円宮ギャラリーで展示されている日本美術のコレクションを活用した日本語教育や教材作成に関する講習会を実施。担当講師は宇田川洋子（日本語教育アドバイザー・アルバータ教育省派遣中）
	【その他】					
16	トロント国際映画祭 Asian Film Night Reception	UNI JAPAN/ Korean Film Council (KOFIC)	トロント日本文化センター	トロント	05.9.13～ 05.9.13	トロント国際映画祭(9月8日～17日)に合わせて、映画・メディア関係者、日系・韓国系コミュニティの著名人らを招待し、レセプションを開催(財団法人日本映画海外普及協会、コリアン・フィルム・カウンスルとの共催)
17	日本語アートコンテスト	-	トロント日本文化センター	トロント	05.10.2～ 05.10.21	内田雪絵（日本語教師）が発想し、2003年度国際交流基金邦人日本語教師研修においても研究された「にほんごアート」を、オンタリオ州の初中等日本語学習者を対象に、コンテストを実施。そのコンテスト入賞者の表彰式、およびレセプションを開催
18	図書館開館10周年記念事業	-	トロント日本文化センター	トロント	05.11.24～ 05.11.24	図書館開館10周年記念事業として講演会「作家と図書館」を行なうとともに、10年の歩みをまとめた冊子「図書館利用者100人の声」を刊行し、広報目的で作成した国際交流基金新ロゴ入りトートバックをセットにして来場者に配布
19	日本研究・知的交流部 海外事務所企画開発事業	-	ブリティッシュ・コロンビア大学/セント・メリー大学	バンクーバー/ハリファックス	06.2.2～ 06.3.18	ブリティッシュ・コロンビア大学：2006年3月17、18日に開かれた、日本古典文学研究ワークショップの費用の一部を助成。セント・メリー大学：2006年2月2日に開かれた、学会とフィルム上映会の費用の一部を助成

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
20	在外助成 (Music Gallery)	Music Gallery	05.5.20～ 05.5.20	欧米在住のアジア人作曲家による現代音楽コンサート。Fujikura Dai、Hosokawa Toshioをはじめとする他4名のアジア人作曲家の作品が、Toca Locaによって演奏された。音響機材のレンタル料の一部を負担
21	在外助成 (UBC)	ブリティッシュ・コロンビア大学	05.5.26～ 05.5.28	ブリティッシュ・コロンビア大学で開催された New Interfaces for Musical Expression (NIME) 国際会議2005で、後藤英(作曲家)が招待され、講演会および演奏会を実施。同氏のパーリバンクーバー往復の旅費の一部を負担
22	在外事業 (Laurence Art)	Laurence Art	05.8.10～ 05.8.14	ケベック州ラバル市のLaurence Artが主催した、クラフトを通してケベックと日本の文化交流を図る市をあげてのアートフェスティバル「第8回Artisans Week 2005」で、日本人アーティスト7名分の宿泊費の一部を助成
23	在外助成 (Space Agency)	Space Agency	05.8.18～ 05.8.20	バンクーバーのGASTOWNで開かれた「Frontier Space」(公共の場所での建築物の期間限定展示会と3日間のアートイベント)を助成。広報費の一部を負担
24	在外助成 (Museum London)	Museum London	05.9.26～ 05.12.4	ロンドン美術館(オンタリオ州)で9月10日から12月4日まで開催された「CAMPSites」を助成。小澤ツヨシ(アーティスト)の「Ivan the Fool House(Capsule Hotel Project), 2003」が展示され、トロント日本文化センターは、その輸送費などの一部を負担
25	在外助成(モン トリオール映画 祭)	モントリオール 映画祭事務局	05.10.13～ 05.10.23	モントリオールで10日間にわたって開催されたThe Festival du Nouveau Cinema, Montrealを助成。映画『The Last Bloomer』の柴田剛(映画監督)が招待され、その5日間の滞在費を負担
26	レニソンカレッ ジ 東アジア フェスティバル	ウォータールー 大学レニソンカ レッジ	05.10.28～ 05.10.29	ウォータールー大学レニソンカレッジにおいて開催された、East Asian Festival 2005を助成
27	在外助成(トロ ント大学)	トロント大学	05.12.1～ 05.12.3	トロント大学で開催された「戦後の建築物の米国化」に関する国際的な学術会議(日本人参加者の旅費の一部を負担)
28	助成事業(ハン ナのかばん)	Hana's suitcase	06.3.9～ 06.4.23	アウシュビッツで犠牲になった少女ハンナの遺品のカバンにまつわる物語。史実を基にしたラジオドラマが、今回、トロントで初めて舞台化された(広報費の一部を負担)
29	助成事業 (Yanagida Concert)	Ms. Yanagida Soprano Committee	06.3.10～ 06.3.10	トロント在住でカナダをはじめ諸外国で活躍する柳田孝子(ソプラノ歌手)が、オタワにあるChrist Church大聖堂で地元音楽愛好家が主催したリサイタルを助成。謝金の一部を負担
30	助成事業(グ リーンティアー)	グリーンティアー	06.3.14～ 06.3.18	トロント在住の日本人ダンサーと、日本からの招へいアーティスト3名とによる合同公演(招へいアーティスト3名の渡航費と滞在費の一部を負担)

11. サンパウロ日本文化センター

合計額 121,298,212円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【展示】 「現代日本の陶磁器展」(在外事業分)	-	サンパウロ美術館	サンパウロ	05.10.2～ 05.10.30	国際交流基金所蔵の「現代日本の陶磁器展」の海外巡回展。サンパウロでは本展示「35名の作家の作品70点」に加えて、仁井キミ、サラ・カローネおよびノルマ・グリーンベルグの3名のブラジル陶芸家作家の作品を数点を展示し、小講演、展示案内を実施。ペロ・オリゾンテ/ブラジリア/マナウス/レシフェ/ベレン/マリニガ/ポルト・アレグレ/フロリアノポリス/リオデジャネイロへ巡回
2	【公演】 「ボサノバ」コンサート	ブラジル住宅博物館/ホテル・ルネッサンス/グアナバラ・レコード	ブラジル住宅博物館/ホテル・ルネッサンス・ハバナクラブ	サンパウロ	05.6.24～ 05.6.26	作曲家・ギターリストのDurval Ferreiraドルバル・フェレイラ、日本人女性歌手の小山ケイト、ピアノと、サクソ/フルートとベースとドラムスなど4 por Quatroグループの特別出演によるボサノバ追悼コンサート、「Quer coisa boa!」を実施。Sonho Meu, Corcovado, Tristeza de nos dois など名が知られている11曲の公演
3	「大田川の7本の支流」公演	セスキ商業連盟 社会サービス	セスキ・ピニエイロス	サンパウロ	05.10.1～ 05.11.6	2002年にリオデジャネイロで公開され、2003年の6月および7月サンパウロで公演した際協力した「大田川の7本の支流」の助成。カナダ演劇作家のRobert Lepage原作により、広島原爆投下をきっかけに20世紀後半をあらゆる角度から語る上演5時間の大作
4	在米日本文化専門家派遣事業・音楽コンサート	-	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.12.1～ 05.12.1	「在米日本文化専門家派遣事業」の一環であり、ニューヨークで活動するバイオリン奏者、アントワヌ・シルヴァーマンおよび音楽プロデューサー、そしてバンジョーと津軽三味線奏者の佐竹晃によるリサイタルを実施。津軽三味線、バイオリン、バンジョーという日本伝統楽器と西洋楽器の触れ合いによる音楽コンサート

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
5	「100年の孤独・ハートオブゴールド」公演	パパタラフ・マセラ/ANA全日本航空会社 /VARIG航空会社	山口情報芸術センター/世田谷パブリック・シアター/つくばカピオ・ホール	山口市/ 東京都/ 筑波市	05.12.2～ 05.12.15	日本で実施する「100年の孤独・ハートオブゴールド」公演にブラジル人アーティスト、3名を派遣。2004年7月に小池博史監督がブラジル銀行文化センターで催したワークショップで選定。今回訪日することになった。サンパウロ日本文化センターは3名の航空券の手配、ビザ関係経費等を負担
6	パパ・タラフマラ「三人姉妹」公演	セスキ商業連盟 社会サービス	SESCピニエイロス/SESCコパカバーナ	サンパウロ/ リオ・デ・ジャネイロ	06.6.17～ 06.6.22	「ダンス」、「演劇」、「美術」、「音楽」といったジャンルを越えた舞台芸術を紹介するパパ・タラフマラ劇団のブラジル公演3回目となる。今回はチェーフの作品に基づいた「三人姉妹」の公演および新作「百年の孤独」に向けてブラジル人アーティストを発掘するためのワークショップを実施。また、公演後には舞台芸術専門家のクリスティーネ・グライナー教授による講義も企画
【講演・シンポジウム】						
7	大学研究会（日本理想）	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.4.28～ 05.6.16	4月28日、5月19日および6月16日に、1998年の国際交流基金フェロープログラム参加者であったジェリコ・ロパリック（ハイデッガー専門家）によって実施された「京都学派の哲学」のイントロ講座。九鬼周造、田辺元、西田幾多郎、西谷啓治等を紹介し、西洋の視点、特にハイデッガーの概念から考察する「京都学派の哲学」に関する講座であり、最高54名、最低33名の出席者数を集めた
8	「能楽から舞踏まで・日本の舞台芸術の展望」講座	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.6.4～ 05.6.26	元国際交流基金フェローシップ、草野ダルシーおよび能楽研究者永井アンジェラによって催されたミニ講座。舞台芸術研究者、演劇関係者およびダンサーを対象としたミニ講座を実施
9	「身体芸術に見られる戦後日本の文化的考察」講座	－	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.8.8～ 05.9.26	身体と舞台芸術専門家、クリスティーネ・グライナーによるミニ講座。各テーマに関連性のあるアーティストを招待し、作品の紹介および討論の実施

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
10	「第1回世界マ スター集会」	ブラジル文化省 /ブラジル外務 省/セアラ州 文化局/ユネス コ/ブラジル文 化財保存協会	仮設会場	セアラ州 リモエイ ロ・ド・ ノルテ市	05.8.23～ 05.8.28	世界の伝統芸能、民族芸能と重要無 形文化財の継承を追及する国際集会 に、日本の能楽についての講演会、 ワークショップを実施するために、 サンパウロ日本文化センターは元 フェローで能楽研究者のアンジェラ 永井を派遣、5日間の集中講座を実 施
11	大学研究会（日 本語学・国語学）	－	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.8.30～ 05.8.31	宮島達夫（京都橘大学教授）を招き、 「世界の言語と日本語の将来」と題 した講演会（同時通訳あり）を開催。 講演会を記念し、茶道デモンスト レーションを併せて開催
12	フェロー帰国報 告文化講演会 （ルシア・ナジ ブ博士）	－	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.9.1～ 05.9.1	現在イギリス在住、英国リード大学 ワールドシネマセンター所長となっ たルシア・ナジブのフェロー帰国文 化講演会の実施。テーマは「日本映 画とエロスの操作」、大島渚、原一男、 今村昌平の作品に見られる欲望の幻 想学を紹介
13	俳句パフォーマ ンス	薔薇の家文学史 料館	日本文化セン ター多目的ホー ル/カーザ・ダ ス・ローザス	サンパウ ロ	05.10.26～ 05.10.30	サンパウロ州文化局およびパウリス タ・ヴィヴァ協会によって企画され た「パウリスタ文学通路」の一環と して俳諧講座および講演の実施。詩 人アリセ・ルイーズによる講演と俳 句ワークショップの実施
14	Manar Hammad教授 講演会	サンパウロカト リック大学・コ ミュニケーショ ンおよび記号学 部	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	05.11.24～ 05.11.24	フランスのソルボンヌ総合大学パリ III教授および建築家のマナ・ハマー デイによる茶道についての記号学的 分析をテーマとする講演。裏千家に よる懐石デモンストレーションの実 施
15	「第3回南米地 域フェロー懇談 会」	ブラジル日本研 究協会（ABEJ）	日本文化セン ター多目的ホー ル	サンパウ ロ	06.3.10～ 06.3.11	南米地域の日本研究ネットワーク構 築に向け、南米地域の国際交流基金 元フェローとブラジル日本研究者と の連帯基盤をつくり、日本研究を発 展させる趣旨で実施。基調講演、パ ネル・ディスカッション、講演会、 などで構成

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
16	「日本映画の3つの視点」(サントス)	セスキ商業連盟・サントス文化センター	セスキ・サントス劇場	サントス市	05.3.7～ 05.3.9	サンパウロ市立文化センターで実施した『日本無声映画特集』と弁士公演の追加上映の要望に答え『滝の白糸』を上映。ブラジルフィルムライブラリーから『雨上がる』と『キネマの天地』をプログラムに追加し、小規模日本映画特集を実施。活動弁士はアンジェラ・ナガイがポルトガル語で実施。生演奏にはカミーロ・カハラ(ギター)バレリア・ザイダン(打楽器)および北原タミエ(三味線)が参加
17	「アジアのニューシネマ映画特集」(カンピーナス)	サンパウロ州電々公社文化センター	サンパウロ州電々公社文化センター	カンピーナス市	05.3.8～ 05.3.12	『滝の白糸』(溝口健二監督)、『たそがれ清兵衛』(山田洋二監督)、『ハナビ』(北野武監督)、『誰も知らない』(是枝裕和監督)。オープニングには『滝の白糸』を上映。ポルトガル語による活動弁士公演を実施。生演奏としてギター、打楽器、三味線が参加
18	横浜トリエンナーレ記録映像収録	-	山下ふ頭3号、4号上屋他	横浜	05.9.28～ 05.12.18	元フェロー、レイチェル・ロザレンによる『横浜トリエンナーレ』の映像記録およびインタビュー収録のDVD作成
19	元フェロー業務委託費	-	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.10.1～ 05.11.30	無声映画特集参加作品『滝の白糸』、『生まれてはみたけれど』、『御詠次郎吉格子』、『雄呂血』の字幕翻訳を元フェローに委託して、弁士公演のための台本執筆を依頼
20	「無声映画特集」(在外事業)	サンパウロ市立文化センター/在サンパウロ総領事館	サンパウロ市立文化センター	サンパウロ	05.12.6～ 05.12.11	日本無声映画の代表作品『生まれてはみたけれど』、『雄呂血』、『滝の白糸』、『御詠次郎吉格子』、『キネマの天地』の上映会および活動弁士の伝統の話芸をポルトガル語で紹介。『滝の白糸』の上映会には永井アンジェラのポルトガル語弁士、バレリア・ザイダンの打楽器および北原タミエの琴の生演奏が実施され、『生まれてはみたけれど』では永井アンジェラのポルトガル語弁士およびギタリストのカミーロ・カハラの生演奏

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【日本語教育】					
21	公教育日本語支援事業（全国大学生）	リオデジャネイロ連邦大学/パラナ連邦大学/マリンガ州立大学/ブラジリア大学ほか	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.1.9～ 05.1.20	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加させ最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った
22	ブラジル・カラオケ日本語学習キャラバン	在ブラジル大使館、各総領事館、地方日本語教育関連団体	ブラジル日本文化協会ほか	サンパウロ/リオデジャネイロ/ブラジリア/ロンドリーナ/ポルトアレグレ/ベレン/マナウス/サルバドール	05.2.1～ 05.3.26	ブラジルで日本語を学ぶ学習者の大多数を占める中学生・高校生および大学生の若者に対し、日本の若者の歌を通じて日本語を学ぶ楽しさを伝え、現場の先生方へは歌を通じた教授活動のデモンストレーションを実施
23	大学研究会（日本語教育）	－	日本文化センター日本語講師室	サンパウロ	05.4.15～ 06.3.7	ブラジル国内の日本語教師用に、ポルトガル語・日本語によるバイリンガル日本語教育マニュアルを作成中
24	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.4.25～ 05.4.26	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（初任者レベル）を実施
25	CEL・CELEM教師研修（上級）	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.8.22～ 05.8.23	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座である日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（上級レベル）を実施
26	大学研究会（調査・出張）	－	ブラジリア大学	ブラジリア	05.9.8～ 05.9.9	ブラジリア大学にて開催された第16回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会（年1回開催）への参加
27	CEL・CELEM学生研修	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.10.15～ 05.10.16	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績の優秀な学習者を選抜して研修を行なった
28	日本語スピーチコンテスト全国大会	在サンパウロ総領事館	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ	05.11.19～ 05.11.20	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施。一部の地区大会の支援を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
29	公教育日本語支援事業（ポスターコンクール）	-	-	サンパウロ	06.10.1～ 06.10.1	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した
	【出版・広報】					
30	広報・記録事業	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	通年にわたり、マスコミ関係者、評論家、各界専門家との意見交換、広報戦略のための打ち合わせ会議
31	ホームページ管理	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ホーム・ページによる広報活動。サンパウロ日本文化センターのイベント紹介。各種国際交流基金プログラム、事業、イベント情報、図書館等をポルトガル語で紹介。URL: www.fjsp.org.br 。平成17年度（年間）アクセス回数 206,482（前年度より20%増加）。アクセス人数 136.629（前年度より17,4%増加）
32	広報業務委託費	-	-	サンパウロ	05.8.1～ 05.10.31	サンパウロ日本文化センターの広報戦略の一環として、業務を委託
	【教室事業】					
33	日本研究組織強化支援（ABEJ支援）	-	日本文化センター	サンパウロ	05.4.29～ 06.3.28	ブラジル日本研究協会（ABEJ）の研究発表フォーラム開催、ニューズレター発行およびウェブページ運営等の資金支援
34	大学研究会（日本哲学）	-	日本文化センター会議室	サンパウロ	05.9.24～ 06.3.18	1998年の国際交流基金フェロープログラム参加者ジェリコ・ロパリックが本年度第1四半期に講座を実施した後、研究会が生まれた。「臨済」などの宗教哲学に関するテーマについて研究、討論を行なった

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
35	「マワカ10周年記念DVD収録」公演	マワカ・グループ	SESC ポンペイア	サンパウロ	05.10.28～ 05.10.28	デビュー10年を迎える民俗音楽グループ・マワカのハイビジョンDVD制作援助。マワカはマグダ・プッチをリーダーとする女性歌手7名、奏者6名で構成され、様々な民俗音楽を新鋭なアレンジで表現する音楽グループとして人気を集めている。日本の音楽のうち『ほたるこい』、『ソーラン節』、『あさどや・ゆんた（沖縄民謡）』などが含まれている
36	「合気道 x ダンス」講演/ワークショップ	-	日本文化センター多目的ホール	サンパウロ	05.11.7～ 05.11.28	ダンスに合気道の応用をテーマとするワークショップ。オクヤマ・イワン（合気道講師）の指導およびレチシア・セキト（ダンサー）およびフェルナンド・リーの協力により、呼吸法のテクニックによって体内エネルギーを循環させ、ダンスに応用することをテーマとした。11月28日はその結果を発表するオープン・パフォーマンスを催した

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
37	CEL・CELEM勉強会	CEL勉強会、CELEM勉強会	05.4.1～ 06.3.31	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の州立学校日本語講座の教師に対する、日本語教育、日本語の授業やテクニックに関する勉強を行なう会。CEL(サンパウロ州)は月に一回集まり、3カ月に一回国際交流基金の講師が指導している。CELEM(パラナ州)は、年10回行なわれ、同じく3カ月に一回、国際交流基金から講師を派遣
38	日本文化事業専門家派遣事業 [能楽]	日本ブラジル文化協会	05.7.7～ 05.8.11	宝生流能楽普及訪問団（佐野萌団長）による講演、ワークショップ、デモンストレーションを中心とした活動をサンパウロ、リオ、ロンドリーナ、ベロ・オリゾンテにて実施。講演では謡や動作、演出、作法に加え能の舞台裏などを伝え、デモンストレーションでは「高砂」、「八島」、「桜川」、「猩々」が披露され、ワークショップでは仕舞いおよび謡を指導

12. マニラ事務所

合計額 19,769,069円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
	【展示】					
1	第8回アジア漫画展	アヤラランド	グリーンベルト3	マニラ	05.6.2～ 05.6.10	「生きがい」をテーマに11カ国（日本/フィリピン/インドネシア/韓国/マレーシア/ミャンマー/シンガポール/タイ/ベトナム/中国/インド）の13人、88作品を展示
2	日本人形展	マリキナ・リバーバンク/南カマリネス州/バギオ市等	リバーバンク（マリキナ）/南カマリネス州都コンプレックス/バギオコンベンションセンター	マニラ/ピリ（南カマリネス州）/バギオ	06.1.27～ 06.3.12	マニラ首都圏のマリキナ、ルソン島南東部の南カマリネス州ピリ、ルソン島北部バギオの3カ所で、巡回展「日本人形展」を開催。バギオ展は「日本フェスティバル」の一環として実施
3	J-POPショーケース	日本音楽産業振興財団/シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.18～ 06.3.4	財団法人音楽産業・文化振興財団との共催にて、J-POPのCD、DVD約40枚を視聴提供し、J-POPのポスター70枚を展示
4	バハガリ写真展	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.18～ 06.3.4	フィリピン人写真家が、日本全国を旅しながら撮影した、日本の老若男女、風景の写真展
	【公演】					
5	室伏鴻舞踏公演	フィリピン文化センター（CCP）	フィリピン文化センター（CCP）	マニラ	05.7.5	日本を代表する舞踏家・室伏鴻によるソロ公演。室伏は昨年度当地にてワークショップを開催し、今回は初のソロ公演
6	和太鼓「倭」公演	フィリピン文化センター（CCP）/フィリピン教育演劇協会（PETA）/マリキナ・リバーバンク/セブ・アヤラセンター/セブ日本人会等	フィリピン文化センター（CCP）/PETA劇場/リーバーバンク・ショッピングセンター/アヤラセンター	マニラ/マリキナ/セブ	06.1.11～ 06.1.14	日比友好年のオープニングとして、フィリピン文化センターで、塩崎恭久（外務副大臣）、ロムロ（外務大臣）等を主賓として、約1,350名の聴衆を前に公演。その後マニラで2カ所、セブでも公演
	【映画】					
7	シネマキャラバン	フィリピン大学イロイロ校	フィリピン大学イロイロ校	イロイロ	05.8.11～ 05.8.12	フィリピン中部ビザヤ地方の中核都市であるイロイロにて、『ウォーター・ボーイズ』、『ジュブナイル』を上映

海外事務所

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
8	日本映画祭 「J-Horror」	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート	マニラ	05.8.31～ 05.9.25	「映画祭J-horror」と題し、『雨月物語』、『怪談』、『四谷怪談』といったクラシック作品から、『回路』、『富江 Re-birth』といった新作まで、ホラー映画7作品を上映
9	日本映画祭 「J-Teens」	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート/バギオ市	シャングリラ・プラザ/フィリピン文化センター (CCP) / フィリピン大学フィルムインスティテュート/バギオ コンベンションセンター/フィリピン大学アジアセンター	マニラ/ バギオ	06.2.15～ 06.3.26	『はつ恋』、『ウォーターボーイズ』、『ごめん』、『つぐみ』など、10代の青春を扱った映画8作品を上映
【日本語教育】						
10	通信講座	－	マニラ事務所	フィリピン各地	05.6～ 05.12	フィリピン国内の遠隔地の高等教育機関の日本語教師10名を対象に、日本語力の維持・向上に資するため、「初級文法総復習」の通信講座を実施
11	日本語教育研究コース	－	マニラ事務所	マニラ	05.9.3～ 05.12.17	日本語能力試験2級以上の日本語教師を中心とする9名を対象に、「実践に生かせる日本語学入門」をテーマとする研究コースを実施
12	第2回日本語教師フォーラム	－	JICAフィリピン事務所	マニラ	05.11.4～ 05.11.5	フィリピンの日本語教育研究振興と教師ネットワーク形成促進を目的とした「第2回フィリピン日本語教師フォーラム」開催。上田和子（関西交際センター専門員）等が発表
13	ニューズレター 『みりえんだ』	－	－	マニラ	－	年3回発行、1,500部。マニラ事務所日本語教育事業、日本語を活かして活躍中のフィリピン人、フィリピン国内の日本語教育機関などを紹介
14	月例日本語教育研究交流会	－	マニラ事務所	マニラ	－	日本語教育関係者を対象に、日本語教育およびその周辺領域の講師による研究発表、情報シェアを行なった。基本的に毎月1回開催

	事業名	共催者	会場	市	期間	内容
15	【出版・広報】 ニューズレター 『SUKI』	-	-	-	-	『SUKI』というタイトルで、年3回、各4,000部発行。マニラ事務所、ならびに国際交流基金の主催・助成事業の紹介
16	【その他】 PETA（国際交流基金賞）レセプション	-	ペニンシュラホテル	マニラ	05.10.21～ 05.10.21	国際交流基金賞創設以来、フィリピンで初めて国際交流基金奨励賞を受賞したフィリピン教育演劇協会（PETA）の受賞を記念するレセプションを開催
17	【本部受入事業】 能楽ワークショップ（梅若猶彦）	フィリピン大学国際研究センター	フィリピン大学国際研究センター	マニラ	05.8～ 05.9	観世流シテ方の梅若猶彦による集中講義、ワークショップおよび同氏脚本・演出による現代演劇公演「Unravel Noh」を実施
18	コア・オブ・ソウル公演	シャングリラ・プラザ	シャングリラ・プラザ	マニラ	06.2.23～ 06.2.27	日本のJ-POPグループ、コア・オブ・ソウル（COS）と、フィリピンの人気POP歌手3組（キッチャー・ナダル/バービー・アルマルビス/ハール）とのジョイントコンサート

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
19	【助成事業】 日本研究・知的交流小規模助成	アテネオ・アジア研究センター他	05.4.1～ 06.3.31	アテネオ・アジア研究センター、フィリピン大学ビサヤ校、フィリピン大学国際研究センター（2件）、アジア助成財団会議（CAFO）の実施する国際会議等5件に対し、経費を一部助成

13. ニューデリー事務所

合計額 117,211,520円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	英語落語公演	カタ/スピック・マッケイ	サンスクリティ・スクール/アビマンチ・オーデトリウム/インディア・ハビタット・センター	ニューデリー	05.9.2～ 05.9.3	大島希巳江率いる英語落語グループによるデリー・クアラルンプール・ブルネイ海外巡回公演。国際交流基金助成事業。デリーでは、NGO団体カタ、およびスピック・マッケイと共催して2日間で3回の公演を実施。私立中高一貫校サンスクリティ・スクールでは同校生徒を対象に、他の2回は一般市民を対象とした。インドで初めての落語公演
2	雅楽公演	在インド大使館/デリー日本山妙法寺	シュリラムセンター	デリー	05.11.10～ 05.11.10	京都の音輪会による雅楽のデリー公演。国際交流基金助成事業で現地受入団体は在インド大使館およびニューデリー事務所。11月デリー日本文化月間のオープニングイベントとして9日に大使公邸にて演奏。10日には市内のシュリラムセンター劇場で約1時間半の公演を行ない、管弦演奏、舞楽演奏、および楽器を紹介。音輪会の訪印人数は27名
3	福村芳一指揮者 デリーシンフォニーコンサート	デリー・シンフォニー・ソサエティ/在インド大使館/ホテル・ニッコー・ニューデリー/須田	サイ・インターナショナル	デリー	05.11.21～ 05.12.1	11月デリー日本文化月間のイベントで、福村芳一（指揮者）によるデリー・シンフォニー・オーケストラ公演。国際交流基金助成事業。ニューデリー事務所は公演の広報を担当。訪印した指導者は福村のほか、久保田洋（コントラバス奏者）、ポール・カールソン（バイオリン奏者）で合計3名
4	乙女文楽公演	日本人学校/スピック・マッケイ	デリー日本人学校/ヴァサント・ヴァリー・スクール	ニューデリー	06.1.16～ 06.1.19	現代人形劇センター・ひとみ座による乙女文楽デリー公演。同劇団が1月のデリー人形劇フェスティバルに招へい参加のため訪印した機会をとらえ、フェスティバルとは別途、ニューデリー事務所では2回の公演をアレンジ。日本人学校、スピック・マッケイとの共催

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
5	バンガロール大学出張講演会	バンガロール大学日本語講座	バンガロール大学	バンガロール	05.10.22～ 05.10.22	バンガロール大学を会場として日本研究に関する講演会を実施。講演者はデリー訪印中の桑島昭（ジャワハルラル・ネルー大学客員教授）（国際交流基金短期客員教授派遣事業）。講演タイトルは「マイソール藩王国と日本の近代史を比較して」。日本語で講義しながら主要部分は講演者が英語で繰り返し、英語資料はそのままの形で紹介
6	日本研究セミナー（Dr.Sudhir Mishra）	－	ニューデリー事務所	ニューデリー	06.2.27～ 06.2.27	スディール・ミシュラ（一橋大学に留学中）を講師に招いた日本研究セミナー。題目は「日印の政権政党の比較」で、インドの国民会議派と、日本の自民党のあいだの比較研究発表
7	日本研究・知的交流企画開発事業：南アジアのイスラム研究	－	ニューデリー事務所	ニューデリー	06.3.4～ 06.3.4	2002年度から続く、今回で第4回目となるセミナー。1回目、2回目はインド人研究者、3回目は日本から宮田律（静岡県立大学助教授）を招いたが、今回はバングラデシュからのスピーカーを含む3名の研究者により、インドおよび南アジアにおけるイスラムに関する発表を実施。発表者3名は、Asgar Ali Engineer、Hassanuzzaman Chaudhary、Partha S. Ghosh
	【日本語教育】					
8	日本語教育アドバイザー	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	インドの日本語教育の発展のため、日本語教育アドバイザーによる以下の協力支援を実施。①教師間ネットワークの支援。②インド人日本語教師の育成支援。③公教育における日本語教育に対する支援。④その他情報収集およびコンサルティング。平成17年度は、従来のデリー駐在2名体制から1名増の3名となり、北インドアドバイザー2名（ニューデリー事務所駐在）、南インドアドバイザー1名（バンガロール大学駐在）の体制へ増強された

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
9	ウェブサイト運営	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューデリー事務所ウェブサイトは平成16年度に開設され、平成17年度も引き続きインターネットを通じた国際交流基金事業の広報に努めた
10	ブレティン	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューデリー事務所広報誌。変形A4サイズ。平成17年度は年2回発行。ニューデリー事務所メーリングリストを中心に約3,000名に無料配布
11	記者懇談会	-	ニューデリー事務所	ニューデリー	05.10.28～ 05.10.28	メディアに対し国際交流基金事業を周知させ、各新聞・テレビ等での報道の機会の促進を目的に、平成17年度は1回のプレスリリースを実施
	【その他】					
12	日本研究・知的交流企画開発事業：案件発掘・視察評価・フォローアップ出張	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	企画開発型助成事業の形成・促進のため地方および周辺諸国へ視察出張を実施。平成17年度はブータン2回、ウジャイン、チャンディガルの出張4件を実施
13	日本研究・知的交流企画開発事業：公募助成案件コンサルタント	-	-	-	05.12.1～ 06.3.31	平成16年度日本研究知的交流部企画開発助成事業公募申請案件のうち13件について、インド人専門家にそれぞれの申請プロジェクトの妥当性について審査コメントを依頼

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
14	Gallery Anayas (在外助成)	Gallery Anayas	05.8.6～ 05.8.12	「ヒロシマ・ネバー・アゲイン」と題する展覧会。ギャラリー・アナヤス主催。スニート・チョプラのキュレーション。会場はアルパナ・ギャラリー。核の悲惨さを伝えることを目的に、インドの画家77名各1点ずつの展示。展示カタログも併せて制作。ニューデリー事務所は、カタログ制作費を助成。8月6日原爆の日に合わせて開催され、オープニング・セレモニーには約100名の関係者および一般市民が集まった
15	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成（ギータ・レディ・アナンド准教授）	ギータ・レディ・アナンド准教授	05.8.17～ 05.8.31	2005年8月20日から28日に立教大学（池袋）を会場として開催された「The IGU Commission on Monitoring Cities of Tomorrow, Tokyo Conference」に、Geetha Reddy Anantオスマニア大学インド洋研究所准教授（地理学）が発表者の一人として参加。ニューデリー事務所は、同准の国際航空賃の一部を助成。発表テーマは、「Urban Infrastructure: Demand for Functional Efficiency」

	事業名	助成対象団体	期間	内容
16	Nihongo Center (在外助成)	Nihongo Center	05.9.10～ 05.9.10	日本語学校であるNihongo Centerの主催による日印交流イベント。会場はニューデリー事務所。駐在日本人によるピアノ弾き語り演奏のほか、インド人役者による一人芝居、参加者による日本語とヒンディー語の歌、のプログラムが行なわれた
17	Japan Habba (在外助成)	バンガロール大学外国語学科	05.9.21～ 05.9.21	バンガロール大学外国語学部主催、ニューデリー事務所を含む26法人・個人の助成による日印交流イベント。9月21日(水)の一日間。訪印中の東京外国語大学ウルドゥー語劇、大阪外国語大学ヒンディー語劇のバンガロール巡回公演のほか、日本語を学ぶインド人およびバンガロール在住の日本人の合同で、盆踊り、折り紙、剣玉、活花、日本語劇、歌、など多数のプログラムを実施
18	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成(カムラ・カント・アスタナ氏)	カムラ・カント・アスタナ	05.9.27～ 05.9.29	2005年9月27日から29日に国土交通省の主催で開催された「2005サステナブル建築世界会議東京大会」に、Kamla Kant Asthana(建築家)が発表者の一人として参加。ニューデリー事務所は、同氏の国際航空賃の一部を助成。発表テーマは、「The Indian Experience」
19	パネル・シアター・キャラバン(在外助成)	International Institute of Perfect Arts (IIPA)	05.11.14～ 05.11.18	トゥウインクル(メンバー3名)によるパネル劇およびハーブ演奏。11月デリー日本文化月間のイベント。IIPA主催、ニューデリー事務所助成によりデリー、チャンディガル他合計4都市を巡回公演。デリー(11月14日)ではニューデリー事務所を会場に実施
20	国際日本文学セミナー(Indo Japan Association for Liter) (在外助成)	デリー大学東アジア研究科/国文学資料館	05.11.18～ 05.11.19	日本文学に関する日印双方の研究者のセミナー。デリー大学、国文学資料館の共催で11月18日、19日の2日間にわたり実施。11月デリー日本文化月間のイベント。会場はサヒティヤアカデミーおよびインド工科大学。出席した主な研究者は日本側は伊藤鉄也、青田寿美、インド側はウニタ・サチダナンダほか多数
21	日本語劇(Indo Japan Association for Literature) (在外助成)	デリー大学日本語学科	05.11.19～ 05.11.19	デリー大学日本語学科の学生による日本語劇公演。11月デリー日本文化月間の行事のひとつ。会場はインド工科大学講堂。演目は3つで『ねずみの嫁入り』、『ヒロシマのピカ』、『山姥の錦』
22	Ikebana International Gurgaon Chapter #255 (在外助成)	Ikebana International Gurgaon Chapter #255	06.1.7～ 06.1.7	池坊、草月、大原の各流派の合同の活花展示会。デリー郊外のグルガオンで実施。インド人の制作による活花の紹介
23	バンガロールスピーチコンテスト(在外助成)	バンガロール大学日本語講座	06.2.5～ 06.2.5	バンガロールで行なわれた初の日本語スピーチコンテスト。ニューデリー事務所は、スピーチ出場参加者旅費の一部を助成
24	日本研究・知的交流企画開発事業：小規模助成(Attakkalari)	Attakkalari	06.3.6～ 06.3.18	2006年3月6日から18日にダンス・アンド・メディア・ジャパンの主催により東京と京都で開催された「ダンス・アンド・メディア2006」および「ムービング・ワークショップ」に、Jayachandran Palazhy(アタッカラリ代表)が出演参加。ニューデリー事務所は、同氏の国際航空賃の一部を助成

14. ニューヨーク事務所

合計額 97,611,119円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【公演】					
1	The Flight of the Moon	Goethe-Institut New York	ニューヨーク・ドイツ文化会館	ニューヨーク	05.4.28～ 05.4.28	ニューヨークのゲーテ・インスティトゥートと共催し、ハンブルク在住の多和田葉子（芥川賞作家）のゲーテメダル受章を記念し、ベルリン在住の高瀬アキ（ジャズピアニスト）とのデュオによる「音と言葉」に関するパフォーマンスを実施。「日本におけるドイツ年」開幕および国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートとの国際提携関係締結を記念する事業としても位置付けた
2	Katsui-Yamamoto-Kabusacki: Improvisational Music	Consulate General of Argentina in New York	在ニューヨーク・アルゼンチン総領事館	ニューヨーク	05.5.27～ 05.5.27	在ニューヨークのアルゼンチン総領事館と共催し、アルゼンチン音響派の中心人物、フェルナンド・カブサッキ（ギター）、日本を代表する前衛即興音楽家の勝井祐二（ヴァイオリン）、山本精一（ギター）の3名を迎え、「インプロヴィゼーション音楽の夕べ」と題する無料コンサートを実施
3	在米日本専門家中南米派遣事業（大竹史朗/フォルクローレ・ギター）	在ペルー大使館	カントリークラブビジャ/日秘文化会館/国立音楽学校	リマ	05.11.2～ 05.11.9	在ペルー大使館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く大竹史朗（フォルクローレ・ギター奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった
4	在米日本専門家中南米派遣事業（三村奈々恵/マリンバ）	在ホンジュラス大使館/在パナマ大使館	サイベ劇場（サンペドロスーラ）/国立劇場（テグシガルバ）/国立劇場（パナマシティ）	サンペドロスーラ /テグシガルバ/パナマシティ	05.11.7～ 05.11.17	在ホンジュラス大使館および在パナマ大使館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く三村奈々恵（マリンバ奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった
5	在米日本専門家中南米派遣事業（佐竹晃/バンジョー・津軽三味線）	在レシフェ総領事館/在ベレン総領事館/サンパウロ日本文化センター	サント・アレシャンドレ教会（ベレン）/レシフェ日本文化協会/レシフェ旧市街ボン・ジェズ通り日本市会場/バイア連邦大学/サンパウロ日本文化センター	ベレン/レシフェ/サルヴァドール/サンパウロ	05.11.21～ 05.12.4	在ベレン総領事館および在レシフェ総領事館からの要請に基づき、米国に活動拠点を置く佐竹晃（バンジョー・津軽三味線奏者）とアントワース・シルヴァーマン（ヴァイオリン奏者）を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
6	在米日本専門家 中南米派遣事業 (伊藤さちよ舞 踊団/日本舞踊)	在チリ大使館/ 在アルゼンチン 大使館/在パラ グアイ大使館/ 在ウルグアイ大 使館	サンチャゴ大学 /アルゼンチン 沖縄県人連合会 /パラグアイ・ 日本・人造りセ ンター/国立ソ ドレ劇場(モン テヴィデオ)	サンチャ ゴ/ブエ ノスアイ レス/ア スンシオ ン/モン テヴィデ オ	05.11.28～ 05.12.9	チリ、アルゼンチン、パラグライ、 ウルグアイの各大使館からの要請に 基づき、米国に活動拠点を置く伊藤 さちよ舞踊団(日本舞踊・琉球舞踊) を派遣し、公演およびレクチャー・ デモンストレーションを行なった
7	【講演・シンポジウム】 米国日本研究図 書館等情報専門 家会議(NCC連 絡協議会)開催	NCC(北米日本 研究資料調整評 議会)	ミシガン大学/ 米国議会図書館	アナー バー/ワ シントン DC	05.9.16～ 06.1.14	本年度開催された2回のNCCの連絡 協議会に協力した。米国における日 本研究図書館等情報専門家が、日 本研究者の参加も仰ぎつつ、日本研 究図書館の置かれている現状と課題を 報告・検討するとともに、それに対 する各種方策を討議するというも の。なお、第2回目の会議に際して は、平成18年度図書寄贈プログラム 事前審査会も併せて実施
8	【映画】 日本映画紹介プ ロジェクト	国際観光振興機 構/ジャパンソ サエティ/フィ ルムフォーラム /リンカーンセ ンター /MoMA/BAM ほか	リンカーンセン ター/ジャパ ンソサエティ/ フィルムフォー ラム/ニュー ヨーク近代美術 館/ブルックリ ン音楽アカデ ミー	ニュー ヨーク	05.8.1～ 06.3.31	2005年秋から2006年冬にかけて ニューヨーク近代美術館、リンカー ンセンター、フィルムフォーラム、 ジャパンソサエティの4つの主要な 文化機関において日本映画の連続上 映会が実施された機会を利用して以 下の方法により日本映画の総合的な 紹介を実施。その後、ブルックリン 音楽アカデミーでの日本映画特集も 紹介。なお、実施にあたっては上記 5機関のほか、ニューヨーク総領事 館と国際観光振興機構の協力を得 た。 ①広報用ポストカードの作成・配布 ②専用ウェブサイトの設置 ③雑誌およびウェブサイトへの広告 掲載

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	中西部大学巡回映画祭	イリノイ大学/ ボール州立大学/ カンザス大学/ ウィスコンシン 大学/セントオ ラフ大学	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペーン校構内 劇場/ボール州 立大学Pruis Hall/カンザス 大Woodruff Auditorium劇 場/ウィスコン シン大学マディ ソン校シネマ テーク/サウス ゲート・シネマ	アーバナ /マン シー/ ローレン ス/マ ディソン /ノース フィール ド	06.2.1～ 06.3.7	日本映画を上映する機会の少ない中西部の地方都市の大学において、日本文化紹介のために映画上映会を実施する。本年度は、中西部の5大学を会場に、現代の日本を様々な角度から取り扱った比較的新しい4つの作品(『Nobody Knows』/『顔』/『GO』/『アカルイミライ』)を上映
【出版・広報】						
10	ウェブサイト運営	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューヨーク事務所の概要、公募プログラムの案内、ニューズレター電子版等を掲載。使用言語は英語。電子メール (info@jfnny.org) による各種照会にも対応。URLは http://www.jfnny.org。本年度は、秋から冬にかけてニューヨークで開催された日本映画特集を専用に紹介するページをサイト内に設置し、特集終了後は、ニューヨークでの日本映画上映情報を定期的に紹介するページにリニューアルした
11	ニューズレター発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ニューヨーク事務所のニューズレター“Bridges”(年2回発行/カラー印刷/4,000部作成)を発行。米国において国際交流基金が主催または助成する各種事業を、国際交流基金事業に必ずしも馴染みのない大学・研究機関、文化・芸術団体の関係者に向けて分かりやすく広報することを主眼とした
12	NCC日本情報提供事業協力	NCC(北米日本研究資料調整評議会)	-	-	05.4.1～ 06.3.31	NCC(北米日本研究資料調整評議会)の活動の一環である、ニューズレターの発行(年2回)およびホームページにおける図書資料関係の情報提供事業に対し協力
13	短期フェロースhip紹介小冊子作成	-	-	-	06.3.1～ 06.3.31	プログラム開始後4年を経過した日本研究短期フェロースhipに関し、その成果を米国の日本研究者に広報するため、元フェロース3名によるエッセイと過去の受賞者一覧からなる小冊子を作成し、米国アジア学会(AAS)年次総会において配布

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【その他】					
14	米国における日本研究関連団体活動実態調査	-	ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS/米国議会図書館 /Asilomar Conference Center/米国議会図書館/マリオット・ホテル	ワシントンDC/モントレー/サンフランシスコ	05.4.1～ 06.3.31	以下の5つの会議に参加し、活動実態調査を実施。 (1) 日本研究セミナー「Washington and Southeast Regional Seminar Spring Meeting 2005」 (2) 「Mirror of Tree, Mirror of Field: a Celebration of the Life and Music of Toru Takemitsu」 (平成17年度日本研究会議等助成案件) (3) 「SSRC Dissertation Conference」(平成17年度日本研究会議等助成案件) (4) 米国日本研究図書館等情報専門家会議(NCC連絡協議会)(日本研究企画開発事業案件) (5) 第58回全米アジア学会年次総会(日本研究企画開発事業案件)
15	博士論文フェローシップ調査	-	-	-	06.2.1～ 06.3.31	例年、米国における博士論文執筆者招へいフェローシップの辞退者が多いこと背景を探り、同フェローシップの改善に資するため、過去の正候補者および補欠候補者を対象とするアンケート調査ならびに日米両国の他機関が提供する同種のフェローシップとの比較調査を実施
16	南部日本研究調査	-	マイアミ国際大学	マイアミ	06.3.1～ 06.3.31	国際交流基金および在米大使館が対米日本研究方針として打ち出している南部重視の方針に対応すべく、南部地域の日本研究の現状と今後の課題、およびそれへの対応策に関する調査を行なった。南部地域の大学等に所属する日本研究者を対象にE-mailによるアンケート調査を行ない、その回答および電話調査によるフォローアップをまとめて報告書を作成。関連して、3月4日にマイアミ国際大学で開催される南部地域の本研究会議Southern Japan Seminarにおいて、南部の日本研究の現状と将来に関するセッション(2名が発表、その後質疑応答)を実施
17	第58回全米アジア学会年次総会でのフェロー懇親会開催	-	マリオット・ホテル	サンフランシスコ	06.3.15～ 06.3.31	第58回米国アジア学会(AAS)年次総会において、国際交流基金事業の広報と日本研究関係者との人脈維持・形成を目的としてフェロー懇親会を兼ねたレセプションを開催

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
18	Nichibei Social Luncheon Speakers Series	Japan America Society of Greater Cincinnati	05.5.25～ 05.5.25	オハイオ州シンシナティのHilton Netherland Plazaにおいて、シンシナティ日米協会の主催により、Thomas Foley（前駐日米国大使）の講演会を実施
19	US Sumo Federation National Championship	United States Sumo Federation	05.6.4～ 05.6.4	米国相撲連盟の主催による全米相撲選手権大会（2005年10月に大阪で開催される2005年世界相撲選手権大会の米国予選を兼ねる）をニュージャージー州ノースバーゲン市で開催。男子の部では、全米9州から25名の選手が参加し、軽量級、中量級、重量級、無差別級の4クラスで争われた。女子の部では、6選手が参加し、軽量級、中量級、重量級でそれぞれ世界選手権への代表が選考された。また、35歳以上のマスター・クラスにも16名の参加があった
20	Minnesota 2005 Bon Odori	Japan America Society of Minnesota	05.7.1～ 05.8.21	ミネソタ日米協会の主催により、ミネソタ州セントポールで毎年行なわれる灯籠流しフェスティバルにあわせて、日米両国の市民による盆踊り大会を開催
21	Linguistic Theory and the Japanese Language	Massachusetts Institute of Technology	05.7.30～ 05.7.31	アメリカ言語学協会が主催するサマーインスティテュートに会場提供校であるマサチューセッツ工科大学が日本の言語学者を招き、「言語学理論と日本語」をテーマに発表と討議を行なった
22	HOWL DANCE at How! Festival 2005	LA LUTTA NMC	05.8.11～ 05.8.28	ニューヨークのイーストヴィレッジで毎年夏に開かれる「ハウル！フェスティバル」に日本の若手舞踊家・振付家、池田素子が招かれ、在ニューヨークの舞踊家・振付家、中馬芳子率いるスクール・オヴ・ハードノックスのメンバーとともに「INSIDE/OUTSIDE」を共演
23	Tokyo Nostalgia	The Field (Theatre Arts Japan)	05.8.13～ 05.8.27	在ニューヨークの演劇集団「シアター・アーツ・ジャパン」がニューヨーク国際フリンジフェスティバルに参加し、岸田國士の作品の連続公演を行なった
24	Harmony with Nature: Ai-zome Textiles from Japan	Emory University	05.9.1～ 05.10.28	八柳隆秋（染色作家）と田村康之（陶芸作家）の二人展「自然との調和－日本の藍染め」をジョージア州アトランタのエモリー大学図書館ギャラリーで開催
25	Ensemble N_JP	Lake Forest College	05.9.17～ 05.9.22	ジーン・コールマン（作曲家/クラリネット奏者）が京都の街並みに着想を得て制作した音楽・映像作品「Kyoto In_Ex」を、日米の演奏家によって構成される「アンサンブルN_JP」がシカゴ・ワールドミュージック・フェスティバル（シカゴ文化センター）とサウンドフィールド2005フェスティバル（レイクフォレスト大学）で演奏

	事業名	助成対象団体	期間	内容
26	From Japan to America: The Washi Works	American Museum of Papermaking at Georgia Tech	05.9.19～ 06.3.29	ジョージア工科大学アメリカ製紙博物館において、日本を代表する和紙アーティストである伊部京子を招き、新作の制作と展示を行なった
27	CulturFest 2005	Cultural Diversity Network of Steele County	05.9.24～ 05.9.24	ミネソタ州オワトナの非営利団体「スティール郡多元的文化ネットワーク」が文化交流フェスティバルを開催、在ミネアポリスの太鼓演奏グループ「古言太鼓」が参加
28	JapanFest 2005	Japanese Chamber of Commerce of Georgia	05.9.24～ 05.9.25	ジョージア日米協会とジョージア日本商工会議所の共催により、アトランタ市内のストーン・マウンテン・パークで日本文化祭を開催
29	Columbia University Seminar, Modern East Asia: Japan	Columbia University	05.10.14～ 06.5.12	コロンビア大学の外部向けセミナーの一環として、近現代の日本をテーマにした毎月1回、計7回の連続セミナーを実施。セミナーのテーマは以下のとおり "Pathways to Reconciliation: Eleanor Roosevelt and Japan, 1953" "Repaying Evil with Kindness: Nationalist Generals and Japan during the Early Cold War" "Japan and the League of Nations" "The Japanese American Experience of Internment to Redness: Racism, Resilience and Social Action" "Anal Fistulas, Dyspepsia, Enemas and other Alimentary Issues in the Work of Natsume Soseki" "Rethinking Disability and Social Welfare Policy in Japan and the United States" "The Formation of Medieval Japanese Town and the Rise of Kamakura New Buddhism"
30	Splitting the Night Sky	Danspace Project	05.10.28～ 05.10.30	マレーシア出身の振付家ジョイス・リムの新作「splitting the night sky」に日本から2名のダンサー（JOU/高橋沙織）が参加し、公演を行なった
31	Five Friends from Japan: Children in Japan Today	The Children's Museum of Kansas City	05.11.19～ 06.2.10	現代日本の子供の暮らしを紹介する「日本の五人の友達」展（ボストン子供美術館とワシントン子供美術館の共同制作）をカンザスシティ子供美術館において開催
32	Yutaka Sone: Forecast Snow	The Renaissance Society, University of Chicago	06.1.29～ 06.4.9	シカゴ大学ルネサンス協会においてロサンゼルス在住の現代美術作家、曾根裕の雪の結晶をテーマとするインスタレーション展を開催
33	Visiting Lecturer on Japan/Asian Contemporary Art	New Jersey City University Foundation	06.2.20～ 06.2.25	福岡アジア美術館の主任学芸員として国際的に活躍している黒田雷児を招き、ニュージャージー市立大学で特別講義を行なうとともに、ボストンのHaynes Convention Centerで開催されたアメリカ美術史学会年次大会にパネリスト他として参加した。また、マサチューセッツ工科大学のList Visual Arts Centerおよびコーネル大学でも講演を行なった

海外事務所

	事業名	助成対象団体	期間	内容
34	Thousand Years Waiting	Crossing Jamaica Avenue	06.2.23～ 06.03.12	乙女文楽の第一人者、桐竹繭紗也を迎え、在ニューヨークの劇団「クロッシング・ジャマイカ・アヴェニュー」が源氏物語と更級日記に着想を得たチオリ・ミヤガワのオリジナル作品「千年待ち」を上演
35	The 3rd Annual Asian Cultural Experience Festival	Valdosta Asian Cultural Association	06.3.3～ 06.3.4	ジョージア州ヴァルドスタの非営利団体「アジア文化協会」がアジア文化体験フェスティバルを開催、日本の伝統的な結婚式のデモンストレーションを行なった
36	The Body Breaks: Butoh, Breakdancing and Beyond	Links Hall	06.3.3～ 06.3.26	シカゴ在住の舞踏家、ニコール・レゲットの監修により、1カ月にわたり舞踏フェスティバルを開催。吉岡由美子（ドイツ）、ディエゴ・ピニョン（メキシコ）といった外国で活躍する舞踏家から地元イリノイ州に活動拠点を置く振付家まで、幅広いアーティストが参加。ワークショップやシンポジウムなども実施
37	Flying West to Go East: A Photographic Diary	New York City Opera	06.3.16～ 06.4.13	ニューヨーク・シティ・オペラの愛知万博参加の様相を撮影した写真パネル（撮影：ジョー・マクナリー）をニューヨーク州立劇場内に展示
38	Ninth Annual Student/Teacher Symposium	Seton Hall University	06.3.31～ 06.3.31	大学院生と中高の教師達が参加し、発表する日本研究シンポジウムをシートンホール大学で開催。当日は4つに分かれたパネルでの発表とともに、①および②を実施した。 ① 日本語/多文化教育優秀賞授与式、日本週間優秀賞授与式 ② Hofstra大学のDavid Flynn教授によるシンポジウム基調講演 "Innovation in Japan and Other Selected Industrial Societies"

15. ロサンゼルス事務所

合計額 81,427,520円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
1	【公演】 文化芸術主催事業（日本の遊び：事始め）	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	06.1.8～ 06.1.8	日本の「遊び」をテーマに琴・尺八・津軽三味線・書家・弓道家・ウード奏者のコラボレーションにより新年を寿ぐパフォーマンスを行なった

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
2	日本語教育シンポジウム	AATJ/ATJ/NCJLT	Wyndham Baltimore Hotel	バルチモア	05.11.20～ 05.11.20	全米レベルでの教師間の情報交換およびネットワーク拡充、各州における教育環境の向上を目的に、全米各地の日本語教師会代表者を集め議論を行なった。「Vision for the Future - Don't let our ship sink!」と題し、米国における日本語教育の現状と今後の展望を考察し、各地の代表者による活発な議論を行なった
	【映画】					
3	文化芸術主催事業（日本の遊び: 芸者の世界）	日米文化会館	アラタニ日米劇場	ロサンゼルス	05.12.18～ 05.12.18	ハリウッド映画の公開により米国人の日本の芸者文化に対する関心が高まる機会を捉え、アンドリュー・マスキー（芸者をテーマとした展覧会を手がけた米国人学芸員）による講義、溝口健二監督作品『祇園囃子』の上映会および京都ポスター展を開催
	【日本語教育】					
4	夏期日本語ワークショップ	AATJ/フロリダ日本語教師会	オンライン研修/フロリダ国際大学	マイアミ	05.6.12～ 05.7.2	初中等から高等教育まで全てのレベルから11人の日本語教師を集め、AP日本語導入により一層重要性が高まりつつある縦の繋がり（Articulation）を意識した教師養成ワークショップを行なった。講師は當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）とロサンゼルス事務所の専任講師
5	コンサル委員会	国際交流基金	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	06.1.14～ 06.1.14	ロサンゼルス事務所における平成18年度日本語関係プログラムの予備審査として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催
6	定期刊行物記事用取材プロジェクト	ロサンゼルス各地	－	ロサンゼルス	06.2.27～ 06.3.31	日米間を繋ぐ架け橋となる人物を選んでインタビューを行なった。日本と関わりがあり、日米間の友好を支援する交流活動を行なった人物4名を取材

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
7	日本語ニュースレター発行「Wahoo!」	—	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.4.1～ 06.3.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象とする日本語学習誌。日本文化紹介とゲームを含んだ自習用日本語練習問題から構成されている。中学・高校に加えて全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより配布
8	ニュースレター発行「Breeze」	—	ロサンゼルス事務所	ロサンゼルス	05.4.1～ 06.3.31	日本語教師を対象とした日本語教育情報誌。全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情を調査、報告。本年度は第32号を発行し、オンラインにより配布
	【その他】					
9	所長交代レセプション	—	日米文化会館	ロサンゼルス	05.6.17～ 05.6.17	ロサンゼルス事務所の新所長就任レセプションを開催
10	キュレーター会議	—	日米文化会館	ロサンゼルス	06.3.28～ 06.3.30	米国各地の有力な美術館の学芸員が集まり、美術館が抱える課題とその解決方法について意見交換を行なった

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
11	日本語教育ミニグラント(第17回中西部日本語教師学会)	オハイオ州立大学東アジア言語文学科	05.4.15～ 05.4.16	日本への語学留学を主要テーマに様々な問題点・疑問点を多角的に考察。3名のキーノートスピーカーによる基調講演の後、活発な質疑応答が行なわれた
12	文化・芸術ミニグラント(Japan In Europe)	オレゴン大学アジア研究センター	05.4.26～ 05.4.26	多和田葉子(小説家)と高瀬アキ(ジャズピアニスト)による前衛的なピアノ演奏と朗読のパフォーマンスを開催。また、同大学ドイツ研究の授業に多和田が参加し、講演も行なわれた
13	文化・芸術ミニグラント(Evening of Classical Narrative song)	クラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所	05.5.7～ 05.5.7	カリフォルニア州ハンフォード市にあるクラーク財団ルース・アンド・シャーマン・リー日本美術研究所の主催による浄瑠璃新内節公演。日本から人間国宝の十一世鶴賀若狭掾を招いて一般公開のレクチャーとデモンストレーション形式の公演を行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
14	日本語教育ミニ グラント(第15 回中部大西洋岸 日本語教育ワー クショップ)	Elizabethtown College/ペンシ ルバニア	05.5.14～ 05.5.15	インディアナ大学のワット伊藤康子を講師に招き、「Preventing Attrition, Promoting Motivation」と題してアニメやパワーポイント等の視覚を利用した日本語教育についてのワークショップを開催
15	日本語教育ミニ グラント(第10 回ニューイング ランド北東部日 本語教師会会 議)	ニューイングラ ンド北東部日本 語教師会 (NECTJ)	05.5.21～ 05.5.21	「AP Japanese の開発と今度の動き」、「K-16の一貫教育の必要性」、「CBIに基づいた学習環境作り」、「語学学習に日本文化体験を融合した授業の進め方」、「交換留学プログラムの進め方」など、実践に役立つ情報が様々な角度から紹介
16	日本語教育ミニ グラント (Murray学区 日本語教育準備 プロジェクト)	Murray Independent School District	05.6.26～ 05.6.30	初めての日本語講座が開設されることとなったマレー独立学区の担当講師が既に日本語講座を行なっている他の学校区にある学校を訪問し、今後の授業に活かせる情報(カリキュラム/クラス運営/使用教材等)や助言を受けた。また、ケンタッキー日米協会を訪問し、日本語教育に関する有益な情報を得た
17	日本語教育ミニ グラント(ハワ イ日本語教師会 ワークショップ)	ハワイ日本語教 師会(HATJ)	05.7.9～ 05.7.9	ハワイ州での教師会活動はここ数年休止していたため、その再活性化に向けて、今後行なう活動について教師会メンバーで検討を行なうと共に、AP日本語に関する最新情報を共有
18	文化芸術ミニグ ラント(サムラ イ・フィルム・ フェスティバル)	日米文化会館	05.8.21～ 05.9.18	活動写真と題して、戦後の日本を代表する映画を上映。溝口健二監督の『新平家物語』、市川崑監督の『細雪』、小林正樹監督の『切腹』を英語字幕入りで上映
19	文化・芸術ミニ グラント(アウ トローシリー ズ)	アメリカン・シ ネマテーク	05.9.9～ 05.9.16	アメリカンシネマテーク恒例のアウトローシリーズとして、1950年代から1990年代の日本映画(時代劇/やくざ映画/怪談など)の最高傑作を紹介。篠田正浩監督『暗殺』(1964)、岡本喜八監督『殺人狂時代』(1967)、鈴木清順監督『殺しの烙印』(1967)、深作欣二監督『狼と豚と人間』(1964)などの8作品を4日間にわたり上映
20	日本語教育ミニ グラント(第15 回コロラド外国 語教師会日本語 ワークショップ)	コロラド外国語 教師会	05.9.17～ 05.9.17	今年で15回目を迎えるコロラド州における外国語教育学会であるが、これまでは「日本語」は含まれておらず、今回初めて、コロラド日本語教師会(CAJLT)の協力もあり、「日本語」もプログラムに含まれることとなった。「Multimedia Hands-on Workshop」と題して、WebCTを使ったオンライン・アクティビティーや、Audacity Editing Softwareを使った録音機能など、日本語教育でいかにウェブ・テクノロジーを有効に利用できるかについて具体的に紹介
21	文化芸術ミニグ ラント(マンガ シンポジウム)	ポモナ大学 Pacific Basin Institute	06.2.17～ 06.2.17	「米国の若者に影響を与えるマンガ」についてのシンポジウム。日本および米国内からマンガを研究する著名な教授陣4名を迎え、日本のマンガが米国の若者に与える影響について、学術的な観点から議論を行なった

	事業名	助成対象団体	期間	内容
22	日本語教育ミニ グラント(加州 日本語学園協会 ワークショップ プ)	加州日本語学園 協会(CAJLS)	06.2.18～ 06.2.18	片岡裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)によるAP日本語に関する講演およびグループディスカッションが行なわれた
23	日本語教育ミニ グラント (Designing Effective Assessment)	ウイスコンシン 大学東アジア研 究センター/ ウイスコンシン 日本語教師会	06.2.18～ 06.2.18	當作康彦(UCサンディエゴ教授)を講師に迎え、効果的なコミュニケーション能力のアセスメントに関するワークショップを開催(Rubric作成のコツや、実際にRubricを使って評価をする際の注意点などを紹介)。後半は、参加者が7つの組に分かれて、前半で学んだことを活かしながら、実際にアセスメントのサンプルを作成
24	日本語教育ミニ グラント(第9回 當作教授による ワークショップ プ)	アリゾナ日本語 教師会	06.2.26～ 06.2.26	當作康彦(UCサンディエゴ教授)を講師に迎え、CBI(Content-based Instructions)に関するワークショップを開催(CBIがいかにかにAP日本語テストにも効果をおよぼすかについても説明が付け加えられた)。後半はコンピュータ・ラボへ移動し、参加者自身がCBIを踏まえて実際に教材作りをし、それぞれの教材の発表を行なった
25	日本語教育ミニ グラント(国際 会議および奨学 金プログラム運 営サポート)	ATJ (Association of Teachers of Japanese)	06.3.1～ 06.3.30	「日本語教育国際研究大会(ICJLE)」および「Bridging Scholarship」のための事務局運営支援。ICJLEの参加登録をオンラインで行なうためのシステム構築、および、ウェブのメンテナンス経費の一部を助成
26	日本語教育ミニ グラント(ハリ ケーン被災校支 援)	ニューオリンズ 大学/ディラー ド大学	06.3.1～ 06.3.30	ハリケーンで経済的に打撃を受けた学生たちへのサポートとして、貸し出し用の教科書をオフィスに備えておき、必要に応じて貸し出しを行なった
27	日本語教育ミニ グラント(日本 語イマージョン プログラム卒業 生対象ウェブ調 査開発・管理)	Alliance of Associations of Teachers of Japanese (AATJ)	06.3.1～ 06.3.30	小・中9年間の日本語イマージョンを卒業した学生のうちで、引き続き高校でも日本語を学習した「Ex-Immersion生徒」を対象としたフォローアップ調査(Web Survey)
28	日本語教育ミニ グラント(第5回 実践日本語国際 会議)	サンフランシス コ州立大学	06.3.4～ 06.3.5	中山(オハイオ州立大学教授)と、現在ATJの会長も務めるマグローイン(ウイスコンシン大学マディソン校教授)を基調講演者に招き、言語学の分野での研究成果をいかに効果的に日本語教育に取り入れていくかについて考察。この他にも、40名を超える日本語教育関係者が発表を行なった
29	日本語教育ミニ グラント(第18 回中部日本語教 師会ワーク ショップ)	ミシガン大学	06.3.4～ 06.3.5	「AP日本語」本格開始に向け、高校と大学間のアーティキュレーションを高める目的で開催された研修会。高校のAP日本語コースを受験した日本語学習者が、大学に入学後も、スムーズに学習を継続できるよう、カリキュラムの調整を試みた

	事業名	助成対象団体	期間	内容
30	文化芸術ミニグラント (Band of Ninja Creening)	UCLA Film and Television Archive	06.3.11～ 06.3.11	UCLA附属Hammer Museumとロサンゼルス現代美術館(MOCA) 共催のアメリカンコミックブックをテーマにした展覧会開催に合わせ、大島渚監督のアニメ映画『Banf of Ninja (忍者武芸帳)』の上映会を開催
31	日本語教育ミニグラント (第21回米国南東部日本語教師会年次総会)	Washington & Lee 大学	06.3.19～ 06.3.20	アイオワ大学の畑佐由紀子による、コミュニケーション・アプローチにおける言語形式重視の教育についての基調講演が行なわれ、続いて「教授法」と「言語学」の両分野でバラエティーに富んだ内容の発表が行なわれた
32	文化・芸術ミニグラント (シルバーレイク・映画祭)	Silver Lake Film Festival実行委員会	06.3.24～ 06.3.24	1999年設立されたNPO団体シルバーレイクフィルムフェスティバルが主催となり、今年で6回目の開催。同映画祭はThe LA Weekly において2004年LAで開催する映画祭Top5に入るほどの評価を得る。今年はアジアのカルト映画特集で、日本映画部門では日本のホラー映画の原点と言われる中川監督の作品『東海道四谷怪談』、『地獄』、『毒婦高橋お伝』を上映
33	日本語教育ミニグラント (カリフォルニア州日本語教師会ワークショップ)	カリフォルニア州日本語教師会	06.10.16～ 06.10.23	多くの日本語教師にとって非常に関心の高い「AP日本語」というテーマで、AP日本語特別委員会のメンバーである當作康彦(UC, SanDiego教授)と片岡裕子(CSU, LongBeach教授)を講師に迎え開催された研修会

16. メキシコ事務所

合計額 23,585,251円

(1) 主催・共催事業

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	セルバンティーノ国際芸術祭 (舞踏家写真展)	セルバンティーノ国際芸術祭	グアナフアト大学	グアナフアト	05.10.5～ 05.11.4	第33回セルバンティーノ国際芸術祭の一環として、メキシコの写真家が撮影した山海塾や日本の舞踏家の写真展を実施
2	セルバンティーノ国際芸術祭 (現代文化ポスター展)	セルバンティーノ国際芸術祭	グアナフアト大学	グアナフアト	05.10.5～ 05.11.4	第33回セルバンティーノ国際芸術祭の一環として、トロント日本文化センターが所蔵するポスターを利用した展覧会「現代日本ポスター展」および「横尾忠則展」を実施

海外事務所

	事業内容	共催者	会場	都市	期間	内容
【講演・シンポジウム】						
3	メキシコにおける日本研究のバランスと展望	メキシコ国立自治大学	メキシコ国立自治大学	メキシコシティ	06.1.26～ 06.1.27	メキシコ国内における日本研究機関・日本研究者間のネットワークを強化し、協力体制を構築するため、国内の主要機関からの参加者による、日本研究の現状と課題の発表および今後の共同事業の可能性についての討議を実施
4	ラテンアメリカにおける日本研究の現状と課題	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコシティ	06.3.3～ 06.3.3	中南米スペイン語圏日本研究ディレクターが約20年ぶりに改訂されたことを機に、中南米各国における日本研究の現状と課題を分析し、今後の連携と協力体制を構築するためのセミナーを開催
【日本語教育】						
5	日本語運用能力ブラッシュアップ研修	メキシコ日本語教師会	国立工科大学UPIICSA校	メキシコシティ	05.6.11～ 05.11.19	メキシコ人日本語教師の日本語運用能力の向上を目指して、6月から11月までの期間に合わせて10回のレッスンを実施。メキシコ人教師13名がこのコースに参加
【出版・広報】						
6	広報誌の発行	-	メキシコ事務所	-	05.4.1～ 06.3.31	メキシコにおける日本語教育に関する情報誌『EL Patio』を年3回発行。日本語教授法や教材に関する情報を提供し、国内で開催される日本語教育に関する催し、日本語教育機関の活動などを紹介

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
【助成事業】				
7	在墨日本文化専門家（茶の湯）派遣助成/グアテマラ/コスタリカ	裏千家メキシコ	05.7.21～ 05.7.27	「日・中米交流年2005」事業の一環として、グアテマラ、コスタリカで開催された日本文化フェスティバルに、在メキシコの茶の湯専門家（日暮豊弘（茶道裏千家メキシコ駐在講師））を派遣して茶道デモンストレーションを実施
8	伊東豊雄講演会	国立建築博物館	05.9.6～ 05.9.6	伊東豊雄（建築家）による、メキシコのJuan O'Gorman（建築家）に関する講演会。国立建築博物館が開催したO'Gormanの生誕100年を記念する展覧会の事業の一環

	事業名	助成対象団体	期間	内容
9	琴グループ公演	グアダラハラ州立大学環太平洋学部	05.10.11～ 05.10.11	アジア・ハリスコ州産学国際連携事業およびグアダラハラ市・京都市姉妹都市提携25周年記念事業の一環として、グアダラハラ州立大学で琴の演奏と講演を実施。メキシコシティ在住の琴演奏専門家グループを派遣
10	はぎのみほ 「Blue Piano」	シケイロス芸術センター	05.11.17～ 05.11.18	はぎのみほ（美術作家）の選曲と高橋アキ（現代音楽ピアニスト）の演奏による「Blue Piano」の展覧会を開催
11	ベラクルス州弁論大会助成	ベラクルス日本語教師会	05.11.19～ 05.11.19	ベラクルス州内の4つの日本語教育機関（ベラクルス州立大学ハラッパ校/オリサバ校/ベラクルス工科大学/クリストバルコロン大学）が合同で日本語弁論大会（第3回目）を開催
12	在墨日本文化専門家（空手）派遣助成/キューバ	メキシコ空手協会	05.12.1～ 05.12.4	キューバで行なわれる空手競技会に併せて、在メキシコの空手専門家による日本武道を紹介し日本文化理解を促進することを目的とした日本武道デモンストレーションおよび講演会を実施
13	在墨日本文化専門家（生花）派遣助成/ドミニカ	生け花インターナショナル・メキシコ	06.2.7～ 06.2.8	ドミニカにおける日本文化月間中の文化行事として、在メキシコの生け花専門家（生け花インターナショナル・メキシコ講師）2名による生け花デモンストレーションを実施

17. ロンドン事務所

合計額 98,741,946円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
1	日本の舞台芸術 (連続講座)	Sage Gateshead (シリーズ5のみ)	ロンドン事務所	ロンドン /ゲイツ ヘッド	05.5.12～ 05.9.1	前年度から始まった「日本の舞台芸術」連続講座の後半。シリーズ4「Dance Dance Dance」(5月12日)、シリーズ6「National Theatre and National Identity?」(6月23日)、シリーズ7「Children's Theatre」(9月1日)。5月21日に会場をSage Gatesheadに移し、実験音楽に関するトークを実施。各回ともテーマに沿った日英の専門家をスピーカーとして招いた
2	日本研究・知的 交流関連講演 会：Mizoguchi and Japan	BFI Publishing	ロンドン事務所	ロンドン	05.6.8.～ 05.6.8	翻訳・出版協力事業の対象であった『Mizoguchi and Japan』の出版を記念して、著者Mark Le Fanuによる講演会を実施

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
3	文化講演会	ヴィクトリア&アルバート博物館	ロンドン事務所	ロンドン	05.6.14～ 05.6.14	「New Approaches to Japanese Lacquer Conservation: The V&A's Mazarin Chest Conservation Project」と題するセミナーをヴィクトリア&アルバート博物館と共催で実施。同博物館の収蔵作品で、1630年代に日本で制作された漆塗りの櫃（通称マザリン・チェスト）の修復保存プロジェクト（現在進行中）の経過ならびに方法論についての報告が行なわれた
4	日本研究・知的交流関連講演会：Japanese Journeys	Global Oriental	ロンドン事務所	ロンドン	05.11.1～ 05.11.1	戦後の英国における日本研究の第一人者であり、長年にわたり各種の国際交流基金事業の支援者であった、ジェフリー・ボウナス（オックスフォード大学名誉教授）の自伝『Japanese Journeys: Writings and Recollections』の出版記念会を実施
5	「Crossing Boundaries」シンポジウム	Institute of Contemporary Arts	ICA	ロンドン	06.2.5～ 06.2.5	主催映画祭「Comic Proportions」開催にあわせて、「Crossing Boundaries: Japanese Films Adapted from Japanese Manga」と題するシンポジウムを実施。漫画の映画化に関する変遷や、日本社会における漫画の受容などについて二人の専門家による発表があったほか、山口雄大監督をゲストとして迎え、映画制作にまつわるエピソードなどについて聞く機会を設けた。質疑応答も行なわれた
6	海外事務所企画開発事業：古美術収集品の調査	ヴィクトリア&アルバート博物館	ロンドン事務所	ロンドン	06.3.21～ 06.3.22	英国の美術館・博物館などに収蔵されている日本関係の作品の実態把握ならびにそれら収蔵品の認知度を高めるための方策を協議するための非公開シンポジウムを、13名の専門家を招いて実施。また翌日には、日本関係の収蔵品の由来ならびに所在先の紹介に加え、それら収蔵品を積極的に活用している地方美術館の活動事例を報告してもらい、一般を対象とした公開セミナーを実施

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【映画】					
7	主催映画祭	ICA/ Filmhouse/ Cornerhouse/ Showroom/ Watershed	ICA/ Filmhouse/ Cornerhouse/ Showroom/ Watershed	ロンドン /エジン バラ/マ ンチェス ター/ シェ フィール ド/プリ ストル	06.2.3～ 06.2.28	英国における日本製漫画の人気の高まりを踏まえ、「Comic Proportions: Japanese Films Adapted from Manga」と題する巡回映画上映会を実施。上映作品は、『魁！！クロマティ高校THE★MOVIE』（監督：山口雄大）、『ぼくんち』（監督：阪本順治）など計5本。ロンドンでの上映会には山口雄大が登場し、自身の作品紹介を行なうとともに観客からの質問に答えた。また、上映会の関連事業として、漫画と映画の関係性を話し合うシンポジウムを執り行なった
	【日本語教育】					
8	図書館運営	－	ロンドン事務所	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育に関連する資料（教科書・教材・参考図書）を中心とする専門図書館を運営
9	日本語教育研修会・出張指導	－	ロンドン事務所 他	ロンドン 他	05.4.1～ 06.3.31	ノンネイティブ日本語教師の日本語力ブラッシュアップのためのリフレッシャー・コースを2005年7月に、また日本語を導入していない学校の語学主任を対象に日本語の入門授業と情報提供を行なうヘッドスタートを2006年1月に実施したほか、各地の学校の求めに応じて出張授業（ステップング・アウト）を実施
10	BATJ共催セミナー	BATJ	ロンドン事務所 /バーミンガム 大学/カーディフ 大学	ロンドン /バーミ ンガム/ カーディ フ	05.4.1～ 06.3.31	英国日本語教育学会（BATJ）と共催で、自律学習や教材開発に関するセミナー・ワークショップを実施
11	日本語スピーチコンテスト	BATJ/JLC/日本大使館	在英国大使館/ ロンドン大学	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	中等教育レベルの日本語スピーチコンテストをJLC（Japanese Language Committee）および日本大使館と、大学レベルの日本語スピーチコンテストをBATJ（英国日本語教育学会）と共催で実施
12	日本語教育情報（ニューズレター）発信	－	－	－	05.4.1～ 06.3.31	日本語教育に関する情報と教材を掲載したニューズレター『まど』を3回発行（うち、1回はウェブ版）
13	日本語教育情報（ウェブ関係）発信	－	－	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	中等レベルの音声教材をはじめ、日本語教育に関連する情報をロンドン事務所のウェブサイトに掲載

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
14	文化情報発信	-	-	ロンドン	05.4.1～ 06.3.31	ロンドン事務所ウェブサイトの内容更新およびメンテナンスおよびニュースレター『Perspectives』の発行
15	広報強化	-	-	ロンドン	06.1.4～ 06.3.31	文化事業に詳しいPRコンサルタントに業務委託をし、ロンドン事務所のPR・マーケティング活動の現状評価と将来に向けた提言をまとめた
	【その他】					
16	日本研究フェローシップ・フォローアップ(準備)	-	-	ロンドン	05.9.1～ 06.3.31	英国内の国際交流基金フェローを集めた会議実施に向け、会場選定、ゲストとの交渉等の準備作業を行なった。会議は2006年5月に開催

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
17	文化事業協力助成：Do Not Interrupt Your Activities	Royal College of Art	05.4.7～ 05.5.1	ロンドンの王立芸術大学のキュレーション専攻学生13人による卒業制作としての特別展で、阿部幸子（現代美術作家）によるライブ・インスタレーションを展示
18	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Japan Politics Colloquium	Cambridge University	05.4.12～ 05.4.13	日本政治・経済および国際政治の最新動向や研究に関する年次シンポジウム（1993年から実施）。英国のみならず欧米各国から同分野に携わる研究者および民間の専門家、政府関係者が参加。開催地は参加者の持ち回りで毎年変わり、2005年はケンブリッジ大学東洋研究学部東アジア研究所が主催
19	文化事業協力助成：Hana Sakuma 100 books which I didn't buy	Unit 2 Gallery	05.4.29～ 05.6.10	英国在住の現代美術作家サクマ・ハナのロンドン初の個展。サクマの作品は、言語、翻訳、普遍性といった概念を問い直すものであり、個展のタイトルでもある「100 books which I didn't buy」はロンドン市内の書店で撮影した本の映像をビデオ作品にした
20	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Research Student Forum	Birkbeck College	05.5.6～ 05.5.7	ロンドン大学バーベック・カレッジが同大学SOASと共催で実施した、人文系の日本研究における修士・博士課程の学生を対象としたワークショップ。論文執筆中の学生が自らの研究について発表することを通じて研究者として重要な発表スキルを養うとともに、研究内容に関する専門的な議論を通じて、学生や研究者間の交流を促すことを目的とした

	事業名	助成対象団体	期間	内容
21	文化事業協力助成：Music Lover's Field Companion	The Sage Gateshead	05.5.20～ 05.5.22	新しい音楽ホールSage Gatesheadにて開催された、世界の実験音楽を紹介する3日間のイベント。今回は日本の実験音楽に焦点が当てられ、灰野敬二、小杉武久など、この分野では著名な日本人アーティスト4人が参加。海外アーティスト全16名の中で大きな位置を占めた
22	文化事業協力助成：Nana Shiomii-MITATE	Oriental Museum, Durham	05.6.26～ 05.9.18	英国在住の若手木版画家、塩野奈葉の作品60点をOriental Museumの収蔵品の浮世絵と比較検証する形で展示。会期中はギャラリートークやワークショップも実施
23	文化事業協力助成：An Extraordinary Day	Perth Museum and Art Gallery	05.8.10～ 05.8.10	アイヌ文化を体験する参加型のイベント。日本からアイヌ文化継承者を招き、民芸品制作、伝統舞踊の披露、アイヌとスコットランドの民話のリサイタルなどが行なわれた
24	文化事業協力助成：Rock the Future	FACT, the Foundation for Art & Creative Technology	05.8.26～ 05.10.31	世界の先端をゆく日本のメディアアート作品を紹介する企画展。日本からRessentiment、exonemoおよびRyota Kuwakuboが招へいされた。また同時に日本のビデオアーティストの作品も何本か上映
25	文化事業協力助成：Instal 05	The Arches, Glasgow	05.10.15～ 05.10.17	実験音楽フィスティバルInstalにて日本の実験音楽を特集。若手を中心とするミュージシャン向井千恵、非常階段、秋山徹次、JOJO広重などが招待され、パフォーマンスを行なった。日本では彼らが共演することは稀であり、世界的にも貴重なイベントとなった
26	文化事業協力助成：Frieze Project	Frieze Foundation	05.10.20～ 05.10.24	英国最大のコンテンポラリー・アートフェアであるフリーズ・アートフェアの関連事業として、Jay ChungとQ Takeki Maedaが招へいされ、観客参加型のパフォーマンスを行なった。Q Takeki Maedaは20代の新進気鋭の日本人作家
27	日本研究・知的交流研究事業協力助成：Anglo-European Cooperation in Japanese Studies.	University of Sheffield	05.10.21～ 05.10.22	日本研究分野における英国と欧州の大学間の協力について話し合う、2日間の会議
28	文化事業協力助成：Kigata Banko	Project Ability, Glasgow	05.10.24～ 05.10.29	年齢の違いや障害の有無を超えて幅広く楽しめる芸術活動を推進する団体Project Abilityによる、木型万古（木型を使って茶器などを作る陶芸の手法）のワークショップ。アムステルダム在住の若手日本人作家を講師に招いた
29	日本研究者旅費支援プログラム：Naoko Shimazu	Naoko Shimazu	05.12.9～ 06.1.7	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Naoko Shimazu (Senior Lecturer, Birkbeck College, University of London)。研究テーマ：State and Civil Society in Japan during the Russo-Japanese War of 1904-5

	事業名	助成対象団体	期間	内容
30	文化事業協力助成： Contemporary Japanese Films	グラスゴー大学 欧日社会科学研 究センター	06.2.17～ 06.3.10	今回で7回目を数えるグラスゴー大学主催の無料の日本映画祭。 今回は「Japanese Ouch」というテーマのもと、4本の英語字幕付き作品（国際交流基金の海外フィルムライブラリー所蔵作品）を上映
31	文化事業協力助成：Ensemble Tozai & Peter Wiegold	IF Festival /Mainland Productions Ltd	06.2.17～ 06.4.3	和洋の音楽の融合を目指す演奏グループEnsemble Tozaiと作曲家・演奏家のピーター・ウィーゴールドによるコラボレーション演奏会。大学と共催で日本人演奏家によるワークショップも行なわれた
32	日本研究者旅費支援プログラム：William H Kelly	William H Kelly	06.3.11～ 06.3.19	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：William H Kelly (Research Fellow, Europe-Japan Research Centre, Oxford Brookes University)。研究テーマ：Culture of Gaming and Gambling in Japan
33	日本研究者旅費支援プログラム：Miyoko Yamashita	Miyoko Yamashita	06.3.14～ 06.5.13	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Miyoko Yamashita (Head of Japanese, Centre for Modern Languages, University of Birmingham)。研究テーマ：Japanese cultural aspects and awareness and the development of a cultural module to support Japanese teaching in the UK
34	日本研究者旅費支援プログラム：Ornella Corazza	Ornella Corazza	06.3.29～ 06.4.3	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Ornella Corazza (PhD Candidate, SOAS, University of London) 研究テーマ：Contemporary theories about the Japanese conception of the human body, a comparative study
35	日本研究者旅費支援プログラム：Rebecca Salter	Rebecca Salter	06.3.30～ 06.4.11	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Rebecca Salter (Associate Research Fellow, University of the Arts, London) 研究テーマ：To build a comprehensive archive of Japanese woodblock printing -method and materials to be lodged with a UK museum
36	日本研究者旅費支援プログラム：Rupert Cox	Rupert Cox	06.3.31～ 06.4.17	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。 対象者（所属機関）：Rupert Cox (Granada Centre for Visual Anthropology, University of Manchester) 研究テーマ：An anthropological investigation of the relation between sound and the sense of place in a neighbourhood community in Kyoto City Japan
	【会場提供】			
37	Exam Day（試験対策セミナー）	Edexcel, WJEC	05.4.1～ 06.3.31	中等教育修了試験（GCSE/WJEC）や大学入学資格試験（Aレベル）について、試験概要の説明や実際の取り組み例を紹介する教員向けセミナーを計3回開催

18. ブタペスト事務所

合計額 27,698,953円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
1	講演会「知られざるエピソードで綴る日本・ハンガリー関係史」	－	ブタペスト事務所	ブタペスト	06.3.24～ 06.3.24	ハンガリー在住の梅村裕子（歴史研究者）による講演会。
	【映画】					
2	日本映画講演会・上映会	ハンガリー国立フィルムアーカイヴ	フィルムアーカイヴ/ウクルモズゴ	ブタペスト	05.5.5～ 05.5.8	大久保賢一（映画評論家）が、クロアチア、セルビア・モンテネグロを訪問する機会にあわせ、ブタペストでも日本映画についての講演を実施し、あわせ、以下4作品の上映を行った。『シコふんじゃった』（1992年/周防正行）、『あ、春』（1998年/相米慎二）、『リボルバー』（1988年/藤田敏八）『僕らはみんな生きている』（1993年/滝田洋二郎）
3	ドキュメンタリー・フィルム・フェスティバル参加	中欧大学	ウルクモズゴ映画館	ブタペスト	05.12.4～ 05.12.4	Central European University/Open Society Archives 主催の第二回VERZIOドキュメンタリーフィルムフェスティバル中のプログラムRemembering World War IIに、国際交流基金フィルムライブラリー所蔵作品より今村昌平監督『にっぽん戦後史・マダムおんぼろの生活』（1970年）を出品
	【日本語教育】					
4	日本語講座	－	ブタペスト事務所	ブタペスト	05.4.1～ 06.3.31	日本語講座を運営。2005年4月から6月は、昨年度下半期の継続で、レベル1A・1B、レベル2の3つの初級コースを運営。2005年9月から2006年3月までは、レベル3（初級）とレベル4（中級）の2コースを追加し、運営。各コース週2回、1回100分の授業を実施。各レベルの期末受講者数は、以下のとおり。1A：16名、1B：20名、2：15名、3：10名、4：11名、計72名

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
5	ニューズレター 発行	-	-	-	05.4.1～ 06.3.31	ブタペスト事務所広報誌『えんがわ』の発行。平成17年度は、第7号、8号、9号を発行。第7号は、ブタペスト事務所所蔵展示セットのハンガリー国内展示についての特集号。第8号は、2005年1月に行なわれた『鬼太鼓座』公演のインタビュー特集号。第9号は、平成17年度事業についての報告等
	【本部事業受入】					
6	日本映画祭（現代・クラシック／在外事業）	ハンガリー国立フィルムアーカイヴ	ウルクモズゴート映画館	ブダペスト	05.4.1～ 06.3.31	9月に、ブダペストにて、現代日本映画5作品を上映。作品名は『blue』、『蕨野行』、『笑う蛙』、『ふくろう』、『ポストマンブルース』。12月に、ブダペストにて、クラシック日本映画6作品を上映。作品名は『醜聞』、『白痴』、『雨月物語』、『炎上』、『人間蒸発』、『早春』
7	相撲レクチャーデモンストレーション（在外事業費分）	-	テレーズバーロシュ2カ国語学校/欧州相撲選手権会場	ブダペスト/ヴィシェグラード	05.6.9～ 05.6.13	竹内龍作（日本相撲連盟評議員）を解説者に、近畿大学の大山隆盛、谷岡史浩を実演者に迎え、スポーツとしてのアマチュア相撲を紹介。6月10日には、ブダペスト市内のテレーズバーロシュ2カ国語学校で、同校生徒および外部の一般人向けに解説・実演を行なった。翌11日にはヴィシェグラードにて、欧州相撲選手権が開催されるのにあわせ、同選手権の中のプログラムとして、解説・実演を行なった
8	アニメ講演会（在外事業費分）	-	プーシキン映画館	ブダペスト	06.2.5～ 06.2.5	2006年2月5日に、ブダペスト市内のプーシキン映画館において、アニメに関する講演会およびアニメ作品の上映会を行なった。講演者は、丸山正雄（株式会社マッドハウス取締役）。上映作品は、『東京ゴッドファーザーズ』、『妄想代理人』、『48×61』の3作品。2月6日には、CM用のアニメ製作等を行なっているmyfilm社およびアニメ製作会社であるSzimpla Film社を訪問

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
9	文楽公演（在外事業費）	財団法人文楽協会/ビダーム劇場	ビダーム劇場	ブダペスト	06.10.6～ 06.10.9	10月6日（木）から9日（日）まで、4日間、5公演（土曜日はマチネ公演あり）を実施。演目は、『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』15分、『解説（人形操作の説明等）』45分、休憩20分をはさんで、『壺坂観音霊験記 沢市内より山の段』55分

(2) 助成・協力事業

	事業内容	助成対象団体	期間	内容
	【助成事業】			
10	在外事業（第15回国際凧揚げ集会）	コシュート・ラヨシュ文化センター（パークズド）	05.4.30～ 05.5.15	ブダペストの西、車で1時間ほどの街、パークズドで開催される、第15回国際凧揚げ集会の開催にあわせ、日本の凧の展示を行なった。凧揚げでは、日本式の凧も多く揚げられた
11	在外事業（Beauties from Japan展）	ガラス・ピラミッド・ギャラリー	05.5.13～ 05.5.20	日本のガラス工芸作家である故藤田喬平のガラス工芸美術品と、日本人形作家である故大野初子の人形作品の展覧会
12	在外事業（Japanese Kites in the sky）	モーラ・フェレンツ美術館	05.5.21～ 05.5.21	ブダペストの国立博物館庭園において、5月21日にハンガリー各地の美術館・博物館がブースを出展する催しがあったが、同イベントにおいて、セゲドに所在するモーラ・フェレンツ美術館は、「日本の凧」をテーマに選び、出展し、来場者に日本の凧の制作を体験させることとした。助成対象経費は、凧の材料費と、インストラクターへの謝金
13	「V+A=E+C」展覧会	The Visual Works Contemporary Art Association	05.7.16～ 05.7.23	V+A=E+C - Visual Art = Engine of Culture とのコンセプトのもとに、若手ビジュアルアーティストの作品を展示する展覧会に、日本人写真作家である三田村光土里の作品を出展した。三田村は、2003年12月にブダペストのロードビッチ美術館にて国際交流基金主催で開催した「心の在り処」展の出展作家であり、その時の出会いが、今回の出展につながった
14	Lecture and Exhibition about Laquer Ware	Gabriela Balogh	05.9.6～ 06.1.7	日本の漆器の技術紹介実演と展覧会の開催。9月6日から13日まで、「Symposion Tarsasag」において、9月15日から30日まで「Archiaika Osmuveszeti Keramia Egyesulet」において、10月25日に「Magyar Iparmuveszeti Egyetem」において、2006年1月7日まで「Hopp Ference Kelet-Azsiiai Muveszeti Muzeum」において、それぞれ実施、開催。助成項目は、ポスター作成費およびパンフレット作成費
15	Friendship of Forms展	Dulanszky Studio Galeria	05.10.20～ 05.11.5	4名の日本人陶芸家と3名のハンガリー人彫刻家のグループ展覧会。日本からの参加アーティストは、勝田素子、藤崎トモコ、北澤智美、カワグチ・ジュンで、いずれも陶芸家。ハンガリーからの参加者は、鉄の彫刻家2名と、木の彫刻家1名
16	「多面的な日本」特集号発行	Magyar Naplo 出版社	05.11.1～ 06.1.31	文芸雑誌である『Magyar Naplo』誌の2006年2月号に、日本特集の記事を掲載するとのことで、同記事掲載のための編集費等を支援

	事業内容	助成対象団体	期間	内容
17	Rokolective, Festival for electric music	Rokolective	06.1.27～ 06.1.29	2006年1月27日から29日まで、ルーマニアのブカレストの国立現代美術館にて開催された「Festival for electronic and related visual arts」の最終日に、パリ在住の日本人アーティスト2名（アオキ タカマサ/ツジコ ノリコ）のパフォーマンスを行なった
18	Premiere of Akira	Odeon Ltd	06.3.11～ 06.3.19	2006年3月16日（日）に、ブダペスト市内のオデオン映画館にて、アニメ映画『アキラ』のプレミア上映会を行なった。『アキラ』のみならず、日本のアニメ紹介の機会とした。上映会に先立って、エオトヴェシロラード大学メディアセンターのスタッフであり、アニメ・マンガ文化の専門家、アニメ・マンガ雑誌の記者であるVarro Attilaが20-30分程度の講演を行なった
19	Japan-Hungary Friendship Concert	Executive Committee Japan-Hungary Friendship Concert	06.3.24～ 06.3.24	2006年3月24日にリスト音楽院の小ホール（客席数350席）において、リスト音楽院で学ぶ日本人学生とハンガリー人学生のコラボレートコンサートを開催する日本人卒業生も、ゲスト演奏家として招待された。同コンサートは、ブダペスト・スプリング・フェスティバルのイベントの一環として実施
20	事務所所蔵展示品展覧会	外部団体	05.4.1～ 06.3.31	<p>【文化備品・視聴覚資料貸出】</p> <p>事務所所蔵の展示セットを貸し出し、展覧会を開催した</p> <p>2月～5月 「日本人の日常生活展」 ジュラ市</p> <p>3月～4月 「日本人形展」 ショプロン市</p> <p>3月～5月 「凧・独楽展」 セゲド市</p> <p>5月～6月 「日本人形展」 モションマジャルオーヴァール市</p> <p>5月～6月 「凧・独楽展」 ザラエゲルセグ市</p> <p>5月～6月 「日本の世界遺産展、凧・独楽展」 デブレツェン市</p> <p>6月～6月 「日本人の日常生活展」 ブダペスト市</p> <p>7月～7月 「日本人形展」 セゲド市</p> <p>7月～8月 「日本の世界遺産展、凧・独楽展」 マーテーサルカ市</p> <p>8月～9月 「日本人形展」 ベスプレーム市</p> <p>8月～8月 「日本人形展、日本の世界遺産展、凧・独楽展」 ケチケメート市</p> <p>9月～11月 「日本人形展、日本の世界遺産展、凧・独楽展」 シャーロシュパタク市</p> <p>11月～2月 「日本人形展、日本の世界遺産展」 セケサード市</p> <p>2月～2月 「日本人の日常生活展」 ソンバトヘイ市</p>

19. カイロ事務所

合計額 26,542,685円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【展示】					
1	ララ・バラディ 作品展(現代美術)	ララ・バラディ (美術作家) / タ ウンハウス・ ギャラリー	タウンハウス・ ギャラリー	カイロ	06.2.12～ 06.3.8	元国際交流基金芸術家フェローである現代美術作家ララ・バラディ (レバノン出身/カイロ在住) の、日本で収集した映像を利用した新作の制作・展示 (『Roba Vecchia -the Wheels of Fortune-』)。本作品は、アニメや商品の映像など現代日本のサブカルチャーや風俗を題材にしたビデオ映像を組み込んだインスタレーション。カイロ事務所は、インスタレーションの制作費用を負担
	【公演】					
2	現代音楽リサイタル(井上郷子)	エジプト文化省 国立文化センター	カイロ・オペラ ハウス	カイロ	05.5.3～ 05.5.3	井上郷子 (ピアニスト) の演奏会を開催。欧米および日本人の現代作曲家の作品を演奏し、現代音楽の流れと、日本人作曲家の創作活動とを俯瞰できるプログラムを組んだ。演奏会の前に、作曲家・伊藤祐二によるレクチャーを実施。世界の音楽の中での日本人の現代音楽の意味について、当国音楽関係者に語った
3	津軽三味線 (山本大) リサイタル	エジプト文化省 国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	カイロ・オペラ・ハウス小ホール	カイロ	06.3.1～ 06.3.1	日本の伝統的文化の紹介を目的とした、山本大 (津軽三味線奏者) による演奏会。2006年日本文化フェスティバル (カイロ事務所と在エジプト大使館広報文化センターの協力で開催) の催し物の一環として企画
4	日本人ウード奏者 (常味裕司) 演奏会	エジプト文化省 国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	アラブ・ウード・ハウス/アラブ音楽院ホール	カイロ	06.3.11～ 06.3.14	日本人のアラブ音楽演奏家、常味裕司 (ウード) および和田啓 (レック) と、エジプト人演奏者との共演にて、アラブ音楽院ホールにて、アラブ伝統楽器によるコンサートを開催。また、ウード奏者ナスィール・シャンマが主宰するアラブ・ウードハウスでの地元コンサートにて、ゲスト出演

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【講演・シンポジウム】					
5	日本研究入門レクチャー	－	カイロ・センタービル会議室	カイロ	05.10.23～ 05.10.23	伊藤鉄也（国文学資料館助教授）による源氏物語に関する、学生、一般文学愛好者向けのレクチャーを実施。司会・対談相手役および通訳は、アハマド・ファトヒ（カイロ大学助教授）に依頼。ラマダーン期間中であつたため、簡単なイフタル（日没後の食事）で懇談会も実施
6	俳句紹介事業	エジプト文化省 文化高等評議会	エジプト文化省 文化高等評議会 /アイン・シャムス大学外国語学部/カイロ大学文学部	カイロ	06.3.27～ 06.3.29	アラブ世界への俳句（HAIKU）の紹介を目的に、日本から木内徹（国際俳句交流協会理事/日本大学教授）を招き、当地の文学者・研究者や学生を対象に俳句についての講演、セミナーを計3回実施
	【日本語教育】					
7	日本語教育アドバイザー業務	－	－	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	中東域内各国の日本語教育の実情把握と必要な助言活動および域内ネットワークの強化。一般市民向け日本語教育の基盤整備。エジプト国内における日本語教師人材育成。カイロ事務所日本語講座の企画・運営等
8	日本語講座（「ことばと文化」講座）	－	カイロ事務所	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	カイロ事務所において、小規模の日本語講座を主催。年間受講者数は57名。従来、中級・上級者向けに限定していたが、本年度から、モデル的なコースとして、社会科学専攻学生対象の初級コースを試行的に開始
9	中東日本語教育セミナー	中東日本語教師連絡会	メーヴェンピック（ギザ）	カイロ	05.9.3～ 05.9.4	カイロ事務所では、中東地域の日本語教師のネットワーク構築を進めており、9月3日から4日、教師研修を兼ねた中東の日本語教師の会合をカイロで開催。研修講師としては、日本から春原憲一郎（AOTS）を招いた
	【図書館・運営】					
10	図書館運営	－	－	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	事務所図書室の運営。年間入館者数1,837名、蔵書数1,862冊

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
	【出版・広報】					
11	広報誌 『WAVES』	-	-	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	アラビア語と英語の併用(対訳形式)による、カイロ事務所の広報誌『アムワグ』(WAVES)の発行。本年度は、第3号と第4号(各3,000部)を発行し、エジプトおよび一部は他のアラブ諸国で配布した
	【教室事業】					
12	生け花コース	-	在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	05.8.31～ 06.3.31	カイロ在住邦人の生け花教授に講師を依頼し、エジプト人希望者に生け花指導のコースを開催。1コースにつき週1回×5回のレッスンで、毎コース定員20人の受講生を受け入れ。平成17年度は8月から9月、11月から12月および3月に、計3コースを開催
	【その他】					
13	高校生・日本小説感想エッセイコンテスト	-	-	カイロ	05.4.1～ 06.2.28	エジプトで出版された、吉本ばなの小説『TUGUMI』アラビア語訳の認知度を高めるために、高校生を対象に、この小説の読書感想エッセイコンテストを開催。約50点の応募からエジプト人審査員により6点の入選作が選ばれた。入賞者には賞状と記念品を授与し、入選作は小冊子にして配布
14	茶道同好会	茶道同好会(カイロ)/在エジプト大使館広報文化センター	在エジプト大使館広報文化センター	カイロ	05.4.1～ 06.3.31	在留邦人とエジプト人愛好者が集まる茶道同好会は、年間を通じ活動しているが、年2回、カイロ事務所および在エジプト大使館広報文化センターと共催で、一般エジプト人を招く公開のお茶会を開催。カイロ事務所がお茶会の費用を提供、在エジプト大使館広報文化センターは会場を提供。本年度は、2005年12月1日に「秋のお茶会」、2006年3月2日に「春のお茶会」を開催
15	2006年日本文化フェスティバル(カイロ)広報・開会式	エジプト文化省国立文化センター/在エジプト大使館広報文化センター	カイロ・オペラハウス屋外シアター	カイロ	06.1.1～ 06.3.14	フェスティバルは、人形展、日本映画祭、津軽三味線演奏会、三浦友理枝・カイロ交響楽団、日本人アラブ音楽コンサートで構成

海外事務所

	事業名	共催者	会場	都市	期間	内容
16	エジプト柔道グループ訪日協力	エジプト柔道連盟	-	-	06.3.28～ 06.5.17	日本とエジプトの武道（柔道）の交流促進を目的として、エジプト柔道連盟の要望に応え、同連盟がトレーニングのための日本への指導者・選手グループの派遣に協力（ミッションのうち6人の航空賃をカイロ事務所が負担）。筑波において日本の柔道専門家・選手らと交流し、指導を受けた